StationTV®
取扱説明書

Copyright © PIXELA CORPORATION. All rights reserved.

目次

CHAPTER-1　はじめに --- 9

必ずお読みください --- 10
- StationTV 取扱説明書について --- 10
- ご使用にあたってのご注意 --- 10
- 著作物・映像・画像データの使用 --- 10
- 商標について --- 11
- StationTV についてのご注意 --- 11
- 個人情報の取り扱いについて --- 12
- 本書で使用しているマークについて --- 12

CHAPTER-2　StationTVとは？ --- 13

「StationTV」とは？ --- 14

デジタル放送について --- 15
- デジタル放送とは --- 15
- デジタル放送の特徴 --- 15

「StationTV」でできること --- 18
- 「StationTV」の多彩な機能 --- 18

CHAPTER-3　準備 --- 23

起動前の準備 --- 24
- パソコン側の準備 --- 24

StationTV の初回起動 --- 26
- 「StationTV」を起動する --- 26

初回設定（初回起動時） --- 27
- メッセージにしたがって初回設定をする --- 27

CHAPTER-4　テレビを見る --- 35

基本画面説明 --- 36
- ビューア画面（視聴画面） --- 36
- ビューアに表示される項目 --- 38
- メニュー画面 --- 43

テレビ視聴の基本操作 ---- 48

「StationTV」の状態について ---- 48
「StationTV」の起動方法 ---- 49
「StationTV」の終了方法 ---- 51
レコーダーについて ---- 53
放送波を切り換える ---- 55
チャンネルを切り換える ---- 56
音量を調節する ---- 57
音声や映像を切り換える ---- 58
字幕を表示する ---- 59
番組の詳細情報を表示する ---- 59
ビューアの表示モードを切り換える ---- 60
ビューアを縮小表示する（コンパクトモード）---- 61
番組表で番組を探す ---- 61
データ放送を見る ---- 62

番組表を見る ---- 63

番組表とは ---- 63
[番組表] の画面説明 ---- 64
[番組詳細] の画面説明 ---- 66
番組を検索する ---- 67
ジャンルを選択して番組を検索する ---- 68
フリーワードを設定して番組を検索する ---- 71

番組お知らせ機能 ---- 74

「番組お知らせ機能」とは ---- 74

タイムシフト ---- 75

タイムシフトとは ---- 75
「タイムシフト」状態での基本操作 ---- 78
「タイムシフト」状態での操作一覧 ---- 82

データ放送を見る ---- 83

データ放送とは ---- 83
データ放送を見る ---- 83
データ放送の開始と終了 ---- 84
データ放送の操作一覧 ---- 85
双方向サービスを利用するためには ---- 86

CHAPTER-5　録画 ---------------------------------- 89

見ている番組を録画する--------------------------------90

録画に含まれる内容 ------------------------------------90

録画の基本操作------------------------------------90

録画番組の保存先------------------------------------92

録画に必要な空き容量 ------------------------------------92

裏番組録画／ダブル録画 ------------------------------------93

リリーフ録画 ------------------------------------93

タイムシフト録画をする--------------------------------94

タイムシフト録画の開始と終了------------------------------------94

録画番組ファイルについて --------------------------------95

録画番組ファイルの保存について ------------------------------------95

CHAPTER-6　予約 ---------------------------------- 97

予約の種類--------------------------------98

タイマー予約と番組表予約------------------------------------98

日時を指定して録画を予約する（タイマー予約）-------------------------------- 100

タイマー予約の画面 ------------------------------------ 100

タイマー予約の設定手順 ------------------------------------ 102

番組を指定して録画を予約する（番組表予約）-------------------------------- 103

番組表予約の画面------------------------------------ 103

番組表予約の設定手順 ------------------------------------ 105

予約の一覧画面 -------------------------------- 106

[予約] の画面説明------------------------------------ 106

予約を変更する -------------------------------- 108

予約変更の手順------------------------------------ 108

予約を削除する -------------------------------- 109

予約削除の手順------------------------------------ 109

重なった録画予約を調整する------------------------------------ 110

CHAPTER-7　再生 -------------------------------- 113

録画番組、録画番組詳細の画面 ---------- 114
録画番組の画面 ---------- 114
[録画番組詳細] の画面 ---------- 116

録画番組を再生する ---------- 118
録画番組を再生する ---------- 118
再生中の操作一覧 ---------- 119

録画番組を検索する ---------- 120
ジャンルを選択して録画番組を検索する ---------- 120
フリーワードを設定して録画番組を検索する ---------- 123

録画番組を管理する ---------- 125
録画番組を削除する ---------- 125
録画番組を保護する ---------- 127
SD 画質変換をする ---------- 128

CHAPTER-8　ディスク作成 -------------------- 129

ディスク作成について ---------- 130
ディスク作成の種類 ---------- 130
コピー制限について ---------- 131

ディスク作成前の確認事項 ---------- 132
対応ディスク ---------- 132
その他の制限事項 ---------- 132

ディスクを作成する ---------- 134

CHAPTER-9　各種設定 ---------------------------- 137

「StationTV」の設定 ---------- 138
設定の種類 ---------- 138

テレビ設定 ---------- 140
[地上デジタル] の設定 ---------- 140
[BS/CS] の設定 ---------- 144
[デジタル映像設定] の設定 ---------- 148

[デジタル音声設定] の設定 ---- 149
[その他] の設定 ---- 150

視聴設定 ---- 152
[字幕／文字スーパー設定] の設定 ---- 152
[暗証番号設定] の設定 ---- 153
[視聴制限年齢設定] の設定 ---- 156

録画／タイムシフト設定 ---- 157
[地上デジタル／ BS ／ CS 設定] の設定 ---- 157
[共通設定] の設定 ---- 158

再生設定 ---- 160
[再生設定] の設定 ---- 160

データ放送設定 ---- 161
[データ放送設定] の設定 ---- 161

通信設定 ---- 162
[電話回線設定] の設定 ---- 162
[インターネット接続設定（ダイヤルアップ）] の設定 ---- 164
[インターネット接続設定（LAN）] の設定 ---- 166

お知らせ ---- 167
放送メールを見る ---- 167
ボードを見る ---- 169
通信の記録を確認する ---- 171
メッセージを見る ---- 172

かんたん設定 ---- 174
「かんたん設定」で設定を修正する ---- 174

機器情報 ---- 175
B-CAS カード情報 ---- 175
バージョン情報 ---- 176

設定初期化 ---- 177
全設定を出荷時の状態に戻す ---- 177

CHAPTER-10　用語集 ---------------------------- 179

用語集 -- 180

ひらがな、カタカナ -- 180

英数字 -- 183

CHAPTER-11　操作一覧 ---------------------------- 185

コントロールパネル機能 -- 186

コントロールパネル操作一覧 -- 186

ショートカット機能 -- 188

ショートカット一覧表 -- 188

CHAPTER-12　索引 ---------------------------- 191

索引 -- 192

かな -- 192

アルファベット -- 194

MEMO

CHAPTER-1
はじめに

必ずお読みください

StationTV 取扱説明書について

- 「StationTV 取扱説明書」（以下、本書）は、地上デジタル放送／ＢＳデジタル放送／ＣＳデジタル放送の３放送波対応版「StationTV」（以下、本製品）の取扱説明書となります。
- パソコンの機種、または環境によっては本書に記載されていても表示されない、または操作できない項目があります。
- 本書は基本的にフルスクリーンモード状態での解説となっています。コンパクトモード時に制限される機能等については『ビューアを縮小表示する（コンパクトモード）』（P.61）をご参照ください。
- 本書の内容の一部およびすべてを無断で転載することは禁じられています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書では、Windows の基本的な操作については記載しておりません。ウィンドウの操作など、基本操作は Windows の一般的な使い方に準拠しております。
- 本書に使用している画像は、はめ込みの場合があります。
- 本書で使用しているアプリケーションの画面は製品開発中のものであり、実際とは異なる場合があります。

ご使用にあたってのご注意

- 本製品の運用を理由とする損失･逸失利益の請求につきましては、弊社はいかなる責任も負いかねます。
- ソフトウェアの一部または全部を、著作者の許可なく複製することや複製物を頒布するなどの行為は著作権の侵害にあたります。
- 本製品 (ソフトウェアも含む) は、日本国内仕様で製作されており、外国の規格などには準拠しておりません。本製品の日本国外でのご使用については、弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御などへの使用は意図されておりません。これらの設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 本製品を使用中、何らかの不都合で録画できなかった場合の録画内容の保証はいたしかねます。
- ケーブルテレビ (CATV) を受信するにはケーブルテレビ会社との手続きが必要です。専用受信機が必要となるケーブルテレビには直接接続できません。また、すべてのケーブルテレビ受信をサポートするものではありません。
- 本製品で記録した映像・音声は、個人の鑑賞以外での目的でご使用いただくことはできません。
- 著作権保護信号 (コピーガードなど) が含まれた映像は録画できません。
- 補正機能を含め本製品はすべての映像信号の入力を保証するものではありません。
- アンテナの設置状態や悪天候などの影響により、放送波の受信状況が良好でない場合、録画が正常に行われないことがあります。

著作物・映像・画像データの使用

- 本製品に収録されているデータは、著作権法に基づいて著作権にともなうすべての権利が保護されています。著作権利者以外の第三者が著作権利者の許諾無しに販売、レンタル、譲渡、複製を行うことはできません。著作権法に違反する行為は、刑事罰の対象となりますのでご注意ください。
- 本製品に収録されているデータは、お客様が個人で使用する場合に限り、使用を許諾されます。本製品に収録されている画像データなどをお客様が商用として複製使用することはできません。また、お客様がデータを一部修正、改変したものを商用として使用することはできません。

商標について

- Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Windows の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。
- その他、記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標もしくは登録商標です。
- 本書では ® および ™ などの商標マークは省略しています。

StationTV についてのご注意

- 地上デジタル放送は、放送エリア内でのみ受信可能です。放送エリアについては、社団法人地上デジタル放送推進協会のホームページでご確認ください。
- ケーブルテレビ (CATV) での受信において、「StationTV」はトランスモジュレーション方式には対応しておりません。また、ケーブルテレビのデジタル放送送信サービスについては、ご利用のケーブルテレビ局にお問い合わせください。
- デジタル放送の視聴、録画、再生は「StationTV」のみで可能です。録画されたファイルを他のソフトで再生することはできません。
- 「StationTV」は、ソフトウェアを用いてデジタル放送を再生（デコード）しています。デジタル放送視聴は、ハイビジョン品質の高精細な映像を再生するために、CPU、メモリを消費します。このため、番組によってはコマ落ちすることがあります。スムースな視聴のために、できるだけ他のソフトは終了してから「StationTV」を起動してください。
- 「StationTV」は、タスクトレイに常駐し常にバックグラウンドで動作しています。タスクトレイのアイコンで終了させることができますが、終了させると予約録画などはできませんので、ご注意ください。
- データ放送画面において、マウスによるクリック操作には対応していません。リモコン、もしくはキーボードの矢印キーと Enter キーで選択操作してください。
- データ放送を利用した、「StationTV」のアップデートを行う予定はありません。
- 録画した映像の編集・他形式への変換はできません。
- 緊急警報放送による自動起動には対応しておりません。
- 省電力設定を行うと、視聴中や録画番組再生中に映像が乱れる場合があります。
- 視聴中に省電力設定やスクリーンセーバー設定を行うと、この設定が視聴画面より優先され、適用される場合があります。
- マルチビュー放送視聴時に、映像と音声を同時に切り換えることはできません。映像と音声は個別に切り換え可能です。
- 本ソフトウェアは複数のユーザーで同時に使用できません。
- 「StationTV」は「管理者」および「標準ユーザー」で起動することができます。「Guest ユーザー」では起動できません。
- 「StationTV」の録画中にコンピューターの再起動、シャットダウン、ログオフを行うと、録画が停止します。
- 「StationTV」の起動中は、タイマーでのスリープへの移行はできません。「StationTV」で録画中に手動でスリープを行った場合は、画面および音声がオフになり、録画は継続されます。
- 電波状況が悪い場合に録画すると、録画された番組が正常に再生されないことがあります。
- B-CAS カードをすばやく出し入れすると、B-CAS カードが認識されず「StationTV」が動作しなくなる場合があります。
- タスクトレイの「StationTV」のアイコンが、[ ] の時は、情報受信中のため、スリープの設定が無効になります。スリープの設定を有効にするには、テレビ設定で [番組表自動取得] を [しない] に設定してください。詳しくは『[その他] の設定』(P.150) をご参照ください。

次ページへ

- 「StationTV」は、利用可能なディスプレイや接続環境に制限があります。HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）規格に対応していない DVI 端子で接続するディスプレイや、アナログ RGB 端子で接続するディスプレイでは起動できません。また、HDCP 対応 DVI 端子でディスプレイと接続する場合は、本体とディスプレイが、直接接続されている場合のみ動作します。本体とディスプレイの間に AV アンプや切換機が接続されている場合は、「StationTV」は起動できません。
- HDMI 端子で接続するディスプレイや、HDCP 対応 DVI 端子で接続するディスプレイを使用している場合、ディスプレイとの接続が切断すると「StationTV」は画面表示を中止します。
- お使いのパソコンに接続されているドライブによって、画面や機能が異なる場合があります。
- 通常の録画、タイムシフト録画ともに連続録画可能時間は最大 24 時間です。24 時間経過すると強制的に終了します。
- 予約録画の開始時間の直前 (1 分以内) にスリープ状態へ移行させると予約録画に失敗する場合があります。
- 録画中に録画番組を再生する場合はレコーダーを切り換える必要があります。
- 録画番組の保存先に、外付けハードディスクドライブを選択することはできません。
- デフラグ実行中に録画すると、コマ落ちした状態で録画される場合があります。
- タイムシフト中や再生中のスキップ幅はご利用環境や使用状況により、設定から大きくずれることがあります。
- 「StationTV」に Windows Media Center の画面が被さると、黒画面になる場合があります。復旧するには、画面右上の [ ] アイコンをクリックして「StationTV」を待機モードにし、タスクトレイから「StaionTV」を起動します。

「StationTV」にを待機モードにする手順について詳しくは『「StationTV」を待機モードにする』(P.51)、「StationTV」をタスクトレイから起動する手順について詳しくは『「StationTV」が待機モードのとき』(P.50) をご参照ください。

- サポートする解像度設定は「1024 × 768」以上です。

個人情報の取り扱いについて

「StationTV」は 、お客様が設定メニューで各種機能の設定時に入力する IP アドレス、その他の情報、ご利用に際しお客様が放送事業者から受領するお知らせ、番組購入履歴などを記録します。また、データ放送による通信サービスを利用される際に、データ放送の画面上でお客様が放送事業者の要求に基づき入力する個人情報や、データ放送のポイントなど、当該通信サービスに関連する情報が「StationTV」に記録され、放送事業者に通知されることがあります。
これら「StationTV」に記録される個人情報を含む各種情報は、お客様により削除が可能です。削除の具体的な方法については『設定初期化』(P.177) をご参照ください。

本書で使用しているマークについて

「StationTV」の状態表示アイコンの種類	
	このマークは、気を付けていただきたい内容について記述しています。
	このマークは、参考にしていただきたい内容について記述しています。
	このマークは、参照していただきたい関連項目や内容について記述しています。

CHAPTER-2
StationTVとは？

「StationTV」とは？

「StationTV」とは「地上デジタル放送」・「BS デジタル放送」・「CS デジタル放送」の合計 3 つの放送波を一つのアプリケーションでお楽しみいただける、テレビ視聴・録画統合アプリケーションです。

「見る」、「録る」、「予約する」、「再生する」といった基本的な機能はもちろんのこと、DVD や BD（ブルーレイディスク）に録画番組を保存できる「ディスク作成」機能を搭載。デジタル放送においては、高画質映像を放送画質のまま視聴・録画することができ、データ放送や双方向サービスも利用することができます。また、番組表（EPG）からの予約や、録画番組の管理などデジタル放送を最大限に活用するための機能が多数搭載されています。

デジタル放送について

デジタル放送とは

テレビ放送には従来の「地上アナログ放送」に加え、2003 年 12 月 1 日より地上波の UHF 帯を使用して「地上デジタル放送」が開始されました。
デジタル放送には、地上デジタル放送と BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送があり、デジタル信号で発信されることにより高画質でテレビ番組を見ることができるテレビ放送です。また、デジタル放送ではテレビ番組を見るだけではなく、テレビを見ながらクイズ番組に参加するなど、視聴者から放送局へ情報を送信することや、放送局からのお知らせをメールで受け取るなどの様々なサービスが提供されています。

◆ 地上デジタル放送とは

現在のアナログ放送と同様に、東京タワーなど地上の放送設備から各中継局を経て、デジタル放送を配信する仕組みです。BS ／ 110 度 CS デジタル放送が全国一律の内容を視聴できるのに対し、地上デジタル放送は地域ごとの放送局が配信するので、より地域に密着した情報が視聴可能です。地上デジタル放送の受信には、UHF アンテナが必要です。UHF アンテナは、現在使用しているアンテナを使用できますが、調整や交換が必要になる場合があります。

◆ BS ／１１０度 CS デジタル放送とは

「Broadcasting Satellite（放送衛星）」または「CommunicationSatellite（通信衛星）」と呼ばれる人工衛星を使って、デジタル放送を配信する仕組みです。人工衛星を使うので、全国どこでも同じ番組を視聴することができます。BS ／ CS デジタル放送の受信には、それぞれ専用のアンテナが必要です。また、放送局やチャンネルによって別途契約が必要になる場合があります。

デジタル放送の特徴

デジタル放送は従来の「地上アナログ放送」に比べ、以下のような様々な点で優れています。

画質・音質

デジタル放送は信号をデジタル化することにより、従来のアナログ放送より画質は走査線が 2 倍以上、画素数では 6 倍以上となり、ノイズの少ないきめ細やかなハイビジョン放送となります。音質も CD 並の高音質で楽しむことができます。

衛星放送（BS ／ CS）

デジタル放送では地上デジタル放送の他に、BS デジタル放送、CS デジタル放送をお楽しみいただけます。

データ放送

ニュースや天気予報をはじめとし、料理番組のレシピなど番組と連動したデータを手軽に得ることができます。また、自宅からクイズ番組に参加できるような、双方向サービスも提供されています。

データ放送について詳しくは『データ放送を見る』（P.83）をご参照ください。

次ページへ

番組表

番組表を使って、かんたんに番組を検索したり、録画を予約することができます。

番組表について詳しくは『番組表を見る』(P.63) をご参照ください

番組詳細

放送局から番組内容、出演者など様々な番組情報(マルチ映像・音声、データ放送など)が、番組にあわせて送信されます。番組の録画時にはこれらの番組情報(メインの映像・音声だけではなく、データ放送の内容やマルチ映像チャンネル・音声チャンネルなど)も記録されますので、この録画番組の再生時、視聴時と同じようにデータ放送を見たり、映像チャンネルや音声チャンネルを切り換えることができます。

※ 番組情報は放送局が任意で送信する情報なので、番組によって内容は異なります。

番組詳細について詳しくは『[番組詳細] の画面説明』(P.66) をご参照ください。

イベントリレー

地上デジタル放送では、番組表からの予約のときに設定をしておくと、予約している番組がイベントリレーされても、録画を継続することができます。

イベントリレーとは

スポーツ中継の延長のときになど、それ以降の番組スケジュールを崩さないよう、放送局が予備のチャンネル (臨時チャンネル、または別のチャンネル) に切り換えて放送を継続するサービスです。

マルチ音声

従来の地上アナログ放送でも複数の音声を含んだ番組が放送されますが、地上デジタル放送の番組には最大 8 種類の音声チャンネルを含むことができます。たとえば、野球中継で球団別の解説を選択できたりなど、複数の音声で番組を視聴できます。

※ マルチ音声は放送局が任意で送信する情報なので、番組によって内容は異なります。

マルチ音声について詳しくは『音声や映像を切り換える』(P.58) をご参照ください。

マルチ映像

地上デジタル放送では、複数の映像を含んだ番組が放送されています。ひとつの番組で複数の映像が用意されている場合、視聴者が映像を切り換えて視聴することができます。

マルチ映像について詳しくは『音声や映像を切り換える』(P.58) をご参照ください。

次ページへ

字幕／文字スーパー

字幕や文字スーパーに対応した番組の場合、画面に番組の内容を字幕や文字スーパーで表示させることができます。

字幕／文字スーパーについて詳しくは『字幕を表示する』（P.59）をご参照ください。

ディスク作成

「StationTV」内に録画した番組は、DVD や BD（ブルーレイディスク）に保存できます。

※「StationTV」内から、ムーブされた録画番組は削除されます。

「ディスク作成」について詳しくは『ディスク作成について』（P.130）をご参照ください。

デジタル放送のコピー制限について

デジタル放送では、著作権保護のため、ほとんどの番組にコピー制限があります。デジタル放送のコピー制限は番組によって異なります。録画ができるかどうかの確認は「番組詳細」画面で、ディスク作成可能回数の確認は「録画番組詳細」の画面で確認できます。

「番組詳細」画面について詳しくは『[番組詳細] の画面説明』（P.66）、「録画番組詳細」画面について詳しくは『[録画番組詳細] の画面』（P.116）をご参照ください。

「StationTV」でできること

「StationTV」の多彩な機能

3 つのテレビ放送波を見る

「StationTV」は、「地上デジタル放送」・「BS 放送」・「CS 放送」の合計 3 つの放送波を一つのアプリケーションでお楽しみいただけます。

放送波について詳しくは『デジタル放送について』(P.15)をご参照ください。

マルチ映像・音声

ひとつの番組で複数の映像や音声が用意されている場合、視聴者が自由に切り換えることができます。例えば、映像のアングルを切り換えて視聴したり、音声を日本語から英語に切り換えたりすることができます。

マルチ音声、マルチ映像の切り換えについて詳しくは『音声や映像を切り換える』(P.58)をご参照ください。

字幕／文字スーパー

デジタル放送では、字幕や文字スーパーに対応した番組の場合、画面に番組の内容を字幕や文字スーパーで表示させることができます。字幕と文字スーパーは、日本語や英語など、それぞれ表示する言語を選択することができます。

「設定」で言語を選択できます。詳しくは『[字幕／文字スーパー設定] の設定』(P.152)をご参照ください。

裏番組録画・ダブル録画

「StationTV」では視聴／録画を行う「レコーダー」が 2 つあり、これらを同時に使用することで、視聴中の番組の裏で放送している番組を録画する「裏番組録画」や、同時に2つの番組を録画する「ダブル録画」も可能です。

レコーダーについて詳しくは『レコーダーについて』(P.53)、裏番組録画、ダブル録画について詳しくは『裏番組録画／ダブル録画』(P.93)をご参照ください。

次ページへ

データ放送を見る

デジタル放送ではデータ放送がご利用いただけます。
データ放送とは、従来からの映像・音声コンテンツに様々な文字情報や双方向サービスを付加して送出する、独立型と連動型からなる新しい放送です。データ放送は、HTML と同じような表現が可能であり、文字情報だけでなく、画像やアニメーション、音声など様々な情報を見ることができます。

◆ 独立型データ放送

ニュースや天気予報などの情報が掲載されます。

◆ 連動型データ放送

番組の進行に連動した情報が表示され、クイズ番組への参加や、商品の購入などができます。

データ放送について詳しくは『データ放送を見る』（P.83）をご参照ください。

EPG 番組表をつかう

◆ EPG 番組表とは

EPG とは、番組データを元に作成された、電子番組表（Electronic Program Guide) のことです。「StationTV」では「番組表」と呼びます。
地上デジタル放送の番組表では、番組表から番組を選んで録画予約を行うと、「時間追従」や「イベントリレー」などのデジタル放送特有の機能を利用できます。

番組表について詳しくは『番組表を見る』（P.63）をご参照ください。

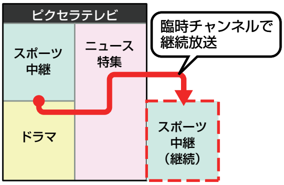
次ページへ

◆ 番組を簡単に検索、予約する

EPG 番組表を利用することで、大量の番組データの中から出演者やジャンル、番組の内容などの詳細情報をもとに、簡単に番組を検索することができます。さらに、分かりやすい画面操作で録画予約も簡単に設定することができます。

番組表からの番組検索について詳しくは『番組表で番組を探す』(P.61)、番組表からの予約については『番組を指定して録画を予約する (番組表予約)』(P.103) をご参照ください。

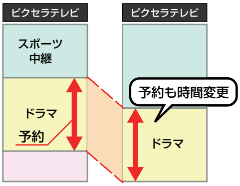
イベントリレー



デジタル放送では、スポーツ中継の放送時間延長のときなど、それ以降の番組スケジュールが変更されないように、放送局が予備のチャンネル (臨時サービスチャンネル、または別のチャンネル) に切り換えて、放送を継続するサービスがあります。番組表からの予約時に設定しておくと、別のチャンネルに切り換わっても録画は継続されます。

「イベントリレー」の設定について詳しくは『[地上デジタル／ BS ／ CS 設定] の設定』(P.157) をご参照ください。

時間変更追従



デジタル放送では、あらかじめ「設定」メニューで「時間変更追従」を設定しておくと、何らかの理由で番組の放送開始が遅れた場合でも、変更に合わせて予約を実行します。

※ 時間変更追従は予約設定時の開始時間から 3 時間まで有効です。

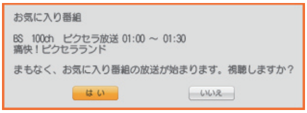
「時間変更追従」について詳しくは『[地上デジタル／ BS ／ CS 設定] の設定』(P.157) をご参照ください。

番組情報の同時録画

デジタル放送の録画では、メインの映像・音声だけではなく、データ放送の内容やマルチ映像チャンネル・音声チャンネルなども記録されますので、この録画番組の再生時、視聴時と同じようにデータ放送を見たり、映像チャンネルや音声チャンネルを切り換えることができます。

次ページへ

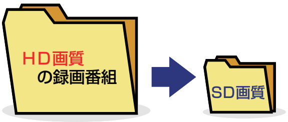
番組お知らせ機能



起動時にいつも見ている番組に自動でチャンネルを切り換えたり、別の番組を見ている際に、いつも見ている番組の放送開始を知らせるダイアログを表示することができます。

「番組お知らせ機能」について詳しくは『番組お知らせ機能』（P.74）をご参照ください。

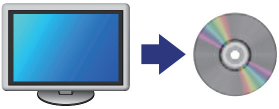
SD 画質変換



デジタル放送の HD 画質番組はとてもデータ量が多いため、録画するにはハードディスクに大きな空き容量が必要になります。録画済みのHD画質の録画番組を SD 画質に変換することによって録画番組のファイルサイズを小さくし、ハードディスクの容量を節約することができます。

「SD 画質変換」について詳しくは『SD 画質変換をする』（P.128）をご参照ください。

ディスク作成



「StationTV」で録画した番組（デジタル放送の一部番組を除く）を DVD や BD（ブルーレイディスク）に保存することができます。

「ディスク作成」について詳しくは『ディスク作成について』（P.130）をご参照ください。

MEMO

CHAPTER-3
準備

起動前の準備

パソコン側の準備

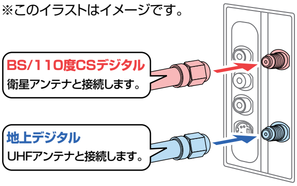
パソコンを起動する前に、以下の手順にそって B-CAS カードを挿入し、アンテナ線、外部入力端子、電話線、LAN ケーブルを接続します。

※ 以下の手順は「StationTV」の初回起動時のみに行えば、2 回目以降では必要ありません。

テレビを見る準備

アンテナ線を接続します

※このイラストはイメージです。



パソコンのアンテナ端子にアンテナ線を接続します。アンテナ端子は地上デジタル放送用、BS ／ CS デジタル放送用の 2 つがあるので、受信する放送にあわせて接続します。

詳しいアンテナの種類や端子の位置、接続方法はパソコン本体の取扱説明書をご参照ください。

B-CAS カードを挿入します

パソコンの B-CAS カードスロットに B-CAS カードを挿入します。

B-CAS カードスロットの位置、挿入方法は、パソコン本体の取扱説明書をご参照ください。

B-CAS カードについて

デジタル放送は不正コピーを防ぐために、放送信号が暗号化されています。B-CAS カードはその暗号を解除するために必要な IC カードです。B-CAS カードは、デジタル放送受信機に 1 枚添付され、紛失時のカード再発行には、手数料が必要です。

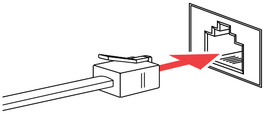
次ページへ

通信の準備

電話回線やインターネットは何に使うの？

デジタル放送では、双方向サービスを利用するために、電話回線やインターネットを使用します。
電話回線接続、インターネット接続をしない場合は、双方向サービスを利用できません。

電話線を接続します

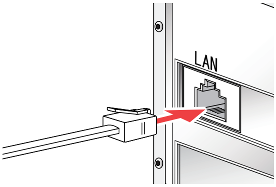


パソコン付属 USB モデムのモジュラージャックに電話線を接続します。

※ 電話回線は双方向サービス、ダイヤルアップでのインターネット接続に使用します。これらを利用しない場合、接続は不要です。

USB モデムについて、モジュラージャックの位置、接続方法はパソコン本体の取扱説明書をご参照ください。

LAN ケーブルを接続します



インターネットへの接続に LAN ケーブルを使用している場合は、パソコンの LAN ポートに LAN ケーブルを接続します。

LAN ポートの位置、接続方法はパソコン本体の取扱説明書をご参照ください

以上で、起動前の準備は完了です。

StationTV の初回起動

「StationTV」を起動する

『パソコン側の準備』（P.24）が終了したら、パソコンの電源を入れ、「StationTV」を起動します。

「StationTV」を起動する

1. パソコンの電源を入れます

[電源] ボタンを押します。

➡ パソコンが起動します。

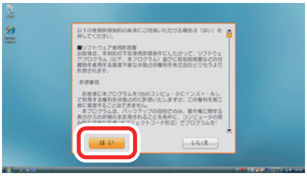
パソコン本体の起動／終了について詳しくは、パソコンの取扱説明書をご参照ください。

2. 「StationTV」を起動します

リモコンの [テレビ] ボタンを押します。

➡ 「ソフトウェアの使用許諾」、「個人情報の取り扱い」に関するメッセージが表示されます。（初回起動時のみ）

3. メッセージを確認します



メッセージを確認し、[はい] が選択されている状態で [決定] ボタンを押します。

➡ 「ユーザー アカウント制御」のダイアログが表示されます。「許可」をクリックすると、数秒後「StationTV」の起動画面が表示されます。（初回起動時のみ）

4. StationTV が起動します

「StationTV」の起動画面が数十秒間表示（パソコンの環境によって変わります）された後、「初回設定」が開始します。

初回設定について詳しくは『初回設定（初回起動時）』（P.27）をご参照ください。

初回設定（初回起動時）

「StationTV」では初回起動時には「初回設定」が起動し、テレビ視聴やその他の機能に必要な設定を簡単に行うことができます。「初回設定」が終了すると、「StationTV」をご利用いただけます。

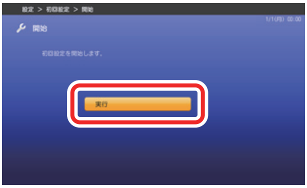
※ 2 回目以降の起動時には「初回設定」は起動しません。

メッセージにしたがって初回設定をする

初回設定を最初から順に説明します。

設定 1：初回設定を開始する

初回設定を開始します



[実行] が選択されている状態で、[決定] ボタンを押します。

➡ [郵便番号設定] 画面が表示されます。

設定 2：郵便番号を設定する

1. ご利用の地域の郵便番号を入力します

1. [郵便番号] が選択されている状態で、[決定] ボタンを押します。
   ➡ 郵便番号の入力欄が表示されます。
2. ご利用の地域の郵便番号を [0 ~ 9] ボタンで入力します。
   ※ ハイフンの入力は必要ありません。
   ※ 事業所の個別郵便番号は使用できません。
   ➡ 入力した番号が表示されます。
3. [決定] ボタンを押します。
   ➡ 郵便番号が確定します。

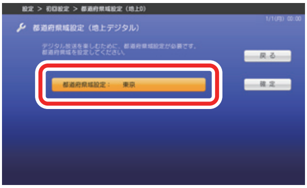
2. 設定を確定します

1. 方向キー [ ] で [確定] に移動します。
   ➡ [確定] が選択状態になります。
2. [決定] ボタンを押します。
   ➡ [都道府県域設定（地上デジタル）] 画面が表示されます。

次ページへ

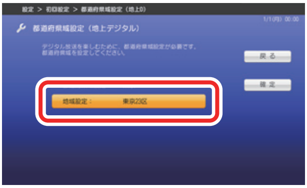
設定３：都道府県域を設定する（地上デジタル放送用）

1. ご利用の地域の都道府県域を設定します



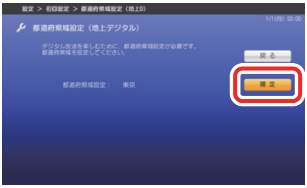
1. [都道府県域] が選択されている状態で、[決定] ボタンを押します。
   ➡ 都道府県域の選択プルダウンメニューが表示されます。
2. 方向キー [✥] でご利用の地域の都道府県域を選択します。
3. [決定] ボタンを押します。
   ➡ 都道府県域が確定します。

2. ご利用になられている地域を設定します



1. 方向キー [✥] で [地域] を選択し、[決定] ボタンを押します。
   ➡ [地域] が選択状態になります。
2. 方向キー [✥] でご利用の地域を選択します。
3. [決定] ボタンを押します。
   ➡ 地域が確定します。

3. 設定を確定します

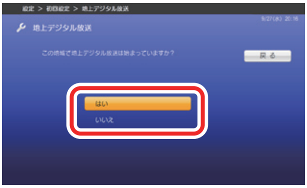


1. 方向キー [✥] で [確定] に移動します。
   ➡ [確定] が選択状態になります。
2. [決定] ボタンを押します。
   ➡ [地上デジタル放送] 画面が表示されます。

次ページへ

設定４：地上デジタル放送局の設定をする

[はい] または [いいえ] を選択します



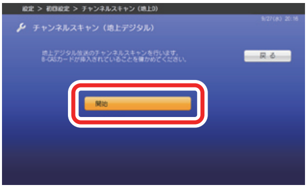
1. 方向キー [ ] でどちらかを選択します。
2. [決定] ボタンを押します。

➡ [はい] の場合は [チャンネルスキャン（地上デジタル）] 画面が表示されます。設定５へお進みください。

➡ [いいえ] の場合は [アンテナ電源] 画面が表示されます。設定６へお進みください。

設定５：チャンネルをスキャンする（地上デジタル放送用）

1. チャンネルスキャンを開始します

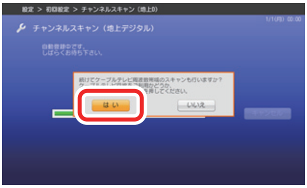


[開始] が選択されている状態で、[決定] ボタンを押します。

➡ チャンネルスキャンが開始されます。終了すると、ケーブルテレビ周波数帯域に関するメッセージが表示されます。

※ チャンネルスキャンには約１～２分かかります。また、チャンネルスキャン中にパソコンや「StationTV」を終了しないでください。

2. 必要な場合、ケーブルテレビ周波数帯域のスキャンを行います



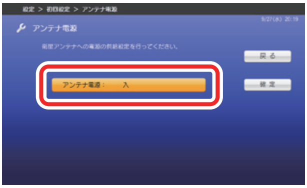
ケーブルテレビ回線でご利用の場合、またはご使用の回線の種類がわからない場合は [はい] を、ケーブルテレビ回線でご利用でない場合、[いいえ] が選択されている状態で [決定] ボタンを押します。

➡ [はい] の場合、ケーブルテレビ周波数帯域のスキャンが開始されます。終了すると、確認メッセージが表示されます。

➡ [いいえ] の場合、確認メッセージが表示されます。

次ページへ

3. メッセージを確認します



[はい] を選択して、[決定] ボタンを押します。

➡ チャンネルスキャンが終了し、[アンテナ電源] 画面が表示されます。

※ 機種によってはアンテナ電源の設定（設定：6）は行なわずに、［モデム選択］画面が表示されます。（設定：7）

ポイント

何らかの原因でチャンネルスキャンが失敗する場合など、一度スキップして、後でやり直すこともできます。

チャンネルスキャンをスキップするには、方向キー [ ] で [スキップ] を選択し、[決定] ボタンを押してください。

「初回設定」の終了後のチャンネルスキャン方法については『チャンネルスキャン（地上デジタル）』（P.141）をご参照ください。

ケーブルテレビ（CATV）でのご利用上の注意

ケーブルテレビ (CATV) での受信において、「StationTV」はトランスモジュレーション方式には対応しておりません。また、ご利用のパソコンの機種によっては、周波数変換パススルー方式に対応していない場合もあります。ご利用のパソコンの環境についてはパソコンの取扱説明書をご参照ください。また、ケーブルテレビのデジタル放送送信サービスについては、ご利用のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

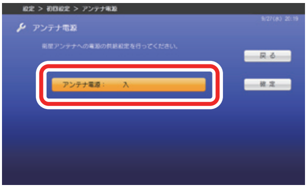
設定 6：アンテナへの電源供給を設定する

BS/CS デジタル放送用の衛星アンテナへの電源供給を設定します。

衛星アンテナへの電源供給とは

一般に衛星アンテナの電源は、チューナーなどの受信機から電源を供給しています。衛星アンテナがご使用のパソコンにだけ接続されている場合は、パソコンから電源を供給する必要があります。マンションなどで共同の衛星アンテナをご使用になる場合や、他の受信機から電源供給している場合は、パソコンからの電源供給は不要です。

1. [入]、または [切] を選択します



1. 方向キー [ ] で [アンテナ電源] を選択し、[決定] ボタンを押します。

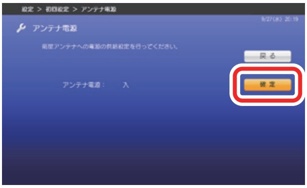
   ➡ [アンテナ電源] の選択プルダウンメニューが表示されます。

2. どちらかを選択し、[決定] ボタンを押します。

   ➡ [アンテナ電源] が確定します。

次ページへ

2. 設定を確定します



1. 方向キー [ ] で [確定] に移動します。

➡ [確定] が選択状態になります。

2. [決定] ボタンを押します。

➡ [モデム選択] 画面が表示されます。

設定 7：モデムを設定する

双方向サービスに利用する電話回線を設定します。ご使用のパソコンに内蔵されているモデムを設定してください。

ポイント

双方向サービスを利用しない場合は [モデム] 設定は [設定なし] のままでもかまいません。

1. ご使用になるモデムを選択します

1. [モデム] が選択されている状態で、[決定] ボタンを押します。

➡ [モデム] の選択プルダウンメニューが表示されます。

2. 方向キー [ ] で使用するモデムを選択し、[決定] ボタンを押します。

➡ [モデム] が確定します。

2. 設定を確定します

1. 方向キー [ ] で [確定] に移動します。

➡ [確定] が選択状態になります。

2. [決定] ボタンを押します。

➡ [電話回線種別] 画面が表示されます。

次ページへ

設定８：電話回線種別を設定する

引き続き、双方向サービスなどに利用する電話回線を設定します。ご使用の電話回線の契約状況をご確認いただき、電話回線種別を設定してください。

電話回線種別がわからない場合

[電話回線種別] で [自動] を選択すると、「StationTV」が自動的に電話回線種別を識別して設定を行います。ただし、お使いの電話回線状況によっては、うまく動作しない場合がありますので、その場合は以下のように設定を行ってください。
・プッシュホン回線の場合・・・[電話回線種別] を [トーン] に設定してください。
・ダイヤル回線の場合・・・[電話回線種別] を [10pps] または [20pps] に設定してください。

1. ご使用の電話回線の種別を選択します

1. 方向キー [ ] で [電話回線種別] を選択し、[決定] ボタンを押します。
   ➡ [電話回線種別] の選択プルダウンメニューが表示されます。
2. どちらかを選択し、[決定] ボタンを押します。
   ➡ [電話回線種別] が確定します。

2. 設定を確定します

1. 方向キー [ ] で [確定] に移動します。
   ➡ [確定] が選択状態になります。
2. [決定] ボタンを押します。
   ➡ [発信番号設定] 画面が表示されます。

次ページへ

設定 9：発信番号（外線設定）を設定する

引き続き、双方向サービスに利用する電話回線を設定します。
発信番号（外線設定）設定は、接続に使用する電話で外線電話をかけるとき、[0] などの先頭番号が必要になる場合に設定します。外線発信番号が必要ない場合は設定不要です。

1. ご使用の電話回線の発信番号 (外線設定) を設定します

1. [発信番号設定] が選択されている状態で、[決定] ボタンを押します。
   ➡ [発信番号設定] の選択プルダウンメニューが表示されます。
2. 方向キー [ ] で必要な外線番号を選択し、[決定] ボタンを押します。
   ➡ [発信番号設定] が確定します。

2. 設定を確定します

1. 方向キー [ ] で [確定] に移動します。
   ➡ [確定] が選択状態になります。
2. [決定] ボタンを押します。
   ➡ [終了] 画面が表示されます。

設定 10：初回設定を終了する

初回設定を終了します

方向キー [ ] で [確定] を選択し、[決定] ボタンを押します。

➡「初回設定」が終了し、ビューアが表示されます。

以上で、初回設定は終了です。

設定内容を変更する場合や、初回設定では設定していない項目の設定をする場合は、『「StationTV」の設定』（P.138）をご参照ください。

MEMO

CHAPTER-4
テレビを見る

基本画面説明

「StationTV」には視聴画面(ビューア)、メインメニュー画面をはじめ、様々な画面があります。ここではよく使うメイン画面を説明します。

ビューア画面（視聴画面）

「ビューア」とは、テレビ番組の視聴や、録画番組の再生を行うための画面です。
フルスクリーンモード（通常画面）の他に、ビューア画面を小さくするコンパクトモードがあります。

画面の表示切り換えについて詳しくは『ビューアを縮小表示する（コンパクトモード)』(P.61）をご参照ください。

フルスクリーンモード時（通常画面）のビューア画面

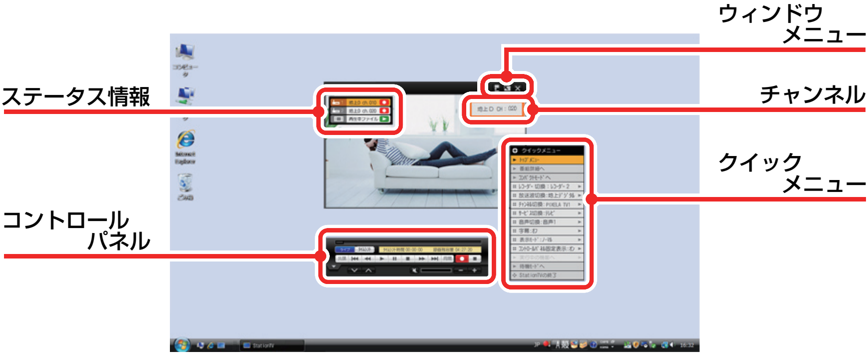
フルスクリーンモード時は次のような画面が表示されます。

※ この画面は全機能を表示させた合成画面です。

コンパクトモード時のビューア画面

コンパクトモード時は次のような画面が表示されます。

※ この画面は全機能を表示させた合成画面です。



表示される各項目ついて詳しくは、『ビューアに表示される項目』(P.38）をご参照ください。

次ページへ

ビューア画面（フルスクリーンモード時、コンパクトモード時）の項目

ステータス情報	現在のレコーダーの状態や、受信している番組名やその番組の詳細が表示されます。 詳しくは『ステータス情報』（P.38）をご参照ください。
ウィンドウメニュー	ビューアの上部にマウスを移動した際に表示される、表示サイズの変更や「StationTV」の終了ができるメニューアイコンです。 詳しくは『ウィンドウメニュー』（P.39）をご参照ください。
チャンネル	選局したときに表示されるチャンネル番号です。 詳しくは『チャンネル』（P.39）をご参照ください。
クイックメニュー	[ビューア] 画面から [トップメニュー] 画面を表示させずに、「StationTV」の操作が行えます。受信している放送局や、「StationTV」の状態によってクイックメニューの外観、内容は異なります。 詳しくは『クイックメニュー』（P.40）をご参照ください。
メッセージ	「StationTV」からのメッセージです。 詳しくは『メッセージ』（P.42）をご参照ください。
コントロールパネル	[ビューア] 画面からマウスで「StationTV」を操作することができます。「StationTV」の状態によってコントロールパネルの外観、内容は異なります。 詳しくは『コントロールパネル』（P.42）をご参照ください。

ビューアに表示される項目

ビューア画面に表示される各項目を説明します。

ステータス情報

現在のレコーダーの状態や録画番組再生情報を表示します。

レコーダーについて詳しくは『レコーダーについて』（P.53）をご参照ください。

ステータス情報の項目	
レコーダー１ 情報	レコーダー１の状態を表示します。黄色で表示されているステータスが現在［ビューア］画面に表示されている機能になります。 各表示項目については『ステータス情報の表示項目』（下表）をご参照ください。
レコーダー２ 情報	レコーダー２の状態を表示します。黄色で表示されているステータスが現在［ビューア］画面に表示されている機能になります。 各表示項目については『ステータス情報の表示項目』（下表）をご参照ください。
録画番組再生 情報	録画番組の再生時に状態を表示します。 ※録画番組の再生時のみ表示されます。

ステータス情報の表示項目	
レコーダー番号	レコーダーの番号です。
保存先アイコン	録画番組の保存先です。 保存先の設定については『HDD 設定』（P.159）をご参照ください。
状態アイコン	現在の状態を表すアイコンです。 録画中、または再生中にアイコンが表示されます。
番組名	レコーダーで、現在受信している番組のタイトルです。
チャンネル名	レコーダーで、現在受信してるチャンネル名です。
放送局ロゴ	レコーダーで、現在受信してる放送局のロゴです。
チャンネル番号	レコーダーで、現在受信してる放送局のチャンネル番号です。
放送波	レコーダーで、現在受信している放送波です。

次ページへ

ウィンドウメニュー

ビューアの上部にマウスを移動した際に表示される、表示サイズの変更や「StationTV」の終了を行うメニューアイコンです。アイコンの種類については下記の表をご参照ください。

ウィンドウメニューのアイコン一覧	
	「StationTV」の [ビューア] 画面を閉じ、待機モードにします。 待機モードについて詳しくは『「StationTV」の状態について』(P.48) をご参照ください。
	コンパクトモードに切り換えます。 コンパクトモードについて詳しくは『ビューアを縮小表示する（コンパクトモード)』(P.61）をご参照ください。
	フルスクリーンモードに切り換えます。
	「StationTV」をタスクバーに収納し、デスクトップ画面を表示します。 ビューアは消えますが、「StationTV」は起動している状態です。タスクバー内の「StationTV」をマウスクリックすると、再びビューアを表示します。

ウィンドウメニューを表示します

フルスクリーンモード時にはビューアの最上部にマウスポインタを移動すると表示されます。表示を消すには最上部からマウスを動かしてください。コンパクトモード時はビューア上部に常に表示されています。

チャンネル

図 1

図 2

図 1
ダイレクト選局、またはワンタッチ選局のときに、入力された数字が表示されます。

図2
チャンネルが切り換わったときに表示される、放送局のチャンネル番号です。

次ページへ

クイックメニュー

クイックメニューは [サブメニュー ⓘ] ボタンを押すと、表示されるメニューです。もう一度押すか、[戻る] ボタンを押すと非表示になります。クイックメニューは以下のように表示されます。

クイックメニューの項目	
トップメニュー	[トップメニュー] 画面を表示します。 詳しくは『トップメニュー画面』(P.43) をご参照ください。
番組詳細へ	[番組詳細] 画面を表示します。 詳しくは『[番組詳細] の画面説明』(P.66) をご参照ください。
コンパクトモードへ／フルスクリーンモードへ	ビューアのサイズを切り換えます。 詳しくは『ビューアを縮小表示する (コンパクトモード)』(P.61) をご参照ください。
レコーダー切換	レコーダーを切り換えます。 ◆ 選択項目 [レコーダー 1] ／ [レコーダー 2] 詳しくは『レコーダーを切り換える』(P.55) をご参照ください。
放送波切換	放送波、または入力を選択します。 ◆ 選択項目 [地上デジタル] ／ [BS] ／ [CS] 詳しくは『放送波を切り換える』(P.55) をご参照ください。
チャンネル切換	選択した放送局にチャンネルを切り換えます。 詳しくは『チャンネルを切り換える』(P.56) をご参照ください。
サービス切換	サービスを切り換えます。選択できるサービスは放送波によって異なります。 ◆ 選択項目 [テレビ] ／ [ラジオ] ／ [データ] ※選択項目の「ラジオ」は地上デジタル放送では運用されていません。
音声切換	音声を切り換えます。選択できる音声は番組によって異なります。 詳しくは『音声や映像を切り換える』(P.58) をご参照ください。
字幕	字幕表示を切り換えます。 ◆ 選択項目 [選択可能な言語] ／ [オフ] ※番組によって選択できる言語は異なります。 詳しくは『字幕を表示する』(P.59) をご参照ください。

次ページへ

クイックメニューの項目

表示モード	ビューアの表示モードを切り換えます。 ◆ 選択項目 ［ノーマル］／［ワイド］／［ズーム］ 詳しくは『ビューアの表示モードを切り換える』（P.60）をご参照ください。
最前面表示	コンパクトモード時のビューアを最前面表示に設定できます。 ◆ 選択項目 ［オン］／［オフ］ ※この項目は、コンパクトモード時にのみ表示されます。
先頭（前の録画番組）	単一の録画番組の再生時には、その録画番組の先頭に戻って再生します。 連続ファイル再生時（複数の録画番組を選択して再生）には、一つ前の録画番組の先頭に戻って再生します。一つ前に録画番組がない場合はその録画番組の先頭に戻って再生します。 ※この項目は、録画番組再生時にのみ表示されます。
終端（次の録画番組）	単一の録画番組の再生時には、その録画番組の終端まで進んで停止します。 連続ファイル再生時（複数の録画番組を選択して再生）には、一つ後の録画番組の先頭に進んで再生します。一つ後に録画番組がない場合はその録画番組の終端に進んで停止します。 ※この項目は、録画番組再生時にのみ表示されます。
コントロールパネル固定表示	［オン］に設定するとコントロールパネルを常時表示させることができます。 ◆ 選択項目 ［オン］／［オフ］ ※この項目は、フルスクリーンモード時にのみ表示されます。
待機モードへ	「StationTV」を待機モードにします。 詳しくは『「StationTV」の状態について』（P.48）をご参照ください。
StationTV の終了	「StationTV」を終了します。 詳しくは『「StationTV」の状態について』（P.48）をご参照ください。

次ページへ

メッセージ

「StationTV」からのメッセージです。下記の状態のときに表示され、約５秒間で非表示になります。

※ 表示モードが「コンパクト」のときには表示されません。

メッセージ一覧	
データ収集中	データ放送の受信中に表示されます。受信が完了すると、データ放送が視聴できます。このメッセージは表示／非表示を切り換えることができます。 メッセージの表示切り換えについて詳しくは『データ放送設定』（P.161）をご参照ください。
回線接続中	双方向サービスで接続しているときに表示されます。
非リンク状態	データ放送など通信コンテンツを表示していて、映像や音声を表示できない状態のときに表示されます。
ダウンロードあり	ダウンロードデータがある場合に表示されます。 このメッセージが表示された後、待機モードへ移行するとダウンロードが実行されます。
未読メールあり	放送メールを受信したときに表示されます。
未読メッセージあり	メッセージを受信したときに表示されます。

コントロールパネル

マウスクリックで「StationTV」を操作するためのパネルです。

※ 画面サイズによってコントロールパネルの形状は異なります。

コントロールパネルの機能について詳しくは『コントロールパネル機能』（P.186）をご参照ください。

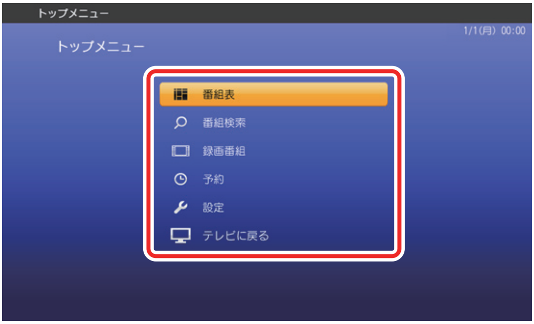
コントロールパネルを表示します

ビューア上をマウスクリックするか、ビューアの最下部にマウスポインタを移動すると表示されます。また、テレビの視聴、再生、録画を操作するリモコンボタンを押した際にも、表示されます。

メニュー画面

トップメニュー画面

「StationTV」のほとんどの機能はこのメニュー画面から行います。



トップメニュー画面の項目名	
番組表	EPG 番組表を表示します。 番組表について詳しくは『番組表を見る』(P.63) をご参照ください。
番組検索	「番組表」、または「録画番組」から番組を検索することができます。 検索方法には「ジャンル検索」と「フリーワード検索」があります。 番組検索について詳しくは『番組を検索する』(P.67)、録画番組検索について詳しくは『録画番組を検索する』(P.120) をご参照ください。
録画番組	「StationTV」で録画した録画番組の一覧を表示します。 この画面から「再生」、「ディスク作成」が行えます。 「再生」について詳しくは『録画番組を再生する』(P.118)、「ディスク作成」について詳しくは『ディスク作成について』(P.130) をご参照ください。
予約	録画予約の一覧を表示します。また、録画予約の設定もこの画面から行います。 予約について詳しくは『予約』(P.97) をご参照ください。
設定	「StationTV」の各種設定はこの画面から行います。 「StationTV」の各種設定については『各種設定』(P.137) をご参照ください。
テレビに戻る	「トップメニュー」画面を閉じて、「ビューア」画面に戻ります。

トップメニューを表示します

[テレビメニュー] ボタンを押します。

➡ [トップメニュー] 画面が表示されます。

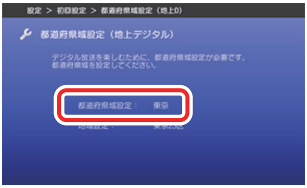
※ もう一度押すと、「ビューア」画面に戻ります。

次ページへ

リスト項目の選択・編集

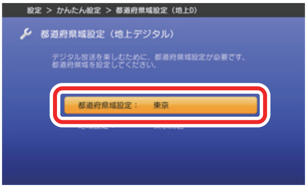
「トップメニュー」画面をはじめ、「StationTV」のメニュー画面ではリスト項目を選択 / 編集して設定を行います。
設定項目には次の状態があります。

◆ 非選択状態 (通常の状態)



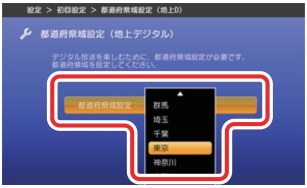
通常のリスト項目の状態です。

◆ 選択状態



リスト項目が選択されている状態 (フォーカスがあたっている状態）です。方向キー [ ] で移動することができます。

◆ 編集状態



リスト項目が編集できる状態です。リスト項目が選択されている状態で [決定] ボタンを押すと、この状態になります。

次ページへ

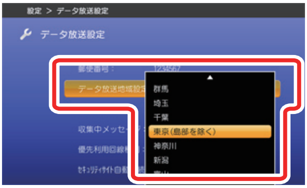
リスト項目の編集手順

実際にリスト項目を操作します。

1. 方向キー[ ]で、フォーカスを移動します

方向キー[ ]で編集したリスト項目へ移動します。

2. [決定]ボタンで編集状態にします



[決定]ボタンを押します。

3. 編集します

方向キー[ ]、[0 ~ 9]ボタン、またはキーボードで編集します。

※ リスト項目の選択肢はリストから選択するものや、直接キーボードで入力するものなど様々です。選択肢によって使い分けてください。

次ページへ

リスト項目の複数選択

[録画番組] 画面のように項目がリスト表示されている画面では、複数の項目を同時に選択することができます。

1. 選択する項目を選びます

方向キー [ ] を押して選択する項目を選びます。

2. [一時停止] ボタンで選択します

1. [一時停止] ボタンを押します。
   ➡ 選択された項目が選択状態のまま固定されます。
2. 必要回数、手順 1. と手順 2. を繰り返します。
   ➡ すべての選択した項目が選択状態のまま固定されます。この状態で「削除」、「再生」などの操作メニューを選択すると、選択したリスト項目すべてに適用されます。

ページのスクロール

リスト項目が複数にわたり、１つの画面に入りきらない場合、ページが増えます。

ページ切り換えアイコンでページを切り換える

以下の手順で、ページを切り換えます。

ページを切り換えます

1. 方向キー [ ] を押して、切り換えたい方向のページ切り換えアイコンを選択します。
   ➡ ページ切り換えアイコンが選択状態になります。
2. [決定] ボタンを押します。
   ➡ ボタンを押すたびに、ページが切り換わります。

※ 最後のページまで切り換わると、ボタンは効かなくなります。

次ページへ

表示をスクロールします

スクロールバーを使用してのスクロールはマウス操作でのみ可能です。

スクロールバーで表示をスクロールします

マウスでスクロールバーをドラッグします。または、スクロールバーの上下にある矢印アイコンをクリックします。

➡ リスト項目がページ単位でスクロールします。

項目を順番に選択し、表示をスクロールします

方向キー [ ] を押して、項目を順番に選択し、表示をスクロールします。

➡ リスト項目がスクロールします。

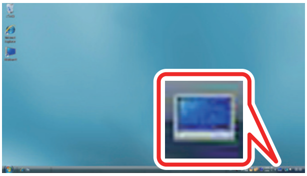
テレビ視聴の基本操作

「StationTV」ではデジタル放送（地上／ BS ／ CS）のテレビ放送がご覧になれます。
ここでは、これらのテレビ放送を見るための基本操作を解説します。

「StationTV」の状態について

「StationTV」にはテレビ視聴中などの通常の起動状態や終了状態とは別に「待機モード」という状態があります。

「待機モード」とは？



「StationTV」には「待機モード」という状態があります。「待機モード」はビューアを表示せずに録画予約の実行や、番組表の取得などを行うことができます。
待機モード中はデスクトップ画面のタスクトレイにアイコンが表示されます。

※ パソコン本体がスリープ状態から復帰した時、「StationTV」は「待機モード」になります。

「StationTV」を「待機モード」にする手順について詳しくは、『「StationTV」を待機モードにする』（P.51）をご参照ください。

終了状態とは？

「StationTV」が完全に終了した状態です。ウィンドウメニューやクイックメニュー、タスクトレイアイコンの右クリックメニューから実行できます。
録画予約の実行や番組表情報の取得、番組お知らせ案内など、すべての「StationTV」の機能は動作しなくなります。

「StationTV」を終了する手順について詳しくは、『「StationTV」を終了する』（P.52）をご参照ください。

「StationTV」の状態表示アイコン

タスクトレイに「StationTV」の現在の状態がアイコン表示されます。「StationTV」が終了している状態では表示されません。

「StationTV」の状態表示アイコンの種類	
	「StationTV」起動中の通常の状態、または「待機モード」中の通常の状態です。
	「StationTV」の起動中、または「待機モード」中で、録画を実行している状態です。
	「StationTV」の起動中、または「待機モード」中で、番組表情報などを受信している状態です。

「StationTV」の起動方法

「StationTV」が完全に終了している場合と、「待機モード」でタスクバーに常駐している場合の起動方法を説明します。

Windows Aero は無効になります

ご利用のパソコンの機種により、Windows Aero の画面表示に設定している場合、「StationTV」起動時には、「画面の配色は Windows Vista ベーシックに変更されました」のメッセージが表示され、Windows Aero は無効になります。「StationTV」を終了または待機モードにした時、自動で画面表示の設定は元に戻ります。

「StationTV」が終了しているとき

リモコンの [テレビ] ボタンで起動します

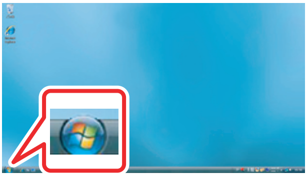
リモコンの [テレビ] ボタンを押します。

➡「StationTV」が起動します。

パソコンの起動について

[テレビ] を押すと、パソコンの電源が切れている状態でも、パソコンを起動し、「StationTV」も起動することができます。

Windows の [スタート] メニューから起動します



1. Windows の [スタート] メニューを開きます。
2. 次の手順でメニューを選択します。
   [すべてのプログラム] ▶ [PIXELA] ▶ [StationTV] ▶ [StationTV]

➡「StationTV」が起動します。

次ページへ

「StationTV」が待機モードのとき

「StationTV」が待機モードのとき、上記の手順の他にタスクトレイから起動することができます。

リモコンの [テレビ] ボタンで起動します

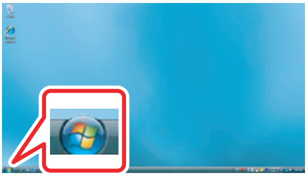
リモコンの [テレビ] ボタンを押します。

➡「StationTV」が起動します。

パソコンの起動について

[テレビ] を押すと、パソコンの電源が切れている状態でも、パソコンを起動し、「StationTV」も起動することができます。

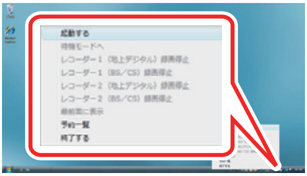
Windows の [スタート] メニューから起動します



1. Windows の [スタート] メニューを開きます。
2. 次の手順でメニューを選択します。
   [すべてのプログラム] ▶ [PIXELA] ▶ [StationTV] ▶ [StationTV]

➡「StationTV」が起動します。

タスクトレイ内の「StationTV」アイコン（ ）から起動します



1. タスクトレイ内の「StationTV」アイコンを右クリックします。

➡ メニューが表示されます。

2. [起動する] をクリックします。

➡「StationTV」が起動します。

「StationTV」の終了方法

「StationTV」を待機モードにする

1. ビューア上の上部にマウスポインタを移動します。

➡「ウィンドウメニュー」が表示されます。

2. [閉じる] アイコンをクリックします。

➡「StationTV」が待機モードになります。

「StationTV」の待機モードについて

「StationTV」を待機モードにすると、ビューア表示が消え、タスクトレイに「StationTV」アイコンが表示されます。番組録画の実行などは、この状態(待機モード)のままを行うことができます。「StationTV」を終了してしまうと、番組の録画予約、番組表の取得などを実行することはできませんので、ご注意ください。

クイックメニューからも終了の操作ができます。クイックメニューについて詳しくは『クイックメニュー』(P.40)をご参照ください。

次ページへ

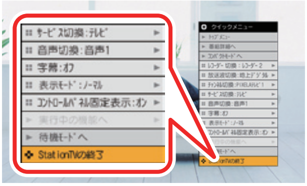
「StationTV」を終了する

「StationTV」の終了について
「StationTV」を終了すると、番組の録画予約、番組表の取得などを実行できませんのでご注意ください。

クイックメニューからも終了の操作ができます。クイックメニューについて詳しくは『クイックメニュー』（P.40）をご参照ください。

◆「StationTV」が起動中のとき

クイックメニュー内の [StationTV の終了] を選択します



1. リモコンの [サブメニュー ⓘ] ボタンを押します。
   ➡「クイックメニュー」が表示されます。
2. [StationTV の終了] を選択し、
   [決定] ボタンを押します。
   ➡「StationTV」が終了します。

◆「StationTV」が待機モード中のとき

タスクトレイの「StationTV」アイコン（ ）から終了します

1. タスクトレイ内の「StationTV」アイコンを右クリックします。
   ➡ メニューが表示されます。
2. [終了する] をクリックします。
   ➡「StationTV」が終了します。

レコーダーについて

「StationTV」ではテレビの視聴・録画にレコーダーを使用します。

レコーダーとは？

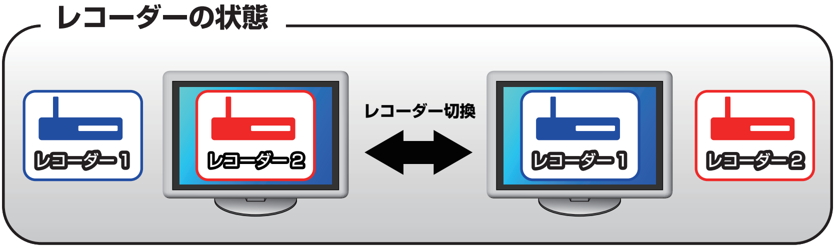
「StationTV」では視聴／録画を行う「レコーダー」というものが２つあり、これらを同時に使用することで、視聴中の番組の裏で放送している番組を録画する「裏番組録画」や、同時に2つの番組を録画する「ダブル録画」も可能です。

レコーダーの使用例については「レコーダーの使用例」（P.54）、「裏番組録画」・「ダブル録画」の操作方法について詳しくは『裏番組録画／ダブル録画』（P.93）をご参照ください。

レコーダーの状態について

レコーダーには2つの状態があります。
現在ディスプレイで表示している状態と、ディスプレイで表示しておらず裏で動作、または待機している（使用していない）状態の2つです。
レコーダーの切り換えを行うことによってこれらの状態を「レコーダー１」と「レコーダー2」とで切り換えることができます。

レコーダーの切り換え方法について詳しくは「レコーダーを切り換える」(P.55) をご参照ください。



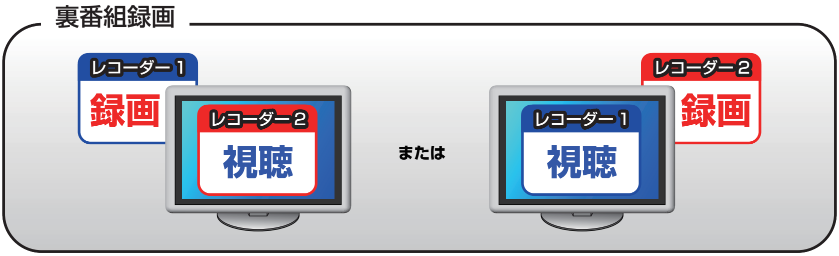
次ページへ

レコーダーの使用例

◆ 裏番組録画（番組を見ながら、裏で別の番組を録画する）

どちらかのレコーダーで番組を視聴しながら、使用していないレコーダーで別の番組を録画します。

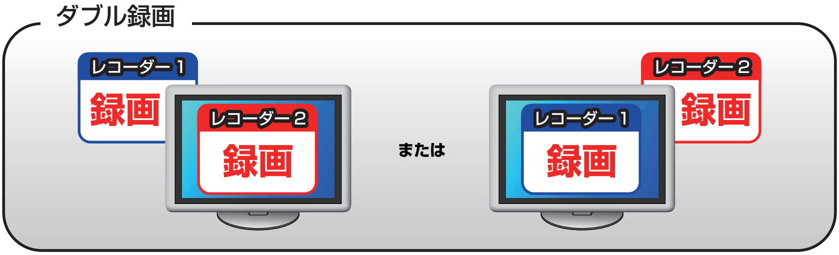
「裏番組録画」について詳しくは『裏番組録画／ダブル録画』（P.93）をご参照ください。



◆ ダブル録画（見ている番組を録画しながら、裏で別の番組も録画する）

どちらかのレコーダーで番組を録画しながら、使用していないレコーダーで別の番組も録画します。

「ダブル録画」について詳しくは『裏番組録画／ダブル録画』（P.93）をご参照ください。



次ページへ

ステータス情報を表示する

キーボードの [B] キーでステータス情報を表示します

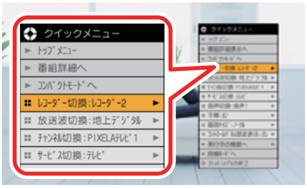
ビューアが表示されている状態で、キーボードの [B] キーを押します。

➡ ステータス情報が表示されます。

「ステータス情報」について詳しくは『ステータス情報』（P.38）をご参照ください。

レコーダーを切り換える

クイックメニューでレコーダーを切り換えます



1. クイックメニューの [レコーダー切換] を選択し、[決定] ボタンを押します。

   ➡ レコーダーの選択プルダウンメニューが表示されます。

2. 切り換えるレコーダーを選択し、[決定] ボタンを押します。

   ➡ レコーダーが切り換わります。

放送波を切り換える

「StationTV」では地上デジタル放送、BS 放送、CS 放送の 3 つのテレビ放送を視聴することができます。

[放送切換 ○] ボタンで視聴する放送波を切り換えます

[放送切換 ○] を押します。

➡ 押すたびに、地上デジタル放送、BS デジタル放送、CS デジタル放送の順に切り換わります。

チャンネルを切り換える

視聴するチャンネルを切り換えます。「StationTV」にはチャンネル切換方法が複数あります。

リモコンで切り換える

◆ ワンタッチ選局で選局する

[1 ~ 12] ボタンで放送局に割り当てられている番号を入力します

切り換えたい放送局に割り当てられている、チャンネル番号を [1 ~ 12] ボタンで押します。

➡ チャンネルが切り換わります。

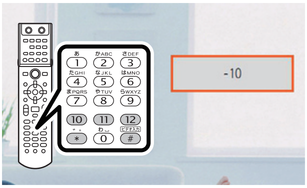
放送局のリモコンボタン割り当てについては『リモコンボタン割り当て（地上デジタル）』（P.143）、『リモコンボタン割り当て（BS）』（P.146）、『リモコンボタン割り当て（CS）』（P.147）をご参照ください。

◆ ダイレクト選局で選局する

チャンネル番号（番組表で放送局名の上などに表示される3桁の番号）を入力してチャンネルを切り換えます。チャンネル番号は、「ステータス情報」や「チャンネル」表示などでも確認できます。

詳しくは『ステータス情報』（P.38）、『チャンネル』の図2（P.39）をご参照ください。また、番組表の操作方法などについて詳しくは「番組表を見る」（P.63）をご参照ください。

[0 ~ 9] ボタンでチャンネル番号を 3 桁で入力して選局します



1. [チャンネル番号入力] ボタンを押します。
   ➡ チャンネル番号を入力できる状態になります。
2. 切り換えたいチャンネルのチャンネル番号を [0 ~ 9] ボタンから3桁で入力します。
3. [決定] ボタンを押します。
   ➡ 入力したチャンネルに切り換わります。

◆ 昇降順に切り換える

[▲▼] ボタンでチャンネルを切り換えます

[▲▼] ボタンを押します。

➡ 押すたびに昇降順でチャンネルが切り換わります。

次ページへ

キーボードで切り換える

キーボードから番号を入力して選局します

1. キーボードのテンキーで、見たい放送局に割り当てられているリモコンの番号、または放送局のチャンネル番号（3 桁）を入力します。

   ➡ ビューアに入力した数字が表示されます。

2. キーボードの [Enter] キーを押します。

   ➡ チャンネルが切り換わります。

音量を調節する

視聴する音量を調節します。

音量を up/down する

[＋／－] ボタンで調節します

[＋／－] ボタンを押します。

➡ 音量が変更されます。

消音する

[消音] ボタンで消音します

[消音] ボタンを押します。

➡ 音量が消音されます。もう一度押すと解除されます。

音声や映像を切り換える

複数の音声や映像が含まれている番組を見ているとき、これらを切り換えることができます。

[音声切換] ボタンで音声を切り換えます

[音声切換] ボタンを押します。

➡ 音声が切り換わります。

音声はクイックメニューからも切り替えることができます。クイックメニューについて詳しくは『クイックメニュー』(P.40)をご参照ください。

音声の切り換え

デュアルモノラル音声 (音声多重放送など) と複数音声があり、それぞれ下記のように切り換わります。

「音声 1 (主音声)」→「音声 1 (副音声)」→「音声 1 (主音声＋副音声)」→「音声 2 (主音声)」･･･「音声 8 (主音声＋副音声)」→「音声 1 (主音声)」・・・

※ デジタル放送の音声は最大 8 種類です。番組によって数は異なります。

キーボードの [V] キーで映像を切り換えます

キーボードの [V] キーを押します。

➡ 映像が切り換わります。

映像の切り換えについて

デジタル放送には、スポーツ番組のアングル別映像など、複数の映像を含んで放送する番組があります。これらの番組の視聴中や再生中にキーボードの [v] キーを押すと下記のように映像を切り換えることができます。

「映像 1」→「映像 2」→「映像 3」・・・「映像 8」→「映像 1」・・・

※ デジタル放送の映像は最大 8 種類です。番組によって数は異なります。

字幕を表示する

字幕放送や文字スーパーに対応した番組を見ているとき、ビューア上に字幕や文字スーパーを表示できます。

[字幕] ボタンで字幕を表示します

[字幕] ボタンを押します。

➡ 字幕が表示されます。
もう一度押すと非表示になります。

クイックメニューからも変更できます。クイックメニューについて詳しくは『クイックメニュー』（P.40）をご参照ください。

番組の詳細情報を表示する

現在、視聴中または再生中の番組の詳細情報を表示します。

[番組情報] ボタンで番組の詳細情報を表示します

[番組情報] ボタンを押します。

➡ [番組詳細] 画面が表示されます。

[番組詳細] 画面について詳しくは『[番組詳細] の画面説明』（P.66）をご参照ください。

ビューアの表示モードを切り換える

ビューアの表示モードを「ノーマル」、「ワイド」、「ズーム」の３種類に変更できます。

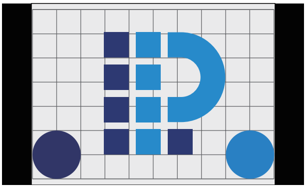
ビューアのサイズを縮小表示する「コンパクトモード」はクイックメニューから切り換えます。
詳しくは「ビューアを縮小表示する（コンパクトモード）」（P.61）をご参照ください。

[ワイド切換] ボタンで表示を切り換えます

[ワイド切換] ボタンを押します。

➡ 押すたびに「ノーマル」／「ワイド」／「ズーム」の順で表示モードが切り換わります。

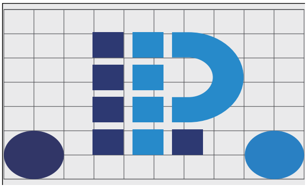
◆ ノーマル



通常の表示モードです。
視聴している番組の設定の通りに画面表示します。

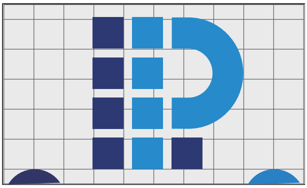
※ 番組によって画像の比率は異なります。

◆ ワイド



番組本来の画面比率を変更して、ディスプレイいっぱいに画面を広げる表示モードです。
全体的に横長の画面になります。

◆ ズーム



放送されている番組を、番組本来の画面比率を変更せずに、ディスプレイいっぱいに拡大表示する表示モードです。
画面の比率を変更せずに拡大表示するので、比率が４：３の番組は画面の上下が、16：９の番組は画面の左右がはみ出した状態で表示されます。

ズームについて

ズーム表示は基本的に4：3で表示されている番組に適用できますが、放送局側の送信方法によって効果が異なる場合があります。

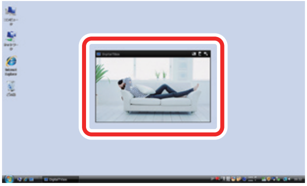
ビューアを縮小表示する（コンパクトモード）

ビューアを縮小表示（コンパクトモード）し、パソコンを操作しながらテレビを視聴できるようにします。

ビューアをコンパクトモードに切り換える

ビューアをコンパクトモードに切り換えます。切り換えたビューアはマウスで自由に動かすことができます。

クイックメニューからコンパクトモードに切り換えます



1. リモコンの [サブメニュー ⓘ] ボタンを押す。

➡ クイックメニューが表示されます。

2. クイックメニューの [コンパクトモードへ] を選択し、[決定] ボタンを押します。

➡ ビューアがコンパクトモードに切り換わります。

※ コンパクトモード表示時、上記手順 2 で [フルスクリーンモードへ] を選択することによって、フルスクリーンモードに戻ります。

ポイント

コンパクトモードのとき、ウィンドウの隅をドラッグすることで自由に画面サイズをかえることができます。
コンパクトモードに切り換えると、コントロールパネルの形状が変わりますが、基本的にフルスクリーンモードと同じ操作方法でお使いいただけます。また、表示モードによって表示される情報が異なる場合があります。

番組表で番組を探す

「StationTV」では電子番組表（Electronic Program Guide）を使って番組を検索したり、録画予約することができます。

番組表について詳しくは『番組表を見る』（P.63）をご参照ください。

データ放送を見る

デジタル放送（地上／ BS ／ CS）では番組、またはご利用地域情報のデータ放送を見ることができます。

データ放送について詳しくは『データ放送を見る』（P.83）をご参照ください。

番組表を見る

番組表とは

番組表とは、番組データをもとに作成された、電子番組表(Electronic Program Guide)のことです。
番組表を使って番組を検索したり、録画を予約することができます。

番組表を表示する

[番組表] ボタンで番組表を表示します

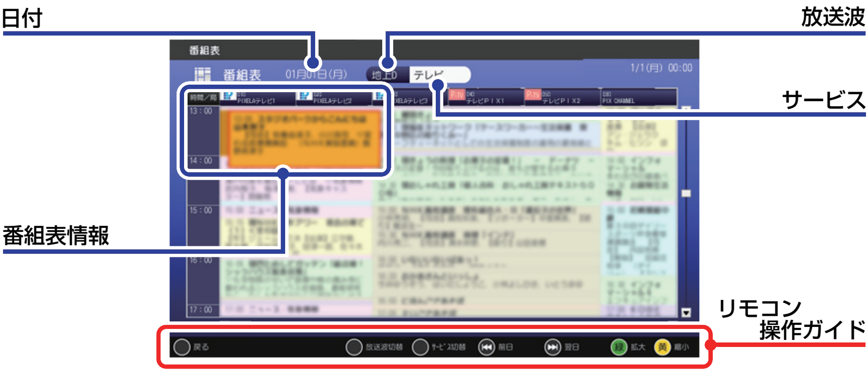
[番組表] ボタンを押します。

➡ 現在視聴中の放送波の番組表が表示されます。
もう一度押すと、ビューアに戻ります。

[番組表] の画面説明

番組表の項目

番組表 (EPG 番組表) は次のように表示されます。



番組表の項目	
日付	番組表の日付です。選択すると、日付を変更することができます。(最大 8 日分) また、[スキップ ⏮ ⏭] ボタンや [⇠ ⇢] ボタンでも日付を変更することができます。
放送波	番組表の放送波です。
サービス	番組表のサービス種別です。 ◆ 選択項目 [テレビ］／ [ラジオ] ／ [データ] ※利用できるサービスは放送波、放送局によって異なります。
番組表情報	番組の開始時間、タイトル、番組内容が表示されます。 詳しくは『番組表の詳細』(P.65) をご参照ください。

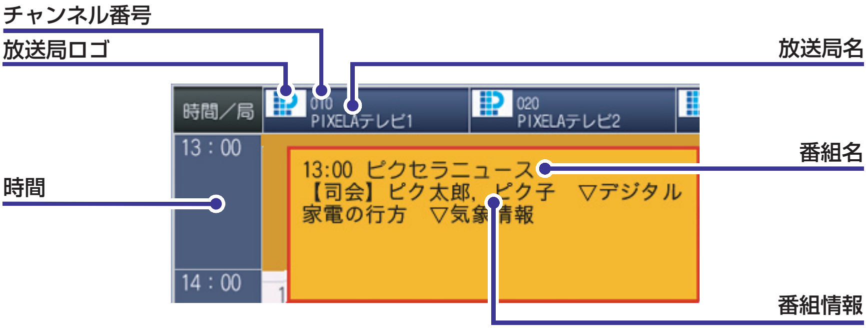
リモコン操作ガイド	
戻る	クリック、または [戻る ○] ボタンを押すと、[トップメニュー] 画面に戻ります。
放送波切換	クリック、または [放送切換 ○] ボタンを押すと、表示する番組表の放送波が切り換わります。 押すたびに、地上デジタル放送、BS デジタル放送、CS デジタル放送の順で切り換わります。
サービス切換	クリックすると、表示する番組表のサービスが切り換わります。 押すたびに、テレビ、ラジオ、データの順で切り換わります。
前日	クリック、または [スキップ ⏮] ボタンを押すと、前日の番組表に切り換わります。
翌日	クリック、または [スキップ ⏭] ボタンを押すと、翌日の番組表に切り換わります。
緑（拡大）	クリック、または [緑] ボタンを押すと、番組表が拡大表示されます。 押すたびに表示が拡大されます。(全３段階)

次ページへ

リモコン操作ガイド	
黄（縮小）	クリック、または [黄] ボタンを押すと、拡大表示した番組表を元に戻すことができます。 押すたびに表示が縮小されます。(全３段階) ※デフォルトのサイズが最小の表示サイズです。

番組表の詳細

番組表情報は次のように表示されます。



番組表の詳細の項目	
放送局ロゴ	放送局のロゴマークです。
チャンネル番号	放送局のチャンネル番号です。
放送局名	放送局名です。
時間	番組表の時間帯表示です。
番組名	番組のタイトルです。
番組情報	番組の詳細情報です。 番組が選択されている状態で、[決定] ボタンを押すと [番組詳細] 画面でさらに詳しい情報を見ることができます。 [番組詳細] 画面について詳しくは『[番組詳細] の画面説明』（P.66）をご参照ください。

[番組詳細] の画面説明

[番組詳細] 画面は次のように表示されます。

[番組詳細] の項目	
タイトル	この番組のタイトルです。
番組記述	出演者情報や番組内容など、この番組の詳細です。
CH	この番組を放送している放送局のチャンネル番号です。
放送局	この番組を放送している放送局名です。
放送波	この番組を放送している放送波です。
開始日時	この番組の開始日時です。
終了日時	この番組の終了日時です。
大ジャンル／小ジャンル	この番組のジャンルです。
録画制限	この番組が録画できるかどうかを表示します。 デジタル放送の録画制限について詳しくは『コピー制限について』（P.131）をご参照ください。
音声	この番組で選択できる音声です。
映像	この番組で選択できる映像です。
字幕	この番組で選択できる字幕です。
有料／無料	この番組が有料かどうかを表示します。

操作メニューの項目	
戻る	[番組表] 画面に戻ります。
視聴	この番組を視聴します。 ※現在、放送中の番組でのみ選択可能です。
録画	この番組を録画します。 ※現在、放送中の番組でのみ選択可能です。
番組表予約	[番組表予約] 画面が表示され、この番組の録画予約を設定することができます。 番組表からの録画予約について詳しくは『番組を指定して録画を予約する（番組表予約）』（P.103）をご参照ください。

番組を検索する

番組表を使って、見たい番組を簡単に探すことができます。

番組表を見ながら探す

番組表で見たい番組を探して視聴、または録画予約をします。

1. リモコンで番組表を表示します

[番組表] ボタンを押します。

➡ 番組表が表示されます。

2. リモコンで見たい番組、または録画予約をしたい番組を選択します

1. 見たい番組、または録画予約をしたい番組を選択し、[決定] ボタンを押します。

   ➡「番組詳細」画面が表示されます。

2. [視聴]、[録画]、[番組表予約] を選択し、[決定] ボタンを押します。

   ➡ 各動作が実行、または画面表示されます。

ご注意

[視聴]、[録画] は現在放送中の番組でしか選択できません。

録画予約の設定について詳しくは『番組を指定して録画を予約する（番組表予約）』(P.103) をご参照ください。

ジャンルを選択して番組を検索する

８日分の番組表の中から、ジャンルを設定して番組を検索することができます。

ジャンル検索の手順

番組表からジャンル検索をかける手順は以下のとおりです。

1. [ジャンル検索] 画面を表示します

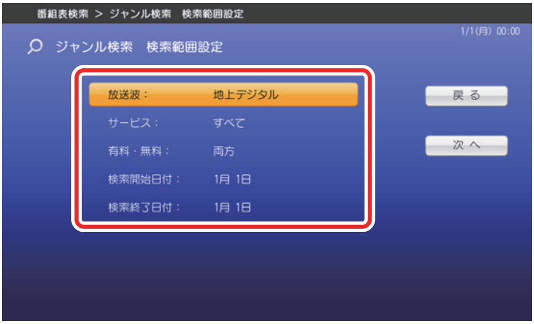
1. [テレビメニュー] ボタンを押します。

➡ [トップメニュー] 画面が表示されます。

2. 次の順番でメニュー項目を選択していきます。
[番組検索] ▶ [番組表検索] ▶ [ジャンル検索]

➡ [ジャンル検索] 画面が表示されます。

2. ジャンル検索をかける範囲を設定します



[ジャンル検索 検索範囲設定] の項目	
放送波	検索をかける放送波を設定します。 ◆ 選択項目 [すべて] ／ [地上デジタル] ／ [BS] ／ [CS]
サービス	検索をかけるサービスを設定します。 ◆ 選択項目 [すべて] ／ [テレビ] ／ [ラジオ] ／ [データ]
有料・無料	検索をかける範囲の番組が有料かどうかを設定します。 ◆ 選択項目 [両方] ／ [無料] ／ [有料]
検索開始日付	検索をかける範囲の開始日付を設定します。
検索終了日付	検索をかける範囲の終了日付を設定します。

次ページへ

1. [放送波] を選択し、[決定] ボタンを押します。

表示された選択プルダウンメニューから [すべて] ／ [地上デジタル] ／ [BS] ／ [CS] を選択します。

➡ [放送波] が確定します。

2. 上記、手順 1 の要領で [サービス]、[有料･無料]、[検索開始日付]、[検索終了日付] を設定します。

3. [次へ] を選択し、[決定] ボタンを押します。

➡ [ジャンル検索 大ジャンル] 画面が表示されます。

3. 検索するジャンルを設定します

1. 検索する大ジャンルを選択し、[決定] ボタンを押します。

➡ 大ジャンルが確定し、[小ジャンル] 画面が表示されます。

2. 検索する小ジャンルを選択し、[決定] ボタンを押します。

➡ 小ジャンルが確定し、[ジャンル検索結果] 画面が表示されます。

※ [小ジャンル] 画面はデジタル放送で検索をかけた場合にのみ表示されます。

以上で、ジャンルを選択して番組を検索する手順は終了です。

次ページへ

[ジャンル検索結果] の画面説明

[ジャンル検索結果] 画面は次のように表示されます。

[ジャンル検索結果] の項目	
検索結果	検索された番組の詳細です。詳しくは下記の「検索結果の詳細」をご参照ください。

操作メニューの項目	
表示順	検索結果のリストを選択した項目で並べ替えます。 ◆ 選択項目 [日時] ／ [タイトル] ／ [放送波（チャンネル）] ／ [放送波（日時）]
戻る	一つ前の画面に戻ります。

検索結果の詳細

[検索結果の詳細] の項目	
番組名	この番組のタイトルです。
番組放送日時	この番組の放送日時です。
放送波	この番組を放送する放送波です。
チャンネル番号	この番組を放送する放送局のチャンネル番号です。

フリーワードを設定して番組を検索する

８日分の番組表の中から、任意のフリーワードを設定して番組を検索することができます。

フリーワード検索の手順

番組表からフリーワード検索をかける手順は以下のとおりです。

1. [フリーワード検索] 画面を表示します

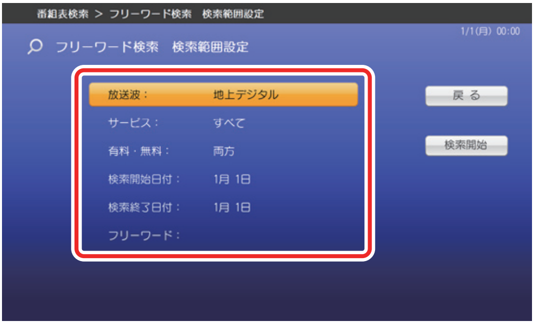
1. [テレビメニュー] ボタンを押します。

➡ [トップメニュー] 画面が表示されます。

2. 次の順番でメニュー項目を選択していきます。
[番組検索] ▶ [番組表検索] ▶ [フリーワード検索]

➡ [ジャンル検索] 画面が表示されます。

2. フリーワード検索をかける範囲を設定します



[フリーワード検索 検索範囲設定] の項目	
放送波	検索をかける放送波を設定します。 ◆ 選択項目 [すべて] ／ [地上デジタル] ／ [BS] ／ [CS]]
サービス	検索をかけるサービスを設定します。 ◆ 選択項目 [すべて] ／ [テレビ] ／ [ラジオ] ／ [データ]
有料・無料	検索をかける範囲の番組が有料かどうかを設定します。 ◆ 選択項目 [両方] ／ [無料] ／ [有料]
検索開始日付	検索をかける範囲の開始日付を設定します。
検索終了日付	検索をかける範囲の終了日付を設定します。
フリーワード	検索するフリーワードを設定します。

次ページへ

1. [放送波] を選択し、[決定] ボタンを押します。

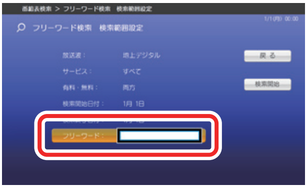
表示された選択プルダウンメニューから [すべて] ／ [地上デジタル] ／ [BS] ／ [CS] を選択します。

➡ [放送波] が確定します。

2. 上記、手順 1 の要領で [サービス]、[有料・無料]、[検索開始日付]、[検索終了日付] を設定します。

➡ [検索終了日付] までが確定します。

3. フリーワードを設定します



1. [フリーワード] を選択し、[決定] ボタンを押します。

➡ フリーワード入力欄が表示されます。

2. キーボードでフリーワードを入力し、キーボードの [Enter] キーを押します。

➡ フリーワードが確定します。

3. [検索開始] を選択し、[決定] ボタンを押します。

➡ フリーワード検索が開始され、[フリーワード検索結果] 画面が表示されます。

以上で、フリーワードを設定して番組を検索する手順は終了です。

次ページへ

[フリーワード検索結果] の画面説明

[フリーワード検索結果] 画面は次のように表示されます。

操作メニュー

操作メニュー

この画面の項目

[フリーワード検索結果] の項目	
検索結果	検索された番組の詳細です。詳しくは下記の「検索結果の詳細」をご参照ください。

操作メニューの項目	
表示順	検索結果のリストを選択した項目で並べ替えます。 ◆ 選択項目 [日時] ／ [タイトル] ／ [放送波（チャンネル）] ／ [放送波（日時）]
戻る	一つ前の画面に戻ります。

検索結果の詳細

番組名

番組放送日時

放送波

チャンネル番号

[検索結果の詳細] の項目	
番組名	この番組のタイトルです。
番組放送日時	この番組の放送日時です。
放送波	この番組を放送する放送波です。
チャンネル番号	この番組を放送する放送局のチャンネル番号です。

番組お知らせ機能

「StationTV」では視聴履歴を記録し、いつも見ている番組（お気に入り番組）をお知らせする「番組お知らせ機能」を利用できます。

番組お知らせ機能の登録条件

視聴時間が 4 分以上の視聴、または番組放送時間の 50%以上の視聴を、同じ番組で 3 回繰り返すと「番組お知らせ機能」に自動的に登録されます。

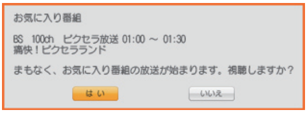
「番組お知らせ機能」の履歴を消去したり、設定を変更することができます。詳しくは『[その他] の設定』（P.150）をご参照ください。

「番組お知らせ機能」とは

起動時にいつも見ている番組に自動でチャンネルを切り換えたり、別の番組を見ている際に、いつも見ている番組の放送開始を知らせるメッセージを表示します。

お知らせの種類

◆ メッセージ 1



テレビ視聴時に、「番組お知らせ機能」に登録された番組の開始 1 分前になると、左のようなメッセージが表示されます。

メッセージ 1 の選択項目	
はい	「番組お知らせ機能」でお知らせした番組のチャンネルに切り換わります。
いいえ	メッセージが閉じます。

◆ メッセージ 2

「StationTV」の起動時に、「番組お知らせ機能」に登録された番組がすでに始まっていた場合、チャンネルをその番組に合わせた状態で起動されます。その際、左のようなメッセージが表示されます。

タイムシフト

番組の見逃してしまったシーンをさかのぼって視聴、録画することができます。

タイムシフトとは

タイムシフトは、番組を一時的に録画しておくことで、見ている番組をさかのぼって再生する機能です。
タイムシフトはワンタッチで開始できますので、急な来客で一時的に視聴を中断したいときなどに番組を一時停止させておき、後から視聴を再開することもできます。

「ライブ」状態と「タイムシフト」状態を切り換える

「ライブ」状態は、現在放送中の番組を視聴できる通常の状態を指します。
「タイムシフト」状態は、視聴中の番組を一時的に録画しておくことで、時間をさかのぼって視聴することができる状態です。

視聴中に任意で切り換えます

[一時停止] ボタンを押します。

➡ テレビ視聴画面に、メッセージが表示され、タイムシフト用の一時録画が開始されます。

※ そのままタイムシフト再生するには [再生] ボタンを押します。

※「ライブ状態」に戻すには [停止] ボタンを押します。

「タイムシフト」切り換え時のご注意

タイムシフト中にチャンネル、放送波、またはレコーダーを切り換えると、一時録画ファイルが破棄され、さかのぼって視聴することができなくなります。

「タイムシフト」切り換え時に表示されるダイアログメッセージを非表示にすることができます。設定方法について詳しくは「[共通設定] の設定」(P.158) をご参照ください。

次ページへ

「StationTV」を「タイムシフト」状態で起動します

1. [テレビメニュー] ボタンを押します。

➡ [トップメニュー] 画面が表示されます。

2. 次の順番でメニューを選択します。
[設定] ▶ [録画／タイムシフト設定] ▶
[共通設定]

➡ [共通設定] 画面が表示されます。

3. [起動設定] を選択し、[決定] ボタンを押します。

➡ [起動設定] の選択プルダウンメニューが表示されます。

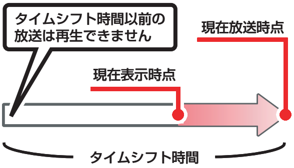
4. [タイムシフト] を選択し、[決定] ボタンを押します。

➡ [起動設定] が確定し、次回起動時に「StationTV」が「タイムシフト状態」で起動します。

さかのぼれる範囲

タイムシフトを利用するには、次の条件があります。

◆ [タイムシフト時間] で設定している時間以上はさかのぼれません

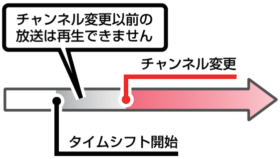


「タイムシフト」状態に移行した時点から、現在放送中の番組の一時録画を開始し、[タイムシフト時間] で設定している時間分を常に保持します。タイムシフト状態移行前、または設定したタイムシフト時間以上、前の放送にさかのぼることはできません。

タイムシフト時間について

タイムシフト時間は初期設定では 90 分に設定されています。タイムシフト時間の設定の変更について詳しくは『[共通設定] の設定』（P.158）をご参照ください。

◆ チャンネルを切り換える以前にはさかのぼれません



「タイムシフト」状態のとき、チャンネルを変更すると、それまで一時録画していた番組データは破棄され、新しく切り換えたチャンネルの一時録画を開始しますので、チャンネル変更以前の時点にはさかのぼることはできません。

◆ 双方向サービスは利用できません

「タイムシフト」状態のとき、双方向サービスを利用した機能は利用できません。

次ページへ

タイムシフトに必要な空き容量

タイムシフトは一時的に録画を行ってファイルとして保存しますので、「タイムシフト」状態のとき、保存先に通常の録画と同じ空き容量が必要です。

タイムシフト時間	必要な空き容量（最大）デジタル放送の場合
5 分	約 900MB
15 分	約 2.7GB
30 分	約 5.4GB
60 分	約 10.8GB
90 分	約 16.2GB

※ デジタルハイビジョン画質（HD 画質）の番組の目安です。番組の内容によってはこの表以上の空き容量が必要となる場合があります。

「タイムシフト」状態での基本操作

「タイムシフト」状態では、現在放送している番組を一時停止したり、巻戻しすることができます。

現在放送中（視聴中）の番組を一時停止する

現在放送中（視聴中の）番組を一時停止する操作は以下のとおりです。

1. 番組を一時停止します

番組の視聴中に [一時停止] ボタンを押します。

➡ 現在放送中（視聴中）の番組が一時停止され、タイムシフトが開始されます。

2. 番組を再開します

[再生] ボタンを押します。

➡ 番組が再開されます。

起動時にタイムシフトを開始する設定

いつでも現在視聴中の番組をタイムシフトできるように「StationTV」の起動時に「タイムシフト」状態で起動することができます。

詳しくは『[共通設定] の設定』（P.158）をご参照ください。

タイムシフトに関するご注意

タイムシフトには以下の制限があります。

- タイムシフト視聴（録画）中はレコーダー切換できません。
- 録画中はタイムシフト視聴（録画）できません。
- タイムシフト視聴（録画）中に予約録画が始まる場合、録画開始 1 分前にダイアログメッセージが表示され、タイムシフト視聴（録画）を停止します。
- タイムシフト視聴（録画）中に録画番組再生はできません。
- タイムシフト視聴（録画）中は、データコピーや移動など、パソコンに負担がかかる作業をしないでください。

次ページへ

現在放送中（視聴中）の番組を巻戻しする

番組の大事なシーンを見逃してしまったときなどに、現在放送中（視聴中の）番組を巻戻しすることができます。

1. 番組を早戻す

番組の視聴中に [巻戻し] ボタンを押します。

➡ 現在放送中（視聴中）の番組が巻戻しされます。

2. 番組を再開します

[再生] ボタンを押します。

➡ 番組が再開されます。

「タイムシフト」状態での操作

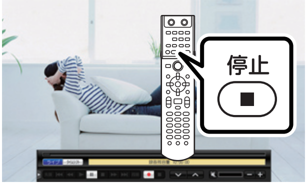
「タイムシフト状態」では、現在放送中の番組を録画番組の再生時のように操作することができます。また、タイムシフト用に録画した一時録画ファイルを通常の録画番組ファイルとして保存し、録画を続けることもできます。（タイムシフト録画）

詳しくは『「タイムシフト」状態での操作一覧』（P.82）をご参照ください。

「タイムシフト」状態を解除する（現在放送中の時点に戻る）

一度タイムシフトを実行すると、「ライブ」の状態に戻らない限り、タイムシフトの一時録画は続行されます。

リモコンで解除します



[停止 ■] ボタンを押します。

➡「タイムシフト」状態が解除され、「ライブ」状態になります。

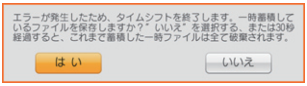
タイムシフトの注意事項

「タイムシフト」状態が強制的に解除される場合

- 空き容量が不足した場合
  タイムシフト用の一時録画ファイルの保存先空き容量が 5GB 未満になった場合、「タイムシフト」状態は解除されます。
- 視聴制限がある場合
  年齢制限や有料放送など、視聴制限がある番組が開始されると「タイムシフト」状態は解除されます。

「タイムシフト」状態が強制解除されると・・・

「タイムシフト」状態が強制的に解除されると、下記のメッセージが表示されます。



- [はい] を選択した場合
  これまで録画したタイムシフト用の一時録画ファイルを、通常の録画番組ファイルとして保存し、「ライブ」状態に戻ります。
  保存された録画番組ファイルは [録画番組] 画面から再生することができます。
- [いいえ] を選択した場合
  これまで録画したタイムシフト用の一時録画ファイルを削除して、「ライブ」状態に戻ります。

タイムシフト用に録画した一時録画ファイルを、通常の録画番組として保存する場合

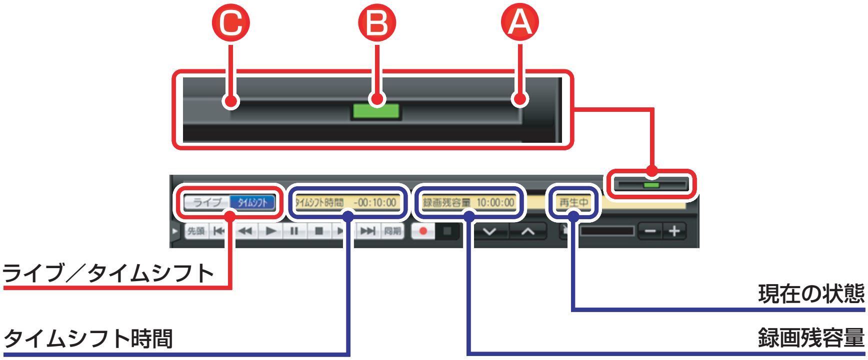
タイムシフト中に [録画 ●] ボタンを押すと、タイムシフト用に録画した一時録画ファイルを、通常の録画番組ファイルに変換して保存し、そのまま録画をつづけます。

タイムシフト録画について詳しくは『タイムシフト録画をする』(P.94)をご参照ください。

次ページへ

「タイムシフト」状態時のコントロールパネル

「タイムシフト」状態時のコントロールパネルは次のように表示されます。



「タイムシフト」状態時のコントロールパネルの項目	
タイムシフト時間	現在ビューアで視聴している時点（B 時点）が、現在放送中の時点（A 時点）と、どれくらい時間差があるかを表示します。
録画残容量	「タイムシフト」状態を続けることができる、残り時間を表示します。
現在の状態	「再生中」や「一時停止中」など、タイムシフト中での現在の状態を表示します。

操作メニューの項目	
ライブ／タイムシフト 切換ボタン	クリックすると視聴状態（ライブ状態／タイムシフト状態）が切り換わります。
A 時点	現在、実際に放送されている時点を表します。
シークバー（B 時点）	現在、[ビューア] 画面で表示している時点を表します。 マウスで A 時点から C 時点の間を移動させることができます。
C 時点	タイムシフトを開始した時点を表します。

「タイムシフト」状態での操作一覧

「タイムシフト」状態での操作は次のとおりです。

タイムシフト中の操作	
巻戻し	再生中のタイムシフト映像を巻戻しします。巻戻しの速度は押すたびに次のとおり切り換わります。 ◆ 【巻戻し速度】 2 倍⇒ 4 倍⇒ 20 倍⇒ 100 倍⇒ 2 倍…
早送り	再生中のタイムシフト映像を早送りします。早送りの速度は押すたびに次のとおり切り換わります。 ◆ 【早送り速度】 2 倍⇒ 4 倍⇒ 20 倍⇒ 100 倍⇒ 2 倍…
スキップ	タイムシフト映像を一定の時間、前へスキップします。初期設定では 30 秒です。 スキップする時間は [設定] で設定できます。詳しくは『[再生設定] の設定』(P.160)をご参照ください。
スキップ	タイムシフト映像を一定の時間、次へスキップします。初期設定では 30 秒です。 スキップする時間は [設定] で設定できます。詳しくは『[再生設定] の設定』(P.160)をご参照ください。
再生	巻戻し中／早送り中／一時停止中に押すと、タイムシフト再生を再開します。
一時停止	タイムシフト再生中に押すと、タイムシフト再生を一時停止します。
録画	タイムシフト用に録画した一時録画ファイルを、通常の録画番組ファイルに変換して録画をつづけます。 タイムシフト録画について詳しくは『タイムシフト録画をする』(P.94)をご参照ください。
停止	タイムシフト再生を終了して、「ライブ状態」に切り換わります。
連動データ d	データ放送を表示します。
先頭	コントロールパネルの [先頭] アイコンをクリックすると、タイムシフト開始時点の映像にスキップして先頭から再生します。 ※この操作にあたるリモコンボタンはありません。
同期	コントロールパネルの [同期] アイコンをクリックすると、現在放送中の時点と同期して再生します。 ※この操作にあたるリモコンボタンはありません。

データ放送を見る

デジタル放送（地上／ BS ／ CS）では、地域の天気予報やニュースなどをデータ放送として提供しています。データ放送では、クイズに参加したり、ショッピング番組で商品を購入するなどの双方向サービスを利用することもできます。

データ放送とは

データ放送とは、番組の映像や音声と一緒に配信される様々な情報のことで、独立型データ放送と連動型データ放送があります。

独立型データ放送

ニュースや天気予報など、放送中の番組とは関係なく、情報が掲載されています。

連動型データ放送

番組の進行に連動した内容が表示され、クイズ番組への参加や、ショッピング番組で商品の購入などの双方向サービスが利用できます。

データ放送を見る

◆ データ放送を利用する前に

データ放送で、ご利用地域にあわせた情報を見るために、[データ放送設定] でご利用地域などの設定を行う必要があります。

[データ放送設定] について詳しくは『データ放送設定』（P.161）をご参照ください。

データ放送の開始と終了

データ放送の開始

データ放送を開始します

[連動データ d] ボタンを押します。

➡ 視聴中の番組のデータ放送が表示されます。

※ 番組によっては、はじめからデータ放送が表示される場合があります。

ご注意

データ放送は、放送波からデータを収集し終わるまではデータ画面を表示できません。その間、「データ収集中」というメッセージが画面左下に表示されます。このメッセージはデータを収集し終わると自動的に消えます。
その他、メッセージについては『メッセージ』(P.42) をご参照ください。

正常に動作しなくなったら・・・

データ放送中に正常に動作しなくなった場合は、再度選局し直してください。

データ放送の終了

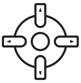
データ放送を終了します

データ放送の視聴中に、もう一度 [連動データ d] ボタンを押します。

➡ データ放送が終了し、視聴中の番組の映像が表示されます。

データ放送の操作一覧

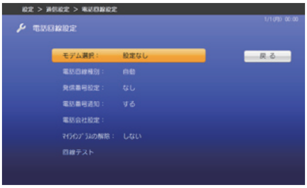
データ放送を視聴中に実行できる操作は次のとおりです。

データ放送視聴中の操作	
	画面上のフォーカスを移動します。
決定	フォーカスの項目を選択します。
戻る	1 つ前の項目、またはページに戻ります。
青	「青」メニューを選択します。
赤	「赤」メニューを選択します。
緑	「緑」メニューを選択します。
黄	「黄」メニューを選択します。

双方向サービスを利用するためには

データ放送では、クイズに参加したり、プレゼントに応募するなど、視聴者からデータを送信できるコンテンツ (双方向サービス) があります。双方向サービスでは電話回線やインターネットを使用してデータの送信を行います。
双方向サービスを利用するために、次の通信設定を行ってください。

電話回線の設定



双方向サービスなどに使用する電話回線を [ダイヤルアップ設定] 画面で設定します。

※ 初回設定の [電話回線設定] を完了されている場合は、設定する必要はありません。

設定方法について詳しくは『[電話回線設定] の設定』(P.162) をご参照ください。

双方向サービスの接続設定

通信が必要なコンテンツを利用するときの接続方法と、自動的に接続するかどうかを [データ放送設定] 画面で設定します。

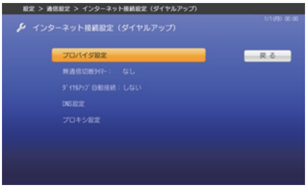
設定方法について詳しくは『データ放送設定』(P.161) をご参照ください。

次ページへ

インターネットの設定

双方向サービスで通信に使用するインターネット接続を設定します。

◆ ダイヤルアップで接続する場合



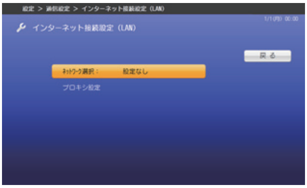
ダイヤルアップでインターネットに接続される場合は、[インターネット接続設定（ダイヤルアップ）] 画面で設定します。

ご注意

[インターネット接続設定（ダイヤルアップ）] 画面の設定項目 [ダイヤルアップ自動接続] を「する」に設定したまま、定期的にインターネット自動接続を行う番組を長時間視聴状態にしておくと、電話料金が高額になる可能性があります。

設定方法について詳しくは『[インターネット接続設定（ダイヤルアップ)］の設定』（P.164) をご参照ください。

◆ LAN を使用して接続する場合



LAN を使用してインターネットに接続される場合は、[インターネット接続設定（LAN）] 画面で設定します。

設定方法について詳しくは『[インターネット接続設定（LAN)］の設定』(P.166) をご参照ください。

MEMO

CHAPTER-5
録画

見ている番組を録画する

「StationTV」はデジタル特有の高画質・高音質な番組を劣化させることなく録画することができます。同時に番組の情報やデータ放送も記録できます。

録画に含まれる内容

「StationTV」は番組データだけでなく、以下のような情報も録画に含むことができます。

録画に含まれる内容	
映像	複数の映像チャンネルがあり、すべての映像チャンネルが録画されます。
音声	複数の音声チャンネルがあり、すべての音声チャンネルが録音されます。
データ放送	データ放送が含まれている番組の場合、データ放送も記録されます。 ※録画番組の再生時には、双方向サービスはご利用いただけません。
番組情報	放送局から任意で送信される番組情報が記録されます。 ※番組によっては番組情報がない場合もあります。

録画の基本操作

録画を開始すると、見ている番組を録画番組として保存することができます。

録画する

見ている番組をリモコンで録画します。

見ている番組を録画します

1. 録画したい番組のチャンネルに切り換えます。

➡ チャンネルが切り換わります。

チャンネルの切り換えについて詳しくは『チャンネルを切り換える』(P.56)をご参照ください。

2. [録画 ◉] ボタンを押します。

➡ 録画が開始され、コントロールパネルに [録画時間]（現在の録画総時間）と [録画残容量]（現在の録画設定での、録画可能残時間）が表示されます。

録画に関する注意事項

- 録画中は、他のソフトウェア（スクリーンセーバーなどの常駐プログラムを含む）を起動する等、パソコンの CPU やハードディスクに負荷がかかる操作を行わないでください。録画に失敗する原因となります。
- 一回の録画でも、番組をまたぐと録画番組ファイルは番組と同じ数だけ分割されて保存されます。
- 録画開始時と録画終了時には、操作をしてから録画が始まるまで、または録画が終了するまでに、それぞれ数秒の時間がかかります。
- 録画開始から 24 時間経過すると、録画は強制終了します。

次ページへ

録画が強制的に停止する場合

次のとき録画は強制的に停止されます。

- 録画番組の保存先に設定している、ハードディスクの空き容量が5GB 未満になった場合。
- その他、エラーが発生した場合。

録画した番組のコピー制限について

デジタル放送では、著作権保護のため番組にコピー制限がかかっています。録画をすると、その番組の直前・直後の番組情報が含まれることがあり、一つの録画ファイルにコピー制限が異なる複数の番組が含まれる場合があります。録画ファイルには、含まれるコピー制限のうち一番厳しい制限が適用されます。

例：「ダビング 10」の番組を録画した録画ファイル内に、「コピーワンス」部分が含まれた場合、この録画ファイル全体は「コピーワンス」が適用されます。そのためディスク作成後には録画ファイル全体が消去されます。

「コピー制限」について詳しくは『コピー制限について』(P.131)、「ディスク作成」について詳しくは『ディスク作成について』(P.130)、『ディスク作成前の確認事項』(P.132)をご参照ください。

録画を停止する

録画をリモコンで停止します。

録画を停止します

録画中に [停止 ■] ボタンを押します。

➡ 録画が停止されます。

録画番組の保存先

録画番組を保存する場所を設定することができます。

録画番組をハードディスクに保存する

「設定」画面から録画番組の保存先ハードディスクを設定できます。

録画番組の保存場所の設定について詳しくは『HDD 設定』（P.159）をご参照ください。

録画に必要な空き容量

デジタル放送を録画するためには、パソコンのハードディスクに大きな空き容量が必要になります。録画中に十分な空き容量が確保できなくなった場合、録画は中断されますのでご注意ください。録画をする際、次の表を目安に行ってください。

番組種別	必要な空き容量
地上デジタル放送　HD	約 7.5GB
地上デジタル放送　SD	約 4.8GB
BS ／ CS デジタル放送　HD	約 10.5GB
BS ／ CS デジタル放送　SD	約 4.8GB

※ この表は 1 時間の番組を録画したときの目安です。

番組種別とは

デジタル放送の番組種別です。

- HD
  「High Definition」の略で、デジタルハイビジョンなどの高画質放送の番組を表します。
- SD
  「Standard　Definition」の略で、標準解像度で放送されている番組を表します。

ご注意

録画時間・画質にかかわらず、空き容量が 5GB 以上なければ録画はできません。

裏番組録画／ダブル録画

「StationTV」では２つのレコーダーを使うことで、視聴中の番組の裏で放送している番組を録画する「裏番組録画」、同時に２つの番組を録画する「ダブル録画」が可能です。

レコーダーについて詳しくは『レコーダーについて』（P.53）をご参照ください。

裏番組録画、ダブル録画を実行する

録画の実行中にレコーダーを切り換えることで録画を実行したまま、他の番組の視聴や録画番組の再生を行うことができます。

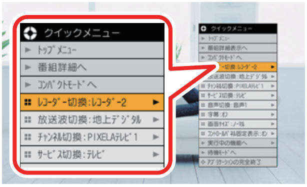
1. 録画を実行する

[録画] ボタンを押します。

➡ 録画が開始されます。

録画の操作方法については詳しくは『録画の基本操作』（P.90）をご参照ください。

2. レコーダーを切り換える



1. クイックメニューの [レコーダー切換] を選択して、[決定] ボタンを押します。

➡ レコーダーの選択プルダウンメニューが表示されます。

2. 切り換えるレコーダーを選択し、[決定] ボタンを押します。

➡ レコーダーが切り換わります。

ダブル録画

レコーダーを切り換えた後、切り換えたレコーダーでも録画を実行することができます。

ダブル録画に関するご注意

ダブル録画中は録画番組再生できません。

リリーフ録画

録画中に、録画番組の保存場所に設定したハードディスクの空き容量がなくなると、自動的に空き容量に余裕のあるハードディスク、または [優先度２] に設定したハードディスクに保存場所を切り換えて録画を続行します。

※ ハードディスクが一つしか接続されていない、または他のハードディスクに十分な空き容量がない場合は、録画は停止されます。

録画番組の保存場所の設定について詳しくは『HDD 設定』（P.159）をご参照ください。

ご注意

リリーフ録画では以下の事項にご注意ください。

- リリーフ録画が実行されると、保存される録画番組ファイルは一つの番組であっても、実行前、実行後の２つのファイルに分割されます。
- リリーフ録画が実行される際、番組の一部分が保存されない場合があります。

タイムシフト録画をする

「StationTV」では番組の見逃したシーンをさかのぼって録画することができます。

タイムシフト、タイムシフト視聴について詳しくは『タイムシフト』(P.75) をご参照ください。

タイムシフト録画の開始と終了

「タイムシフト状態」のとき、一時録画していた番組データを通常の録画番組ファイルに変換できます。

タイムシフトに関する注意事項

タイムシフトには以下の制限があります。

- タイムシフト録画は、事前に「タイムシフト状態」でなければ実行できません。「ライブ状態」のときは、「タイムシフト状態」に切り換える必要があります。
- タイムシフト録画開始(それまでタイムシフト用に一時録画していた時間も含む)から 24 時間経過すると、これらの動作は強制的に終了します。
- タイムシフト視聴(録画)中はレコーダー切換できません。
- 録画中はタイムシフト視聴(録画)できません。
- タイムシフト視聴(録画)中に予約録画が始まる場合、録画開始 1 分前にダイアログメッセージが表示され、タイムシフト視聴(録画)を停止します。
- タイムシフト視聴(録画)中に録画番組再生はできません。

「タイムシフト状態」への切り換えについては『「ライブ」状態と「タイムシフト」状態を切り換える』(P.75) をご参照ください。

タイムシフト録画を開始する

タイムシフト録画を開始します

「タイムシフト状態」での視聴中に [録画] ボタンを押します。

➡ タイムシフト録画が開始されます。

タイムシフト録画について

タイムシフト録画を開始すると、それまで一時録画していた番組データを通常の録画番組ファイルに変換し、現在放送中の時点に戻り、引き続き録画を継続します。

タイムシフト録画を停止する

録画を停止します

[停止] ボタンを押します。

➡ タイムシフト録画が停止され、タイムシフト視聴に戻ります。

録画番組ファイルについて

録画した番組は録画番組ファイルとして保存されます。録画番組ファイルの保存場所や内容は次のとおりです。

録画番組ファイルの保存について

録画番組ファイルは「設定」で指定した保存場所に保存されます。保存場所から録画番組ファイルを移動・削除したり、ファイル名を変更すると「StationTV」で再生できなくなります。

録画番組ファイルの保存場所とファイル名

録画番組ファイルの保存先と、設定されるファイル名は次のとおりです。

録画番組ファイルの保存場所とファイル名		
録画番組ファイルの保存場所	「設定」画面で録画番組ファイルの保存場所に設定したドライブの直下にある [DTVApp] フォルダ	
録画番組ファイルの名前	年 _ 月 _ 日 _ 時 _ 分 _ 秒 _ ミリ秒 _ レコーダー ID （例：2006_01_01_10_00_30_15_01）	※レコーダー ID の表示は 00：レコーダー 1 01：レコーダー 2

※ 録画番組ファイルは、映像や音声などが保存される「録画番組」ファイル（ファイルの拡張子なし ）と、データ放送の内容や番組情報などが保存される「録画情報」ファイル（ファイルの拡張子は ［.rid］）の 2 つで 1 セットとなります。また、保存される録画番組ファイルは、番組ごとに保存されます。例えば、1 回の録画操作で 2 番組にまたがって録画したとき、録画番組ファイルは 2 セット保存されます。

保存先の設定方法は『[共通設定] の設定』（P.158) をご参照ください。

録画番組ファイルを移動するときの注意

バックアップの目的で、録画番組ファイルを外付けドライブなど、他の記憶装置に移動する場合は、必ず「録画番組」ファイルと「録画情報」ファイルの両方を移動させてください。どちらか一方でも削除、移動、ファイル名の変更をすると「StationTV」で再生できません。

移動した録画番組ファイルを再生するには

移動した録画番組ファイルは [録画番組] 画面に表示されません。
「StationTV」で設定できる録画番組の保存場所 (フォルダ) に戻すことで、[録画番組] 画面に表示され、再生できるようになります。

ご注意

- BS の 900 チャンネルなどで番組録画中に、映像を含む画像から映像を含まない画面に切り換わった場合は録画番組ファイルが 2 つに分かれて作成されます。
- 録画番組ファイルはすべて暗号化されていますので、録画したパソコン以外では再生できません。

MEMO

CHAPTER-6
予約

予約の種類

タイマー予約と番組表予約

「StationTV」での録画予約には、「タイマー予約」と「番組表予約」があります。

タイマー予約

日時とチャンネルなどを指定して録画予約することができます。繰り返し同じ時間帯に録画することもできます。

タイマー予約について詳しくは『日時を指定して録画を予約する（タイマー予約）』（P.100）、繰り返し予約について詳しくは『タイマー予約の画面』（P.100）をご参照ください。

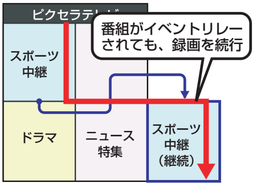
番組表予約

番組表から番組を選んで、録画予約することができます。「時間変更追従」や「イベントリレー」を設定することができます。

※ 録画対象がデジタル放送の番組であっても、「タイマー予約」では「時間変更追従」、「イベントリレー」は使用できません。

番組表予約について詳しくは『番組を指定して録画を予約する (番組表予約)』（P.103）をご参照ください。

イベントリレー



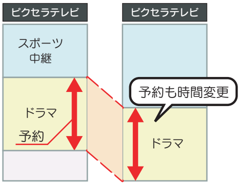
予約した番組の放送時間が延長されるとき、放送局が臨時サービスチャンネル、または別のチャンネルに切り換えて、番組の放送を継続することがあります。

このイベントリレーに対応して、録画や視聴を継続する機能です。

イベントリレーの設定方法について詳しくは『[地上デジタル／ BS ／ CS 設定] の設定』（P.157）をご参照ください。

次ページへ

時間変更追従



スポーツ中継の延長などで、予約した番組の開始時間や終了時間が変更されたときに、自動的に番組の録画時間を調整する機能です。
予約設定時の開始時間から 3 時間経過しても番組が開始しない場合は、番組が中止されたと判断し、録画予約は取り消されます。

時間変更追従の設定方法について詳しくは『[地上デジタル／ BS ／ CS 設定] の設定』（P.157）をご参照ください。

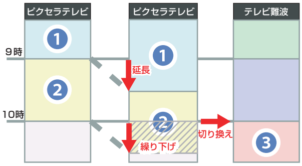
時間変更追従のご注意

以下の場合、時間変更追従は実行されません。

- 放送局が放送時刻情報を送信しない番組の場合。
- 予約した番組が予定より早く開始した場合。
（早まった時間帯分は録画されません。）

時間変更追従と予約録画が重なった場合

終了時間追従と、次の予約録画開始が重なった場合、予約録画の開始が優先されます。



①、②、③の順で録画予約したとき、①の放送時間延長により②の放送時間が繰り下がっても、③の放送開始時間になると、そちらが優先され録画されます。このとき、②の重なった部分（斜線部分）は録画されません。
また、左図のとき、①が 1 時間以上延長した場合、①の録画も中断し、③へ移行し録画します。

日時を指定して録画を予約する（タイマー予約）

指定した日時に「StationTV」が番組を録画します。ビューアを表示させずに録画することもできます。

タイマー予約の画面

[タイマー予約] 画面は次のように表示されます。

[タイマー予約] 画面の項目	
タイトル	この録画予約で録画する録画番組ファイルに名前を付けることができます。
放送波	タイマー予約する放送波を設定します。 ◆ 選択項目 [地上デジタル] ／ [BS] ／ [CS]
CH	タイマー予約するチャンネルを設定します。
日付	タイマー予約する日付を設定します。
開始時間	タイマー予約を開始する時間を設定します。
終了時間	タイマー予約を終了する時間を設定します。
レコーダー選択	タイマー予約をするレコーダーを設定します。 ※ 同時刻の番組を予約する時は、レコーダーを変えて設定します。
繰り返し予約	このタイマー予約を毎日、また毎週など、繰り返し実行することができます。 **繰り返し予約について** 繰り返し予約は 2 回目以降、最初に設定した録画予約の開始時刻 1 時間前から、終了時刻 1 時間後までの間に、先頭 3 文字が同じ番組タイトルのあるとき、録画が実行されます。 録画が開始されると、番組の放送時間が変更されていても、追従して番組のすべてを録画することができます。 この時間内に同じ番組タイトルがない場合は、最初に設定した録画予約と同じ時間を録画します。 また、繰り返し予約は、予約を削除しない限り上記の条件で録画予約を実行し続けます。 ◆ 選択項目 [なし] ／ [毎（日）] ／ [毎（月）] ／ [毎（火）] ／ [毎（水）] ／ [毎（木）] ／ [毎（金）] ／ [毎（土）] ／ [毎（月～金）] ／ [毎（月～土）] ／ [毎日]

次ページへ

[タイマー予約] 画面の操作メニュー	
戻る	[予約] 画面に戻ります。
確定	このタイマー予約を確定して、[予約] 画面に登録します。
削除	このタイマー予約を削除します。

タイマー予約についてのご注意

- 「StationTV」が「待機モード」であれば、パソコン本体がスリープ状態または休止状態でも、録画予約は実行されます。「StationTV」が終了している状態では録画予約は実行されません。

「待機モード」について詳しくは『「StationTV」の状態について』(P.48) をご参照ください。

録画予約の終了後、「StationTV」を自動的に待機モードにすることができます。設定方法について詳しくは、『[共通設定] の設定』(P.158) をご参照ください。

- Windows で、スクリーンセーバーやスリープ状態からの復帰時にパスワードの入力を求める設定にしている場合、Windows にログインできないため、予約録画を実行できない場合があります。
- 予約録画の最大録画時間は 24 時間です。24 時間を超える予約を設定しようとすると、メッセージが表示され予約設定はできません。
- 基本的に、録画予約の予約設定時に空き容量がなければ予約設定はできませんが、予約設定完了後、録画開始時間までに空き容量が不足した場合はリリーフ録画が適用されます。

リリーフ録画について詳しくは『リリーフ録画』(P.93) をご参照ください。

- 録画中に録画番組再生はできません。
- デジタル放送では一回のタイマー予約でも、番組をまたぐと、録画番組ファイルは番組と同じ数だけ分割されて保存されます。
- 予約録画の開始時間の直前 (1 分以内) にスリープ状態へ移行させると予約録画に失敗する場合があります。

録画した番組のコピー制限について

デジタル放送では、著作権保護のため番組にコピー制限がかかっています。予約録画をすると、その番組の直前・直後の番組情報が含まれることがあり、一つの録画ファイルにコピー制限が異なる複数の番組が含まれる場合があります。録画ファイルには、含まれるコピー制限のうち一番厳しい制限が適用されます。

例 :「ダビング 10」の番組を録画した録画ファイル内に、「コピーワンス」部分が含まれた場合、この録画ファイル全体は「コピーワンス」が適用されます。そのためディスク作成後には録画ファイル全体が消去されます。

「コピー制限」について詳しくは『コピー制限について』(P.131)、「ディスク作成」について詳しくは『ディスク作成について』(P.130)、『ディスク作成前の確認事項』(P.132) をご参照ください。

タイマー予約の設定手順

タイマー予約を設定する

タイマー予約の設定手順は次のとおりです。

タイマー予約の手順説明について

この手順ではタイマー予約の設定必須項目のみの設定手順を説明します。

設定必須項目以外について詳しくは『タイマー予約の画面』(P.100) をご参照ください。

1. [タイマー予約] 画面を表示します

1. [予約一覧] ボタンを押します。
   ➡ [予約] 画面が表示されます。
2. [タイマー予約] を選択し、[決定] ボタンを押します。
   ➡ [タイマー予約] 画面が表示されます。

2. タイマー予約を設定します

1. [放送波] を選択し、[決定] ボタンを押します。
   表示される選択プルダウンメニューから [地上デジタル] ／ [BS] ／ [CS] を選択します。
   ➡ 放送波が確定します。
2. 上記手順 1 の要領で [CH]、[日付]、[開始時間]、[終了時間]、[レコーダー] を設定します。
3. 上記手順 2 をすべて設定し終わったら、[確定] を選択し、[決定] ボタンを押します。
   ➡ タイマー予約の設定が完了し、[予約] 画面が表示されます。

以上で、タイマー予約の設定手順は終了です。

番組表から番組を選んで録画予約することもできます。詳しくは『番組を指定して録画を予約する（番組表予約）』(P.103) をご参照ください。

録画予約が同じ時間に重なった場合

録画予約が同じ時間帯に重なった場合、「重複予約の選択」画面が表示されます。この画面で重なった予約を削除する等、予約状況の調整ができます。

「重複予約の選択」画面について詳しくは『重なった録画予約を調整する』(P.110) をご参照ください。

番組を指定して録画を予約する（番組表予約）

番組表から番組を指定して録画予約することができます。

番組表について詳しくは『番組表を見る』（P.63）をご参照ください。

番組表予約の画面

[番組表予約] の画面は次のとおり表示されます。

[番組情報] の項目	
タイトル	この番組のタイトルです。
放送局	この番組を放送している放送局名です。
CH	この番組を放送している放送局のチャンネル番号です。
開始日時	この番組の開始日時です。
終了日時	この番組の終了日時です。

[番組表予約] 画面の項目	
繰り返し予約	この番組の録画予約を毎日、また毎週など、繰り返し実行することができます。 **繰り返し予約について** 繰り返し予約は 2 回目以降、最初に設定した録画予約の開始時刻 1 時間前から、終了時刻 1 時間後までの間に、先頭 3 文字が同じ番組タイトルのあるとき、録画が実行されます。 録画が開始されると、番組の放送時間が変更されていても、追従して番組のすべてを録画することができます。 この時間内に同じ番組タイトルがない場合は、最初に設定した録画予約と同じ時間を録画します。 また、繰り返し予約は、予約を削除しない限り上記の条件で録画予約を実行し続けます。 ◆ 選択項目 [なし] ／ [毎週] ／ [毎（月～金）] ／ [毎（月～土）] ／ [毎日]
開始時間修正	録画の開始時間を調整する場合に設定します。 番組開始と同時に、録画を始める場合は [0 分] を選択します。 番組開始より早く、録画を始める場合は [－ 1 分] を選択します。番組開始後、録画を始める場合は [＋ 1 分] ～ [＋ 6 分] を選択します。

次ページへ

[番組表予約] 画面の項目	
終了時間修正	録画の終了時間を調整する場合に設定します。 番組終了と同時に、録画を終了する場合は [0 分] を選択します。 番組終了後、しばらく録画を続ける場合は [＋ 1 分] を選択します。 番組終了より前に、録画を終了する場合は [－ 1 分] ～ [－ 6 分] を選択します。
レコーダー選択	録画予約をするレコーダーを設定します。 ※ 同時刻の番組を予約する時は、レコーダーを変えて設定します。

[番組表予約] 画面の操作メニュー	
戻る	[番組詳細] 画面に戻ります。
確定	この番組表予約を確定して、[予約] 画面に登録します。
削除	この番組表予約を削除します。

番組表予約についてのご注意

- 「StationTV」が「待機モード」であれば、パソコン本体がスリープ状態、または休止状態でも、録画予約は実行されます。「StationTV」が終了している状態では録画予約は実行されません。

「待機モード」について詳しくは『「StationTV」の状態について』（P.48）をご参照ください。

録画予約の終了後、「StationTV」を自動的に待機モードにすることができます。設定方法について詳しくは、『[共通設定] の設定』（P.158）をご参照ください。

- Windows で、スクリーンセーバーやスリープ状態からの復帰時にパスワードの入力を求める設定にしている場合、Windows にログインできないため、予約録画を実行できない場合があります。
- 予約録画の最大録画時間は 24 時間です。24 時間を超える予約を設定しようとすると、メッセージが表示され予約設定はできません。
- 基本的に、録画予約の予約設定時に空き容量がなければ予約設定はできませんが、予約設定完了後、録画開始時間までに空き容量が不足した場合はリリーフ録画が適用されます。

リリーフ録画について詳しくは『リリーフ録画』（P.93）をご参照ください。

- 録画中に録画番組再生はできません。
- 臨時放送など予約した番組と異なる番組が放送されたとき、録画されない場合があります。
- 予約録画の開始時間の直前 (1 分以内) にスリープ状態へ移行させると予約録画に失敗する場合があります。

録画した番組のコピー制限について

デジタル放送では、著作権保護のため番組にコピー制限がかかっています。予約録画をすると、その番組の直前・直後の番組情報が含まれることがあり、一つの録画ファイルにコピー制限が異なる複数の番組が含まれる場合があります。録画ファイルには、含まれるコピー制限のうち一番厳しい制限が適用されます。

例 :「ダビング 10」の番組を録画した録画ファイル内に、「コピーワンス」部分が含まれた場合、この録画ファイル全体は「コピーワンス」が適用されます。そのためディスク作成後には録画ファイル全体が消去されます。

「コピー制限」について詳しくは『コピー制限について』（P.131）、「ディスク作成」について詳しくは『ディスク作成について』(P.130)、『ディスク作成前の確認事項』(P.132) をご参照ください。

番組表予約の設定手順

番組表予約の手順は次のとおりです。

番組表予約を設定する

番組表予約の設定手順は次のとおりです。

番組表予約の手順説明について

この手順では番組表予約の設定必須項目のみの設定手順を説明します。

設定必須項目以外について詳しくは『番組表予約の画面』（P.103）をご参照ください。

1. [番組表] 画面から録画する番組を選択します

1. [番組表] ボタンを押します。

➡ [番組表] 画面が表示されます。

2. 番組表から録画する番組を選択し、[決定] ボタンを押します。

➡ 番組が選択され、[番組詳細] 画面が表示されます。

2. 番組表予約を設定します

1. [番組表予約] を選択し、[決定] ボタンを押します。

➡ [番組録画予約] 画面が表示されます。

2. [確定] を選択し、[決定] ボタンを押します。

➡ 番組表予約が確定し、[番組表] 画面に戻ります。

以上で、番組表予約の設定手順は終了です。

録画時間を設定して録画予約することもできます。詳しくは『日時を指定して録画を予約する（タイマー予約）』（P.100）をご参照ください。

録画予約が同じ時間に重なった場合

録画予約が同じ時間帯に重なった場合、「重複予約の選択」画面が表示されます。この画面で重なった予約を削除する等、予約状況の調整ができます。

「重複予約の選択」画面について詳しくは『重なった録画予約を調整する』（P.110）をご参照ください。

予約の一覧画面

「タイマー予約」､「番組表予約」で設定された録画予約は [予約] 画面に一覧表示されます。
「予約」画面は、[予約一覧] ボタンを押すと表示されます。

[予約] の画面説明

[予約] 画面は次のとおり表示されます。

[予約] 画面の項目	
録画予約	すでに設定された、実行待ちの録画予約が一覧表示されます。 詳しくは『[予約] 画面の詳細項目』（P.107）をご参照ください。

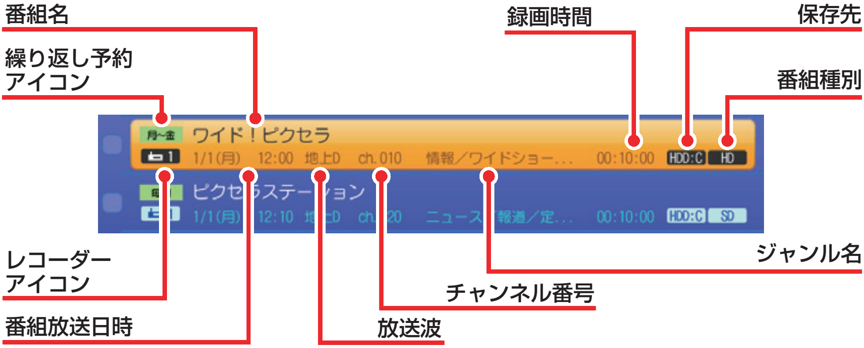
[予約] 画面の操作メニュー	
表示順	一覧の表示順を変更できます。 ◆ 項目 [日時] ／ [タイトル] ／ [放送波（チャンネル）] ／ [放送波（日時）] ／ [サービスタイプ] ／ [ジャンル]
戻る	[トップメニュー] 画面に戻ります。
タイマー予約	新しく「タイマー予約」を設定します。 「タイマー予約」は時間を指定して、録画の予約をすることができます。 「タイマー予約」の設定方法について詳しくは『日時を指定して録画を予約する（タイマー予約）』（P.103）をご参照下さい。
番組表予約	新しく「番組表予約」を設定します。 「番組表予約」は番組表から番組を指定して、録画の予約をすることができます。 「番組表予約」の設定方法について詳しくは『番組を指定して録画を予約する（番組表予約）』（P.103）をご参照下さい。

リモコン操作ガイド	
前ページ	録画予約が複数のページにまたがる場合、前のページを表示します。
次ページ	録画予約が複数のページにまたがる場合、次のページを表示します。
複数選択	現在選択されている録画予約を選択状態のまま固定します。続けて選択することができます。
黄（削除）	現在選択されている録画予約を削除します。

次ページへ

[予約] 画面の詳細項目

[予約] 画面に表示される、各録画予約の表示項目は次のように表示されます。



[予約] 画面の詳細項目	
繰り返し予約アイコン	繰り返し予約が設定されてる録画予約に表示されるアイコンです。 ◆ 項目 [毎週] ／ [毎（月～金）] ／ [毎（月～土）] ／ [毎日]
レコーダーアイコン	録画予約されているレコーダーを表示するアイコンです。
番組名	録画予約されている番組名です。
番組放送日時	録画予約が開始する日時です。
放送波	録画予約されている番組を放送してる放送波です。
チャンネル番号	録画予約されている番組を放送している放送局のチャンネル番号です。
ジャンル名	録画予約されている番組のジャンルです。
録画時間	録画予約されている番組の放送時間です。
保存先	この録画予約で録画する番組の保存先です。
番組種別	録画予約する番組の種別です。 ◆ HD 「High Definition」の略で、デジタルハイビジョンなどの高画質放送の番組を表します。 ◆ SD 「Standard Definition」の略で、標準解像度で放送されている番組を表します。

予約を変更する

登録された予約を変更するときは、[予約] 画面から予約を選択して変更します。

予約変更の手順

予約変更の手順は次のとおりです。

1. [予約] 画面を表示します

[予約一覧] ボタンを押します。

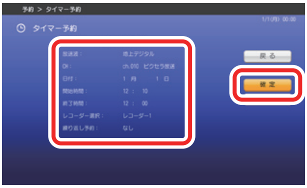
➡ [予約] 画面が表示されます。

2. 変更する予約を選択します

変更する予約を選択し、[決定] ボタンを押します。

➡ [タイマー予約] 画面、または [番組表予約] 画面が表示されます。

3. 予約を変更します



1. 予約の設定を変更します。

タイマー予約の設定について詳しくは『日時を指定して録画を予約する（タイマー予約）』(P.100)、番組表予約については『番組を指定して録画を予約する(番組表予約)』(P.103)をご参照ください。

2. 設定の変更を確定します。

➡ 予約の設定が変更され、[予約] 画面が表示されます。

以上で、予約の変更手順は終了です。

予約を削除する

登録された予約を削除するときは、[予約] 画面から予約を選択して削除します。

予約削除の手順

予約削除の手順は次のとおりです。

1. [予約] 画面を表示します

[予約一覧] ボタンを押します。

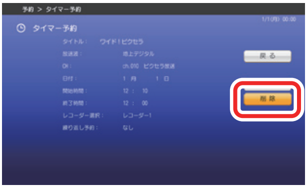
➡ [予約] 画面が表示されます。

2. 削除する予約を選択します

削除する予約を選択し、[決定] ボタンを押します。

➡ [タイマー予約] 画面、または [番組表予約] 画面が表示されます。

3. 予約を削除します



[削除] を選択し、[決定] ボタンを押します。

➡ 予約が削除され、[予約] 画面が表示されます。

以上で、予約削除の手順は終了です。

重なった録画予約を調整する

設定した録画予約が、他の録画予約の時間帯と重なってしまった場合、「重複予約の選択」画面が表示され録画予約状況を確認し、調整することができます。

[重複予約の選択] 画面の項目

[重複予約の選択] 画面は次のとおり表示されます。

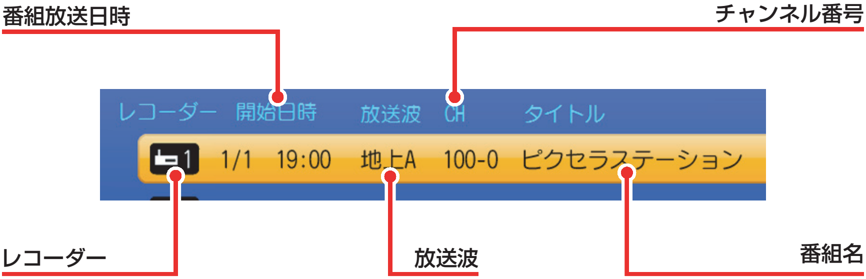
[重複予約の選択] 画面の操作メニュー	
戻る	[番組表予約] 画面、または［タイマー予約］画面に戻ります。
新規予約キャンセル	新しく設定した録画予約をキャンセルします。
レコーダー１ キャンセル	先に設定されていたレコーダー１での録画予約をキャンセルします。
レコーダー2 キャンセル	先に設定されていたレコーダー２での録画予約をキャンセルします。

[重複予約の選択] 画面の項目	
録画予約	新しく設定した録画予約と放送時間が重なっている、録画予約がリスト表示されます。

次ページへ

[重複予約の選択] 画面の詳細項目

[重複予約の選択] 画面は次のとおり表示されます。

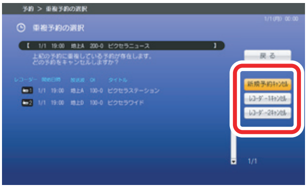


[重複予約の選択] 画面の詳細項目	
レコーダー	この録画予約が設定されているレコーダーです。
開始日時	この録画予約の録画開始日時です。
放送波	録画予約されている番組を放送する放送波です。
CH	録画予約されている番組のチャンネル番号です。
タイトル	録画予約されている番組のタイトルです。

録画予約をキャンセルする

キャンセルする録画予約を選択します。

録画予約をキャンセルします



新しく設定した録画予約をキャンセルする場合は [新規予約キャンセル]、すでに設定されている録画予約をキャンセルする場合は [レコーダー 1 キャンセル]、または [レコーダー 2 キャンセル] を選択し、

[決定] ボタンを押します。

➡ 選択した録画予約がキャンセルされます。

MEMO

CHAPTER-7
再生

録画番組、録画番組詳細の画面

[録画番組] 画面は、[録画番組] ボタンを押すと表示されます。

録画番組の画面

録画した番組は [録画番組] 画面に登録されていきます。

[録画番組] 画面の項目

[録画番組] 画面は次のように表示されます。

[録画番組] 画面の項目	
録画番組	「StationTV」で録画した番組が一覧表示されます。 詳しくは『[録画番組] 画面の詳細項目』(P.115) をご参照ください。

[録画番組] 画面の操作メニュー	
表示順	一覧の表示順を変更できます。 ◆ 選択項目 [日時] ／ [タイトル] ／ [放送波（チャンネル）] ／ [放送波（日時)] ／ [サービスタイプ] ／ [ジャンル]
表示形式	一覧の表示形式を変更できます。 ◆ 選択項目 [リスト] ／ [サムネイル] ※ [サムネイル] を選択した場合、デジタル放送の録画番組はジャンルアイコンが表示されます。
戻る	[トップメニュー] 画面に戻ります。
すべて削除	録画番組をすべて削除します。

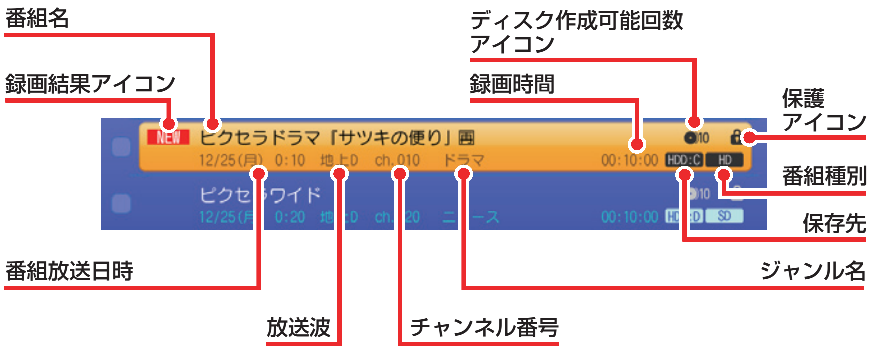
リモコン操作ガイド	
前ページ	録画番組が複数のページにまたがる場合、前のページを表示します。
次ページ	録画番組が複数のページにまたがる場合、次のページを表示します。
再生	現在選択されている録画番組を再生します。

次ページへ

リモコン操作ガイド	
つづき再生	現在選択されている録画番組を前回視聴した続きから再生します。初めて見る録画番組の場合は、始めから再生されます。
複数選択	現在選択されている録画番組を選択状態のまま固定し、続けて選択することができます。
緑	現在選択されている録画番組を誤って削除されないよう、保護します。 ※保護された録画番組を選択し、もう一度押すと保護が解除されます。
黄	現在選択されている録画番組を削除します。

[録画番組] 画面の詳細項目

[録画番組] 画面に表示される、各録画番組の表示項目は次のように表示されます。



[録画番組] 画面の詳細項目	
番組名	録画番組の番組名です。
録画結果アイコン	録画番組の録画結果をアイコン表示します。 ◆ アイコンの種類 [NEW] ／ [中断] ／ [失敗]
番組放送日時	録画番組の放送日時です。
放送波	録画番組の放送波です。
チャンネル番号	録画番組が放送された放送局のチャンネル番号です。
ジャンル名	録画番組のジャンルです。
録画時間	録画番組の録画時間です。

次ページへ

［録画番組］画面の詳細項目	
ディスク作成可能回数アイコン	ディスク作成が可能な録画番組に表示されるアイコンです。 ◆ アイコンの種類 ［ 10 ］：「ダビング 10」の制限がかけられている録画番組に表示されます。ディスク作成可能な残り回数が表示され、ディスク作成ごとに回数が減ります。 ［ 1 ］：「コピーワンス」の制限がかけられている録画番組に表示されます。ディスク作成が 1 回可能です。 ［ ］：「コピーフリー」の制限がかけられている録画番組に表示されます。ディスク作成が回数に制限なく可能です。 ☞ ディスク作成について詳しくは『ディスク作成について』（P.130）、コピー制限について詳しくは『コピー制限について』（P.131）をご参照ください。
保護アイコン	録画番組に保護をかけると表示されるアイコンです。 ☞ 録画番組の保護について詳しくは『録画番組を保護する』（P.127）をご参照ください。
番組種別	「番組表予約」で予約録画された番組にのみ表示されます。 ◆ HD 「High Definition」の略で、デジタルハイビジョンなどの高画質放送の番組を表します。 ◆ SD 「Standard Definition」の略で、標準解像度で放送されている番組を表します。
保存先	録画番組の録画された保存先です。

［録画番組詳細］の画面

録画した番組の詳細情報を表示します。この画面から再生、ディスク作成を行うことができます。

［録画番組詳細］画面の操作メニュー	
戻る	［録画番組］画面に戻ります。
再生	この録画番組を再生します。 ☞ 録画番組の再生について詳しくは『録画番組を再生する』（P.118）をご参照ください。
つづき再生	この録画番組を前回視聴した続きから再生します。初めて見る録画番組の場合は始めから再生されます。

次ページへ

[録画番組詳細] 画面の操作メニュー

SD 画質変換	HD 画質（「High Definition」の略で、デジタルハイビジョンなどの高画質放送の番組）の録画番組を SD 画質（「Standard Definition」の略で、標準解像度で放送されている番組）に変換することによって録画番組データのファイルサイズを小さくすることができます。 SD 画質変換について詳しくは『SD 画質変換をする』(P.128) をご参照ください。
DVD 作成	この録画番組の DVD を作成します。 DVD 作成について詳しくは『ディスク作成について』(P.130) をご参照ください。
BD 作成	この録画番組の BD（ブルーレイディスク）を作成します。 BD 作成について詳しくは『ディスク作成について』(P.130) をご参照ください。 **ご注意** ご使用のパソコンによっては BD（ブルーレイディスク）を作成できない機種があります。詳しくはパソコンの取扱説明書をご参照ください。
保護	この録画番組を誤って削除されないように保護します。 保護をかけるとボタンが［保護解除］に切り換わります。 録画番組の保護について詳しくは『録画番組を保護する』（P.127）をご参照ください。
削除	この録画番組を削除します。

[録画番組詳細] 画面の項目

タイトル	この録画番組のタイトルです。クリックで編集できます。 ※編集した録画番組のタイトルは、作成したディスクには反映されません。
番組記述	この録画番組の内容です。
CH	この録画番組が放送された放送局のチャンネル番号です。
放送局	この録画番組が放送された放送局名です。
放送波	この録画番組が放送された放送波です。
開始日時	この録画番組が録画された日時です。
録画時間	この録画番組の録画時間です。
大／小ジャンル	この録画番組のジャンルです。
コピー制限	この録画番組にかけられているコピー制限です。
ディスク作成可能回数	この録画番組のディスク作成が可能な回数です。
音声	この録画番組の音声の出力タイプです。 音声の出力タイプにはステレオ／モノラル／デュアルがあります。
映像	この録画番組の映像の詳細情報です。 デジタル放送の録画番組では解像度、アスペクト比、番組の種類の順で表示されます。
保存場所	この録画番組の保存場所です。
録画失敗理由	予約録画に失敗、または予約録画が中断された際、その理由を表示します。

録画番組を再生する

録画番組を再生する

録画番組を再生する手順は次のとおりです。

録画番組再生の手順

1. 再生する録画番組を選択します

1. [録画番組] ボタンを押します。

➡ [録画番組] 画面が表示されます。

2. 再生する番組を選択し、[決定] ボタンを押します。

➡ [録画番組詳細] 画面が表示されます。

2. 再生を開始します

[再生] を選択し、[決定] ボタンを押します。

➡ ビューアが表示され、録画番組の再生が開始されます。

録画番組の再生操作

- つづき再生について
  前回視聴した続きから録画番組を再生するには、[つづき再生] を選択し、[決定] ボタンを押します。
- 複数の録画番組の再生について
  複数の録画番組を連続して再生するには、再生したい録画番組の左にあるチェックボックスにチェックを入れます。選択された録画番組は選択順に再生されます。

録画番組の再生について

録画番組の再生には以下の制限があります。

- 「StationTV」で録画した録画番組ファイルは、録画を行ったパソコン以外では再生することはできません。
- 録画中やタイムシフト状態時に録画番組を再生する場合はレコーダーを切り換える必要があります。
- 録画番組の再生中に録画予約した時間になると、再生は中断され、録画する番組にチャンネルが切り換わり録画が開始されます。
- ダブル録画中は録画番組再生できません。

再生中の操作一覧

録画番組の再生中は次の操作を行うことができます。

再生中の操作一覧	
巻戻し ◀◀	再生中の映像を巻戻しします。巻戻しの速度は押すたびに次のとおり切り換わります。 ◆【巻戻し速度】 2 倍⇒ 4 倍⇒ 20 倍⇒ 100 倍⇒ 2 倍…
早送り ▶▶	再生中の映像を早送りします。早送りの速度は押すたびに次のとおり切り換わります。 ◆【早送り速度】 2 倍⇒ 4 倍⇒ 20 倍⇒ 100 倍⇒ 2 倍…
スキップ ⏮	再生中の映像を一定の時間、前へスキップします。初期設定では 30 秒です。 スキップする時間は [設定] で設定できます。詳しくは『[再生設定] の設定』（P.160）をご参照ください。
スキップ ⏭	再生中の映像を一定の時間、次へスキップします。初期設定では 30 秒です。 スキップする時間は [設定] で設定できます。詳しくは『[再生設定] の設定』（P.160）をご参照ください。
再生 ▶	巻戻し中／早送り中／一時停止中に押すと、再生を再開します。
一時停止 ⏸	再生中に押すと、再生を一時停止します。
停止 ■	再生を停止して、[録画番組] 画面が表示されます。
連動データ d	データ放送が含まれている録画番組の場合、データ放送が表示されます。
[先頭] または [前へ]	コントロールパネルでの操作となります。 単一の録画番組の再生時には [先頭] と表示され、クリックすると、その録画番組の先頭に戻って再生します。 連続ファイル再生時（複数の録画番組を選択して再生）には [前へ] と表示され、クリックすると、一つ前の録画番組の先頭に戻って再生します。一つ前に録画番組がない場合はその録画番組の先頭に戻って再生します。 ※この操作にあたるリモコンボタンはありません。
[終端] または [次へ]	コントロールパネルでの操作となります。 単一の録画番組の再生時には [終端] と表示され、クリックすると、その録画番組の終端に進んで停止します。 連続ファイル再生時（複数の録画番組を選択して再生）には [次へ] と表示され、クリックすると、一つ後の録画番組の先頭に進んで再生します。一つ後に録画番組がない場合はその録画番組の終端に進んで停止します。 ※この操作にあたるリモコンボタンはありません。

録画番組を検索する

録画番組から、番組のジャンルや、出演者などのフリーワードで見たい番組を検索することができます。

ジャンルを選択して録画番組を検索する

見たい番組のジャンルを指定して、番組を検索します。

ジャンル検索の手順

番組表からジャンル検索をかける手順は以下のとおりです。

1. [ジャンル検索] 画面を表示します

1. [テレビメニュー] ボタンを押します。

➡ [トップメニュー] 画面が表示されます。

2. 次の順番でメニュー項目を選択していきます。
[番組検索] ▶ [録画番組検索] ▶ [ジャンル検索]

➡ [ジャンル検索] 画面が表示されます。

2. ジャンル検索をかける範囲を設定します

1. [放送波] を選択し、[決定] ボタンを押します。表示された選択プルダウンメニューから [すべて] ／ [地上デジタル] ／ [BS] ／ [CS] を選択します。

➡ [放送波] が確定します。

2. [サービス] を選択し、[決定] ボタンを押します。表示された選択プルダウンメニューから [すべて] ／ [テレビ] ／ [ラジオ] ／ [データ] を選択します。

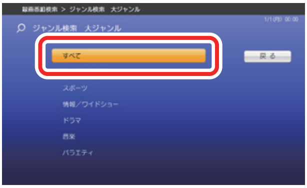
➡ [サービス] が確定します。

3. [次へ] を選択し、[決定] ボタンを押します。

➡ [大ジャンル] 画面が表示されます。

次ページへ

3. 検索するジャンルを設定します



1. 検索する大ジャンルを選択し、[決定] ボタンを押します。

➡ 大ジャンルが確定し、[小ジャンル] 画面が表示されます。

※ [すべて] を選択した場合、小ジャンルを選択せずに [ジャンル検索結果] 画面が表示されます。

2. 検索する小ジャンルを選択し、[決定] ボタンを押します。

➡ 小ジャンルが確定し、[ジャンル検索結果] 画面が表示されます。

以上で、ジャンルを選択して録画番組を検索する手順は終了です。

次ページへ

[ジャンル検索結果] の画面説明

[ジャンル検索結果] 画面は次のように表示されます。

[ジャンル検索結果] 画面の操作メニュー	
表示順	一覧の表示順を変更できます。 ◆ 選択項目 [日時] ／ [タイトル] ／ [放送波（チャンネル）] ／ [放送波（日時）] ／ [サービスタイプ] ／ [ジャンル]
表示形式	一覧の表示形式を変更できます。 ◆ 選択項目 [リスト] ／ [サムネイル]
戻る	ひとつ前の画面に戻ります。
すべて削除	録画番組をすべて削除します。

リモコン操作ガイド	
前ページ	録画番組が複数のページにまたがる場合、前のページを表示します。
次ページ	録画番組が複数のページにまたがる場合、次のページを表示します。
再生	現在選択されている録画番組を再生します。
つづき再生	現在選択されている録画番組を前回視聴した続きから再生します。初めて見る録画番組の場合は、始めから再生されます。
複数選択	現在選択されている録画番組を選択状態のまま固定します。続けて選択することができます。
緑	現在選択されている録画番組を誤って削除されないよう、保護します。 ※ 保護された録画番組を選択し、もう一度押すと保護が解除されます。
黄	現在選択されている録画番組を削除します。

検索結果の詳細

[ジャンル検索結果] 画面の詳細は [録画番組] 画面の詳細と内容は同じです。

詳しくは『[録画番組] 画面の詳細項目』（P.115）をご参照ください。

フリーワードを設定して録画番組を検索する

録画番組の中から、任意のフリーワードを設定して番組を検索することができます。

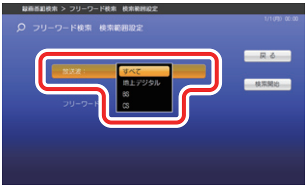
フリーワード検索の手順

録画番組からフリーワード検索をかける手順は以下のとおりです。

1. [フリーワード検索] 画面を表示します

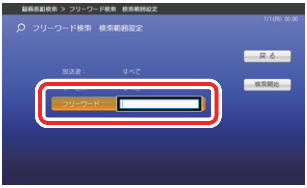
1. [テレビメニュー] ボタンを押します。
   ➡ [トップメニュー] 画面が表示されます。
2. 次の順番でメニュー項目を選択していきます。
   [番組検索] ▶ [録画番組検索] ▶ [フリーワード検索]
   ➡ [ジャンル検索] 画面が表示されます。

2. フリーワード検索をかける範囲を設定します



1. [放送波] を選択し、[決定] ボタンを押します。
   表示された選択プルダウンメニューから [すべて] ／ [地上デジタル] ／ [BS] ／ [CS] を選択します。
   ➡ [放送波] が確定します。
2. [サービス] を選択し、 [決定] ボタンを押します。
   表示された選択プルダウンメニューから [すべて] ／ [テレビ] ／ [ラジオ] ／ [データ] を選択します。
   ➡ [サービス] が確定します。

3. フリーワードを設定します



1. [フリーワード] を選択し、 [決定] ボタンを押します。
   ➡ フリーワード入力欄が表示されます。
2. キーボードでフリーワードを入力し、[Enter] キーを押します。
   ➡ フリーワードが確定します。
3. [検索開始] を選択し、 [決定] ボタンを押します。
   ➡ フリーワード検索が開始され、[フリーワード検索結果] 画面が表示されます。

以上で、フリーワードを設定して録画番組を検索する手順は終了です。

次ページへ

[フリーワード検索結果] の画面説明

[フリーワード検索結果] 画面は次のように表示されます。

[フリーワード検索結果] 画面の操作メニュー	
表示順	一覧の表示順を変更できます。 ◆ 選択項目 [日時] ／ [タイトル] ／ [放送波（チャンネル）] ／ [放送波（日時）] ／ [サービスタイプ] ／ [ジャンル]
表示形式	一覧の表示形式を変更できます。 ◆ 選択項目 [リスト] ／ [サムネイル]
戻る	ひとつ前の画面に戻ります。
すべて削除	録画番組をすべて削除します。

リモコン操作ガイド	
前ページ	録画番組が複数のページにまたがる場合、前のページを表示します。
次ページ	録画番組が複数のページにまたがる場合、次のページを表示します。
再生	現在選択されている録画番組を再生します。
つづき再生	現在選択されている録画番組を前回視聴した続きから再生します。初めて見る録画番組の場合は、始めから再生されます。
複数選択	現在選択されている録画番組を選択状態のまま固定します。続けて選択することができます。
緑	現在選択されている録画番組を誤って削除されないよう、保護します。 ※ 保護された録画番組を選択し、もう一度押すと保護が解除されます。
黄	現在選択されている録画番組を削除します。

検索結果の詳細

[フリーワード検索結果] 画面の詳細は [録画番組] 画面の詳細と内容は同じです。

詳しくは『[録画番組] 画面の詳細項目』（P.115）をご参照ください。

録画番組を管理する

録画した番組の削除／保護や、HD 画質で録画した録画番組を SD 画質に変換することによって録画番組のファイルサイズを小さくすることができます。

録画番組を削除する

録画番組を選択して削除することができます。

ご注意

[録画番組] 画面から削除された番組は、Windows から録画番組ファイルが削除されますので、後から復元させることはできません。

1 番組ずつ削除する

1 番組ずつ削除する手順は次のとおりです。

1. [録画番組] 画面を表示します

[録画番組] ボタンを押します。

➡ [録画番組] 画面が表示されます。

2. 録画番組を削除します

1. 削除する録画番組を選択し、[黄] ボタンを押します。

   ➡ 確認のメッセージが表示されます。

2. [はい] が選択されている状態で、[決定] ボタンを押します。

   ➡ 録画番組が削除されます。

次ページへ

複数の録画番組を一度に削除する

削除したい録画番組を複数選択して、一度に削除する手順は次のとおりです。

1. [録画番組] 画面を表示します

[録画番組] ボタンを押します。

➡ [録画番組] 画面が表示されます。

2. [一時停止] ボタンで削除したい番組を選択します

1. 削除したい録画番組を選択し、[一時停止] ボタンを押します。

➡ 録画番組が選択状態になります。

2. 同じ手順で、削除したい番組をすべて選択します。

➡ 削除したい録画番組すべてが選択状態になります。

3. 録画番組を削除します

1. [黄] ボタンを押します。

➡ 確認のメッセージが表示されます。

2. [はい] が選択されている状態で、[決定] ボタンを押します。

➡ 録画番組が削除されます。

すべての録画番組を一度に削除する

すべての録画番組を一度に削除する手順は次のとおりです。

1. [録画番組] 画面を表示します

[録画番組] ボタンを押します。

➡ [録画番組] 画面が表示されます。

2. すべての録画番組を削除します

1. [すべて削除] を選択し、[決定] ボタンを押します。

➡ [すべて削除] 画面 が表示されます。

2. [はい] を選択し、[決定] ボタンを押します。

➡ 保護されている番組以外のすべての録画番組が削除されます。

録画番組を保護する

残しておきたい録画番組などを誤って削除しないように、次の手順で保護できます。
保護されたファイルは全削除を行っても削除されません。

1. [録画番組] 画面を表示します

[録画番組] ボタンを押します。

➡ [録画番組] 画面が表示されます。

2. 録画番組を保護します

保護する録画番組を選択し、[緑] ボタンを押します。

➡ 録画番組が保護されます。

保護を解除するには

録画番組の保護を解除するには、[録画番組] 画面で保護された録画番組を選択し、[緑] ボタンを押してください。

SD 画質変換をする

デジタル放送の HD 画質番組はとてもデータ量が多いため、録画するにはハードディスクに大きな空き容量が必要になります。録画済みの HD 画質の録画番組を SD 画質に変換することによって録画番組のファイルサイズを小さくし、ハードディスクの容量を節約することができます。

※ HD 画質：「High Definition」の略で、デジタルハイビジョンなどの高画質放送の番組
※ SD 画質：「Standard Definition」の略で、標準解像度で放送されている番組

ご注意
ディスク作成実行中に中断（キャンセルまたは失敗）された録画番組は SD 画質変換を実行できません。

HD 画質の録画番組のファイルサイズを小さくする

1. SD 画質変換する録画番組を選択します

1. [録画番組] ボタンを押します。
➡ [録画番組] 画面が表示されます。

2. 圧縮する番組を選択し、[決定] ボタンを押します。
➡ [録画番組詳細] 画面が表示されます。

2. SD 画質変換を開始します

1. [SD 画質変換] を選択し、[決定] ボタンを押します。
➡ メッセージが表示されます。

2. [はい] を選択し、[決定] ボタンを押します。
➡ SD 画質変換が開始されます。

※ 表示される残り時間は目安としてご参考ください。

3. SD 画質変換を完了します

圧縮が終了すると、確認メッセージが表示されるので [OK] をクリックします。

➡ ［録画番組］画面に戻ります。

ご注意
SD 画質変換を実行すると録画番組から以下の情報が失われます。

- データ放送
- 字幕
- 複数の音声や映像が含まれている番組の場合、「音声 1」と「映像 1」以外の音声・映像情報

CHAPTER-8
ディスク作成

ディスク作成について

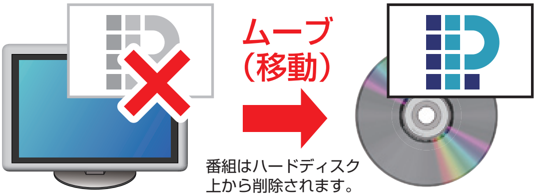
「StationTV」では録画したデジタル放送の番組を、ディスクに保存することができます。

ディスク作成の種類

ディスクを作成する方法には、「ムーブ」と「コピー」の 2 種類があります。

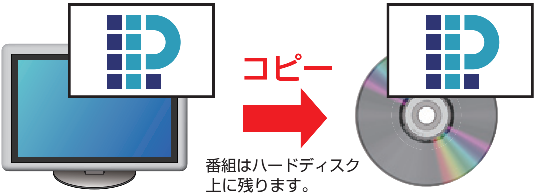
◆ ムーブ（移動）

ムーブとは「StationTV」に保存していた録画番組をディスクに移動することです。録画番組は、ディスクの作成が終了すると、ハードディスク上から削除されます。



◆ コピー（複製）

コピーとは「StationTV」に保存していた録画番組をディスクに複製することです。録画番組は、ディスクの作成終了後も、ハードディスク上に残ります。



コピー制限について

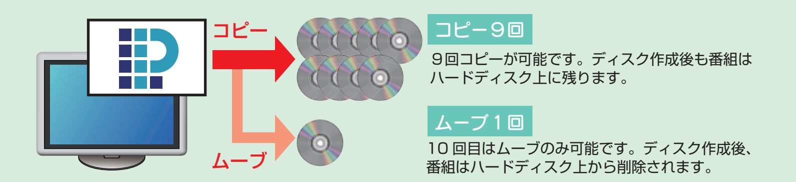
デジタル放送では、著作権保護のためほとんどの番組にコピー制限があります。コピー制限には「コピーフリー」、「ダビング 10」、「コピーワンス」、「コピーネバー」の４種類があります。

◆ コピーフリー

回数に制限なくコピーできます。

◆ ダビング 10

10 回（コピー９回＋ムーブ１回）ディスク作成が可能な制限です。



◆ コピーワンス

１回だけムーブが可能な制限です。。

◆ コピーネバー

コピーできません。

※ 録画／ディスク作成できません。

ディスクの作成方法とコピー制限

ディスクの作成方法／コピー制限	ムーブ	コピー
コピーフリー	×	○（無制限）
ダビング 10	○（1 回）	○（9 回）
コピーワンス	○（1 回）	×

（↓ 厳しい）

ディスク作成前の確認事項

対応ディスク

■ DVD-RW（CPRM 対応 /1 層のみ）

■ DVD-RAM（CPRM 対応）

■ BD-R（1 層 /2 層）

■ BD-RE（1 層 /2 層）

CPRM とは

CPRM(Content Protection for Recordable Media) とは、著作権を保護するために映像素材を暗号化する技術です。

ご注意

ご使用のパソコンによっては BD を作成できない機種があります。詳しくはパソコンの取扱説明書をご参照ください。

その他の制限事項

■「ダビング 10」、「コピーワンス」のコピー制限が加えられている録画番組から作成したディスクの複製はできません。

■ ディスク作成は、選択した一つの録画番組全体が対象となります。複数の番組を同時に、または番組の一部を選択して、ディスク作成することはできません。

■ 編集した録画番組のタイトルは、ディスクに反映されません。

■ パソコン本体に搭載されたドライブにより、書き込み可能なディスクが異なります。パソコン本体の取扱説明書を確認してください。

■ ディスク作成中に、強制シャットダウンや、停電による電源断など不慮の事故によるパソコン本体の停止、記録しているディスクの傷や汚れによる書込みの中断が発生した場合、ディスク作成を実行した録画番組は「StationTV」から一部、またはすべて削除される場合があります。このとき、この録画番組の一部、またはすべてを「StationTV」で再生できない場合があります。

■ ディスク作成中に中断（キャンセルまたは失敗）された録画番組は、SD 画質変換を実行できなくなります。

■ ディスク作成中に中断（キャンセルまたは失敗）した場合でも、ディスク作成可能回数は 1 回減ります。

■ ディスク作成中は、「StationTV」でデジタル放送の視聴、録画はできません。また、ディスク作成中は予約録画もできませんので、ディスク作成を実行する前に予約録画の時間を確認してください。

■ ディスク作成中は、録画番組の SD 画質変換を行うことができません。

■ 複数の映像・音声がある番組のディスクを作成する場合、映像 1・音声 1 のみを記録することができます。（映像 2・音声 2 以降は失われます。）

■ 録画番組を DVD に保存すると、画質はダウンコンバートされます。画像品質を保ったまま保存するには、BD をご使用ください。

※「ダウンコンバート」とは高画質なハイビジョン映像を、従来の標準画質に変換することです。

次ページへ

■ DVD でディスク作成を実行すると、5.1 チャンネル音声などのマルチ音声を、2 チャンネル音声に混合（ダウンミックス）します。マルチ音声のままディスク作成するには BD をお使いください。

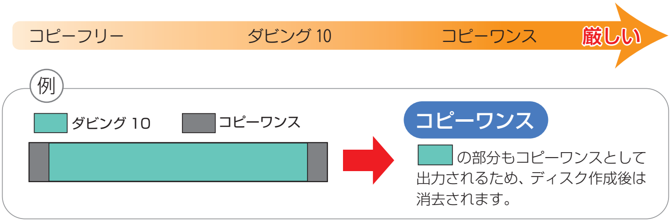
■ ムーブによってハードディスク上から削除された録画番組ファイルは、バックアップしておいたファイルを元にあった場所に戻しても（リストアしても）、再生することはできません。

■ ディスク作成は、選択した一つの録画番組全体が対象となります。複数の番組を同時にディスク作成したり、番組の一部を選択してディスク作成することはできません。

■ BS ／ 110 度 CS デジタル放送のラジオ放送やデータ放送を録画した録画番組ファイルをディスク作成することはできません。

複数のコピー制限が一つの録画ファイルに含まれてる場合

一つの録画ファイルに含まれてるコピー制限で一番厳しいものにしたがってディスク作成が実行されます。



「ダビング 10」の番組を録画した録画ファイル内に、「コピーワンス」部分が含まれた場合、この録画ファイル全体は「コピーワンス」が適用されます。そのためディスク作成後には録画ファイル全体が消去されます。

ディスクを作成する

地上デジタル放送の録画番組をディスクに保存します。ディスクを作成する手順は次のとおりです。

1. ディスクに保存する録画番組を選択します

1. [録画番組] ボタンを押します。

➡ [録画番組] 画面が表示されます。

2. ディスクに保存する録画番組を選択し、[決定] ボタンを押します。

➡ [録画番組詳細] 画面が表示されます。

2. 作成するディスクの種類を選択します

[DVD 作成]、または [BD 作成] を選択し、[決定] ボタンを押します。

➡ [DVD 作成] 画面、または [BD 作成] 画面が表示されます。

※ ディスク作成ができる残り回数が表示されます。

3. ディスクをドライブに挿入し、ディスク作成を開始します

1. ディスクをドライブにセットします。

➡ ドライブ情報が更新されます。

2. 必要な設定を行います。

設定内容について詳しくは『[DVD 作成]、[BD 作成］の画面』（P.136）をご参照ください。

3. [DVD 作成開始]、または [BD 作成開始] を選択し、[決定] ボタンを押します。

➡ メッセージが表示されます。

4. [はい] を選択し、[決定] ボタンを押します。

➡ ディスク作成が開始されます。

※ 表示される残り時間は目安としてご参考ください。

対応ディスク

「StationTV」で書込み可能なディスクは下記のとおりです。

- DVD-RW（CPRM 対応 /1 層のみ）
- DVD-RAM（CPRM 対応）
  ※ CPRM(Content Protection for Recordable Media) とは、著作権を保護するために映像素材を暗号化する技術です。
- BD-R（1 層 /2 層）
- BD-RE（1 層 /2 層）

次ページへ

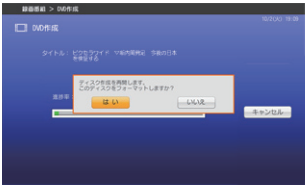
ご注意

- ディスク作成中は予約録画を行うことができません。ディスク作成を実行する前に予約録画の時間を確認してください。
- ディスク作成中はパソコンを休止しないでください。
- ご使用のパソコンによっては BD を作成できない機種があります。詳しくはパソコンの取扱説明書をご参照ください。

ディスク内のデータを削除してからディスク作成する

ディスクの空き容量が足りない場合、既存データを削除できます。
ディスク作成を開始する前に［フォーマット］を［する］に設定してください。

ディスク 2 枚以上にわたる容量の録画番組をディスク作成する場合



ディスク 2 枚以上にわたる録画番組をディスク作成する場合、2枚目以降のディスク作成を開始する前に、フォーマットするかどうかを選択します。

➡［はい］を選択してディスク作成を開始すると、ディスクの既存データをすべて削除して、書き込みを実行します。

4. ディスク作成を完了します

ディスク作成が終了すると、確認メッセージが表示されるので [OK] をクリックします。

➡ ［トップメニュー］画面に戻ります。

DVD-RW の作成

DVD-RW の作成をする場合、DVD-RW の規格上、クローズ処理を行うため、ディスク作成の進捗率 99%の状態から約 5 ～ 6 分の時間を要します。

作成した DVD の再生

作成した DVD は、CPRM に対応したプレイヤー機器で再生が可能です。

次ページへ

[DVD 作成]、[BD 作成] の画面

[DVD 作成]、[BD 作成] の画面は以下のように表示されます。

※ この画面はディスクに DVD を選択したものです。BD を選択した画面には [記録モード] がありません。

[DVD 作成] 画面、[BD 作成] 画面の項目	
タイトル	選択した録画番組のタイトルです。
ディスク空き容量	現在挿入されているディスクの空き容量です。
ディスク必要枚数	選択した録画番組をディスク作成するために必要なディスク枚数です。 ※ 複数枚にわたってディスク作成する場合、2 枚目以降のディスクには追記はできません。未使用のディスクをご用意ください。
完了予測時間	ディスク作成完了までの予測時間です。 ※ この予測時間は目安としてご参考ください。

[DVD 作成] 画面、[BD 作成] 画面の操作メニュー	
ドライブ	ディスクを作成可能なドライブを選択してください。
フォーマット	ディスクのデータを削除するかどうかを選択します。 [する] を選択してディスク作成を開始すると、ディスクの既存データをすべて削除して、書き込みを実行します。
記録モード	DVD にデータを書き込む品質を設定します。 ※ BD 作成時には選択できません。 ◆ 高画質（XP） DVD 収録可能時間 約 1 時間／ VBR 平均 8.5Mbps ◆ 標準（SP） DVD 収録可能時間 約 2 時間／ VBR 平均 4.3Mbps ◆ 長時間（LP） DVD 収録可能時間 約 4 時間／ VBR 平均 2.2Mbps ◆ ぴったりサイズ 現在挿入されている空 DVD（何も記録されていないブランクディスク）、または挿入されている DVD の空き容量にぴったりのサイズになるように品質（VBR）を調整して書き込みます。 ※ 録画品質の調整（VBR）は 2.2Mbps ～ 8.5Mbps までの間で自動調整されます。 ※ DVD の空き容量によっては適応できない場合があります。 ※ 録画時間が 4 時間を超える番組に適応できません。 **VBR とは** Variable Bit Rate(可変ビットレート) の略で、音楽や映像などをデータに変換する際のエンコード方式のひとつです。数値は単位時間あたりのデータ量のことを指し、高いほど高品質になります。
DVD 作成開始 または BD 作成開始	ディスクの作成を開始します。

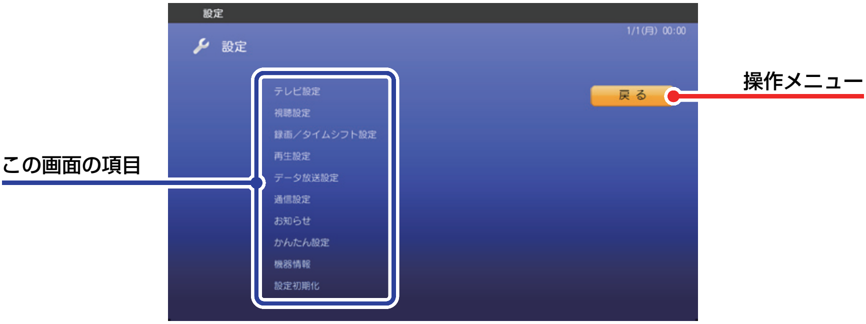
CHAPTER-9
各種設定

「StationTV」の設定

［設定］画面から「StationTV」の様々な設定を行うことができます。

設定の種類

［設定］画面は以下のように表示されます。



［設定］画面の項目	
テレビ設定	「地上デジタル放送」、「BS/CS デジタル放送」の基本的なテレビ設定を行うことができます。 ［テレビ設定］について詳しくは (P.140) をご参照ください。 ◆ 選択項目内容 ［地上デジタル］／［BS/CS］／［デジタル映像設定］／［デジタル音声設定］／［その他］
視聴設定	テレビの視聴に役立つ付属機能の設定を行うことができます。 ［視聴設定］について詳しくは（P.152）をご参照ください。 ◆ 選択項目内容 ［字幕／文字スーパー設定］／［暗証番号設定］／［視聴制限年齢設定］
録画／タイムシフト設定	「地上デジタル放送」、「BS/CS デジタル放送」各放送波の録画とタイムシフトに関する設定を行うことができます。 ［録画／タイムシフト設定］について詳しくは（P.157）をご参照ください。 ◆ 選択項目内容 ［地上デジタル／ BS ／ CS 設定］／［共通設定］
再生設定	録画番組を再生する際の設定を行うことができます。 ［再生設定］について詳しくは（P.160）をご参照ください。 ◆ 選択項目内容 ［再生スキップ設定］
データ放送設定	「データ放送」を利用するための設定を行うことができます。双方向サービスを利用する場合も、この設定が必要です。 ［データ放送設定］について詳しくは（P.161）をご参照ください。 ◆ 選択項目内容 ［郵便番号］／［データ放送地域設定］／［自動取得］／［収集中メッセージ］／［優先利用回線種別］／［セキュリティサイト自動接続］／［通信許可］

次ページへ

[設定] 画面の項目	
通信設定	双方向サービスなどを利用するための、通信に関する設定を行うことができます。 [通信設定] について詳しくは（P.162）をご参照ください。 ◆ 選択項目内容 [電話回線設定] ／ [インターネット接続設定(ダイヤルアップ)] ／ [インターネット接続設定（LAN）]
お知らせ	デジタル放送の放送信号とともに、送信される放送局からのお知らせを利用するための設定を行うことができます。 [お知らせ] について詳しくは（P.167）をご参照ください。 ◆ 選択項目内容 [放送メール] ／ [ボード] ／ [通信記録] ／ [メッセージ]
かんたん設定	初回起動時に実行した、「初回設定」をもう一度やり直すことができます。 [かんたん設定] について詳しくは（P.174）をご参照ください。
機器情報	ご使用中のパソコンに挿入されている「B-CAS カード」の情報と、「StationTV」などのバージョン情報を確認することができます。 [機器情報] について詳しくは（P.175）をご参照ください。 ◆ 選択項目内容 [B-CAS カード情報] ／ [バージョン情報]
設定初期化	「StationTV」の設定をすべて初期化して、出荷時の状態に戻します。 [設定初期化] について詳しくは（P.177）をご参照ください。

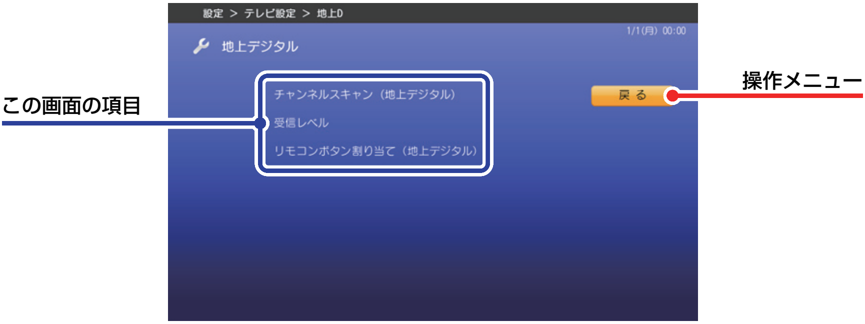
[設定] 画面の操作メニュー	
戻る	[トップメニュー] 画面に戻ります。

テレビ設定

テレビ設定では地上デジタル放送、BS デジタル放送、CS デジタル放送の視聴時の設定を行うことができます。

[地上デジタル] の設定

[地上デジタル] 画面は次のように表示されます。



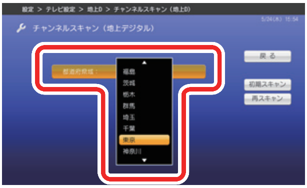
[地上デジタル] 画面の設定項目	
チャンネルスキャン（地上デジタル）	地上デジタル放送のチャンネルを再設定することができます。 この内容、手順について詳しくは『チャンネルスキャン（地上デジタル）』（P.141）をご参照ください。
受信レベル	地上デジタル放送の受信レベルをチェックします。 この内容、手順について詳しくは『受信レベル』（P.142）をご参照ください。
リモコンボタン割り当て（地上デジタル）	地上デジタル放送のチャンネルを、リモコンの [あ1 ~ 12] ボタンに割り当てることができます。 この内容、手順について詳しくは『リモコンボタン割り当て（地上デジタル）』（P.143）をご参照ください。

[地上デジタル] 画面の操作メニュー	
戻る	[テレビ設定] 画面に戻ります。

チャンネルスキャン（地上デジタル）

地上デジタル放送のチャンネルを自動スキャンします。

1. [都道府県域] を選択します



1. [都道府県域] を選択し、[決定] ボタンを押します。

➡ [都道府県域] の選択プルダウンメニューが表示されます。

2. ご利用の都道府県域を選択し、[決定] ボタンを押します。

➡ [都道府県域] が確定します。

2. チャンネルスキャンを開始します

[初期スキャン]、または [再スキャン] を選択し、[決定] ボタンを押します。

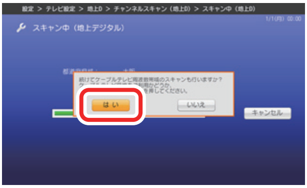
➡ [初期スキャン]、または [再スキャン] が開始されます。終了すると、ケーブルテレビ周波数帯域に関するメッセージが表示されます。

※ チャンネルスキャンには約 1 ～2 分かかります。また、チャンネルスキャン中にパソコンや「StationTV」を終了しないでください。

[初期スキャン] と [再スキャン] の違いについて

[初期スキャン] では、既存のチャンネルリストをクリアし、一からスキャンを行います。
[再スキャン] では、既存のチャンネルリストから、情報の更新や追加を行います。

3. 必要な場合、ケーブルテレビ周波数帯域のスキャンを行います

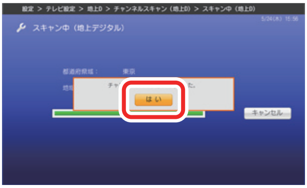


ケーブルテレビ回線でご利用の場合、またはご使用の回線の種類がわからない場合は [はい] を、ケーブルテレビ回線でご利用でない場合、[いいえ] が選択されている状態で [決定] ボタンを押します。

➡ [はい] の場合、ケーブルテレビ周波数帯域のスキャンが開始されます。終了すると、確認メッセージが表示されます。

➡ [いいえ] の場合、チャンネルスキャンが終了し、確認メッセージが表示されます。

4. メッセージを確認します



[はい] を選択して、[決定] ボタンを押します。

➡ チャンネルスキャンが終了し、[リモコンボタン割り当て（地上デジタル）] 画面が表示されます。

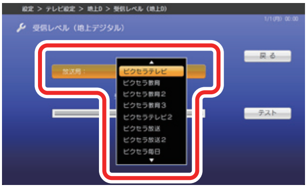
リモコンボタン割り当てについて詳しくは『リモコンボタン割り当て（地上デジタル）』（P.143）をご参照ください。

次ページへ

受信レベル

地上デジタル放送の各チャンネルの受信レベルのテストをします。

1. 受信レベルをテストするチャンネルを選択します



1. [放送局]を選択し、[決定]ボタンを押します。

➡ [放送局] の選択プルダウンメニューが表示されます。

2. 受信レベルをテストする放送局を選択し、[決定] ボタンを押します。

➡ [放送局] が確定します。

2. 受信レベルのテストを開始します

[テスト] を選択し、[決定] ボタンを押します。

➡ 受信レベルのテストが開始され、結果が表示されます。

受信中レベルの基準

テスト実行後、地上デジタル放送の受信中レベルが低いとき (目安として 60 以下) は、チューナーとアンテナの接続を点検し、アンテナの向きなどを調整してください。悪天候による場合もあります。

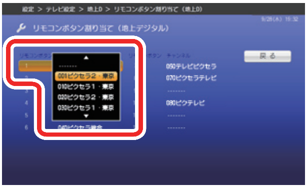
※ アンテナの調整方法は、ご使用になられているアンテナの取扱説明書をお読みいただくか、お近くの家電量販店などにお問い合わせください。

次ページへ

リモコンボタン割り当て（地上デジタル）

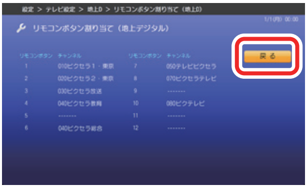
地上デジタル放送の各チャンネルをリモコンの選局ボタン [①~⑫] に自由に割り当てることができます。

1. リモコンボタンにチャンネルを割り当てます



1. 割り当てを変更するリモコンボタンを選択し、[決定] ボタンを押します。
   ➡ [チャンネル] の選択プルダウンメニューが表示されます。
2. 割り当てるチャンネルを選択し、[決定] ボタンを押します。
   ➡ 割り当てるチャンネルが確定します。
3. 上記の手順 1、2 を繰り返して、割り当てを変更するリモコンボタンをすべて設定します。
   ➡ リモコンボタンへの割り当てが確定します。

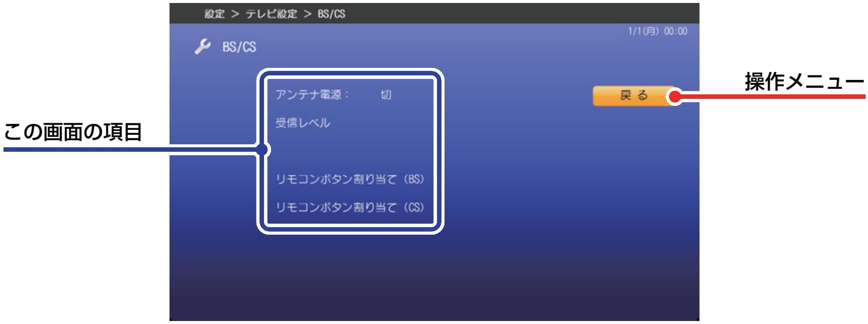
2. リモコンボタンの割り当てを更新します



1. [戻る] を選択し、[決定] ボタンを押します。
   ➡ 確認のメッセージが表示されます。
2. [はい] を選択し、[決定] ボタンを押します。
   ➡ 変更した割り当てに更新されます。

[BS/CS] の設定

[BS/CS] 画面は次のように表示されます。



[BS/CS] 画面の設定項目	
アンテナ電源	接続されている衛星アンテナへ電源を供給するかどうかを設定します。 ◆ 選択項目 [入] ／ [切]
受信レベル	BS ／ CS デジタル放送の受信レベルをチェックします。 この内容、手順について詳しくは『受信レベル』（P.145）をご参照ください。
リモコンボタン割り当て（BS）	BS デジタル放送のチャンネルを、リモコンの [1 ~ 12] ボタンに割り当てることができます。 この内容、手順について詳しくは『BS リモコンボタン割り当て』（P.146）をご参照ください。
リモコンボタン割り当て（CS）	CS デジタル放送のチャンネルを、リモコンの [1 ~ 12] ボタンに割り当てることができます。 この内容、手順について詳しくは『CS リモコンボタン割り当て』（P.147）をご参照ください。

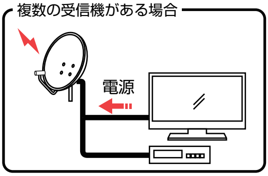
[BS/CS] 画面の操作メニュー	
戻る	[テレビ設定] 画面に戻ります。

次ページへ

アンテナ電源

接続されている衛星アンテナへの電源供給のオン / オフを設定します。

衛星アンテナへの電源供給とは？



一般に BS/CS アンテナの電源は、チューナーなどの受信機から電源を供給しています。BS/CS アンテナがご使用のパソコンにだけ接続されている場合は、パソコンから電源を供給する必要があります。マンションなどで共同の BS/CS アンテナをご使用になる場合や、他の受信機から電源供給している場合は、パソコンからの電源供給は不要です。

受信レベル

BS デジタル放送、CS デジタル放送の各チャンネルの受信レベルをチェックします。

1. 受信レベルをテストするチャンネルを選択します

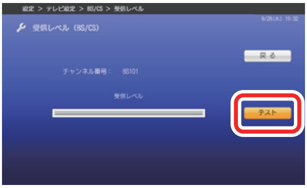
1. [放送局] を選択し、[決定] ボタンを押します。

➡ [放送局] の選択プルダウンメニューが表示されます。

2. 受信レベルをテストする放送局を選択し、[決定] ボタンを押します。

➡ [放送局] が確定します。

2. 受信レベルのテストを開始します



[テスト] を選択し、[決定] ボタンを押します。

➡ 受信レベルのテストが開始され、結果が表示されます。

受信中レベルの基準

テスト実行後、BS ／ CS デジタル放送の受信中レベルが低いとき (目安として 60 以下) は、チューナーとアンテナの接続を点検し、アンテナの向きなどを調整してください。悪天候による場合もあります。

※ アンテナの調整方法は、ご使用になられているアンテナの取扱説明書をお読みいただくか、お近くの家電量販店などにお問い合わせください。

次ページへ

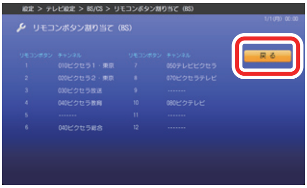
BS リモコンボタン割り当て

BS デジタル放送の各チャンネルをリモコンの [あ1 ~ 12] ボタンに割り当てます。

1. リモコンボタンにチャンネルを割り当てます

1. 割り当てを変更するリモコンボタンを選択し、[決定] ボタンを押します。
   ➡ [チャンネル] の選択プルダウンメニューが表示されます。
2. 割り当てるチャンネルを選択し、[決定] ボタンを押します。
   ➡ 割り当てるチャンネルが確定します。
3. 上記の手順 1,2 を繰り返して、割り当てを変更するリモコンボタンをすべて設定します。
   ➡ リモコンボタンへの割り当てが確定します。

2. リモコンボタンの割り当てを更新します



1. [戻る] を選択し、[決定] ボタンを押します。
   ➡ 確認のメッセージが表示されます。
2. [はい] を選択し、[決定] ボタンを押します。
   ➡ 変更した割り当てに更新されます。

次ページへ

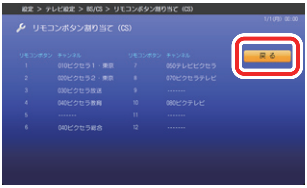
CS リモコンボタン割り当て

CS デジタル放送の各チャンネルをリモコンの [あ1 ~ 12] ボタンに割り当てます。

1. リモコンボタンにチャンネルを割り当てます

1. 割り当てを変更するリモコンボタンを選択し、[決定] ボタンを押します。
   ➡ [チャンネル] の選択プルダウンメニューが表示されます。
2. 割り当てるチャンネルを選択し、[決定] ボタンを押します。
   ➡ 割り当てるチャンネルが確定します。
3. 上記の手順 1,2 を繰り返して、割り当てを変更するリモコンボタンをすべて設定します。
   ➡ リモコンボタンへの割り当てが確定します。

2. リモコンボタンの割り当てを更新します



1. [戻る] を選択し、[決定] ボタンを押します。
   ➡ 確認のメッセージが表示されます。
2. [はい] を選択し、[決定] ボタンを押します。
   ➡ 変更した割り当てに更新されます。

[デジタル映像設定] の設定

デジタル放送の映像を、ご利用のディスプレイなどの環境にあわせて設定することができます。

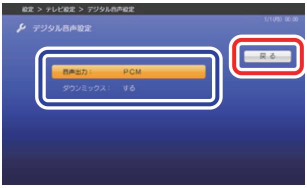
[デジタル映像設定] 画面の設定項目

映像補正設定	「インターレース」を除去するかどうかを設定します。 [オン] に設定するとインターレースを除去し、[オフ] に設定すると放送されている表示方式（インターレース方式）のまま表示します。 一般的にテレビ放送のような動画を表示するには、インターレース方式の方が滑らかに表示されますが、パソコンのディスプレイは静止画を表示することに特化していることが多いため、パソコンでテレビ放送を表示する場合は、インターレースを除去した方が鮮明に表示されます。 ※ご使用のディスプレイによって効果は異なります。 ◆ 選択項目 [オン] ／ [オフ] インターレース方式･プログレッシブ方式について詳しくは『用語集』（P.180）をご参照ください。

[デジタル映像設定] 画面の操作メニュー

戻る	[テレビ設定] 画面に戻ります。

[デジタル音声設定] の設定



デジタル放送の音声を、ご利用のスピーカーなどの環境にあわせて、設定することができます。

[デジタル音声設定] 画面の設定項目	
音声出力	出力する音声方式を選択します。 ◆ 選択項目 [PCM] ／ [AAC] PCM、AAC について詳しくは『用語集』（P.180）をご参照ください。
ダウンミックス	音声出力設定で [PCM] を選択したとき、5.1 チャンネル音声などのマルチ音声を、2 チャンネル音声に混同（ダウンミックス）するかどうかを設定します。 ◆ 選択項目 [する] ／ [しない]

[デジタル音声設定] 画面の操作メニュー	
戻る	[テレビ設定] 画面に戻ります。

デジタル音声設定について

[音声出力] を [AAC] に設定する際は、必ず光デジタルオーディオ出力端子に対応 AV アンプを接続してください。[AAC] 設定時には下記の制限があります。

- パソコン本体のスピーカーや、ヘッドホン端子、アナログオーディオ出力端子からはデジタル放送の音声は出力されません。光デジタルオーディオ端子からのみ出力されます。
- データ放送受信時のクリック音や Windows Media Player など、他のアプリケーションから出力する音声は光デジタルオーディオ端子から出力されません。視聴しているデジタル放送の音声のみ出力されます。
- 「StationTV」を終了すると、自動的に他のアプリケーションの音声出力は [PCM] 方式で出力されます。

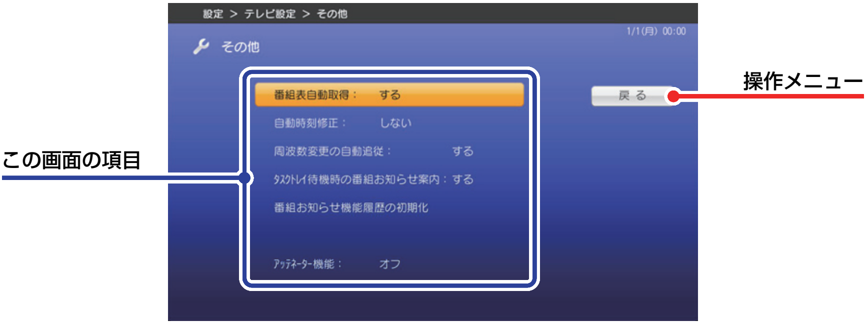
音声出力・ダウンミックス設定について

[音声出力]、[ダウンミックス] の設定は変更直後には反映されません。反映させるには下記の操作を行ってください。

- アプリケーションをタスクトレイからフルスクリーンへ移行する。
- 録画ファイル再生を開始する。
- 「ライブ」状態と「タイムシフト」状態を切り換える。

[その他] の設定

[テレビ設定] のその他の細かい機能を設定します。



[その他] 画面の設定項目	
番組表 自動取得	デジタル放送の番組表を取得するかどうかを設定します。 **デジタル放送の番組表** [番組表自動取得] を [する] に設定すると、待機モードへ移行直後と、毎日午前 6 時（待機モード中）にデジタル放送の全放送局の番組表（デジタル放送）を自動取得します。 ※ 午前 6 時にパソコンが起動していない場合、または「StationTV」が終了している場合、自動取得が実行されません。 [しない] に設定すると自動取得しません。 また、この設定とは関係なく、地上デジタル放送では視聴中の放送局の番組情報、BS ／ CS デジタル放送では視聴している放送波の全放送局の番組情報が自動取得されます。 ◆ 選択項目 [する] ／ [しない]
自動時刻修正	「StationTV」の時刻調整を自動で行うかどうかを設定します。 ※「StationTV」がデジタル放送を受信できる環境でないと動作しません。 ※「StationTV」の時刻がずれていると、予約録画に影響が出る場合があります。自動時刻修正を [する] に設定してください。 ◆ 選択項目 [する] ／ [しない]
周波数変更の 自動追従	チャンネルや放送局が開局されたとき、自動的に「StationTV」に反映するかどうかを設定します。 ◆ 選択項目 [する] ／ [しない]
タスクトレイ待機時の 番組お知らせ案内	「StationTV」が待機モード状態のとき、いつも視聴している番組の開始等の案内を表示するかどうかを設定します。 ◆ 選択項目 [する] ／ [しない]
番組お知らせ機能履歴 の初期化	番組お知らせ機能のために、記録していた視聴履歴データを初期化します。[番組お知らせ機能履歴の初期化] を選択して、[決定] ボタンを押すとメッセージが表示され、履歴が初期化されます。

次ページへ

[その他] 画面の設定項目	
アッテネーター機能	受信レベルの強すぎる電波に対して、故意に感度を落として取り込み、音声や映像のノイズを軽減します。 ※この機能は、パソコンの機種によってご使用できない場合があります。 ◆ 選択項目 [オン] ／ [オフ]

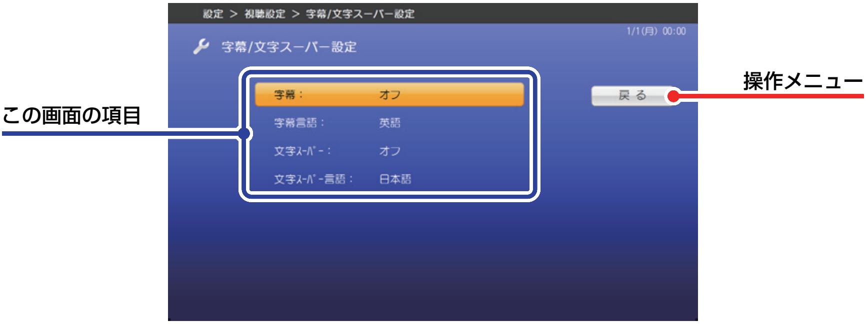
[その他] 画面の操作メニュー	
戻る	[テレビ設定] 画面に戻ります。

視聴設定

視聴設定では地上デジタル放送視聴時の字幕／文字スーパーの設定を行うことができます。

[字幕／文字スーパー設定] の設定

[字幕／文字スーパー設定] 画面は次のように表示されます。



[字幕／文字スーパー設定] 画面の設定項目	
字幕	字幕の表示を有効にして起動するか、無効にして起動するかを設定します。 ◆ 選択項目 [オン] ／ [オフ]
字幕言語	字幕の言語を設定します。 ◆ 選択項目 [日本語] ／ [英語]
文字スーパー	文字スーパーの表示を有効にして起動するか、無効にして起動するかを設定します。 ◆ 選択項目 [オン] ／ [オフ]
文字スーパー 言語	文字スーパーの言語を設定します。 ◆ 選択項目 [日本語] ／ [英語]

[字幕／文字スーパー設定] 画面の操作メニュー	
戻る	[視聴設定] 画面に戻ります。

字幕／文字スーパーについてのご注意

- 字幕や文字スーパーは、設定をオフにしていても、番組によっては自動的に表示される場合があります。
- 視聴や録画を行う番組が [字幕言語] ／ [文字スーパー言語] で選択した言語に対応していない場合、もう一方の言語で字幕／文字スーパーが表示されます。例えば [英語] を選択した場合でも、番組が日本語の字幕にのみ対応している場合は、日本語の字幕が表示されます。

次ページへ

[暗証番号設定] の設定

[視聴制限年齢設定] の変更や、設定の初期化をする際に、暗証番号が必要になります。
ここでは暗証番号の設定、変更、クリアを行うことができます。

暗証番号を設定する場合

初めて暗証番号を設定するとき、クリアした暗証番号を再度設定するとき、[暗証番号設定] 画面は左のように表示されます。

[暗証番号設定] の設定項目	
暗証番号入力	設定したい暗証番号を入力します。
暗証番号入力（確認）	確認のため、[暗証番号] で入力した番号を再度入力します。

[暗証番号設定] 画面の操作メニュー	
戻る	[視聴設定] 画面に戻ります。
確定	設定した番号を確定します。

暗証番号の設定をします

1. [暗証番号入力] を選択し、[決定] ボタンを押します。
   ➡ 暗証番号入力欄が表示されます。
2. [0 ~ 9] ボタンで暗証番号に設定する番号を入力します。
3. [決定] ボタンを押します。
4. [暗証番号入力（確認）] を選択し、[決定] ボタンを押します。
   ➡ 確認用の暗証番号入力欄が表示されます。
5. 確認のため、手順 2 で入力した番号をもう一度入力します。
6. [確定] を選択し、[決定] ボタンを押します。
   ➡ 暗証番号が確定し、[視聴設定] 画面が表示されます。

次ページへ

暗証番号がすでに設定してある場合

暗証番号がすでに設定してある場合、[暗証番号クリア] 画面は左のように表示されます。ここでは、暗証番号の変更、クリアをすることができます。

[暗証番号設定] 画面の設定項目	
暗証番号入力	設定したい暗証番号を入力します。
暗証番号入力（確認）	確認のため、[暗証番号] で入力した番号を再度入力します。

[暗証番号設定] 画面の操作メニュー	
戻る	[視聴設定] 画面に戻ります。
暗証番号変更	暗証番号を変更します。 暗証番号を変更するには [暗証番号入力]、[暗証番号入力（確認）] を入力する必要があります。
暗証番号クリア	暗証番号をクリアします。 [暗証番号入力]、[暗証番号入力（確認）] を入力する必要はありません。

ご注意

[暗証番号クリア] 画面の表示前に暗証番号の入力を求める画面が表示されます。暗証番号を入力し、[暗証番号クリア] 画面を表示してください。

詳しい手順は『暗証番号を変更する』（P.155）、『暗証番号をクリアする』（P.155）をご参照ください。

次ページへ

◆ 暗証番号を変更する

暗証番号を変更します

1. [暗証番号入力] を選択し、[決定] ボタンを押します。

➡ 暗証番号入力欄が表示されます。

2. [0 ～ 9] ボタンで暗証番号に設定する番号を入力します。

3. [決定] ボタンを押します。

4. [暗証番号入力（確認）] を選択し、[決定] ボタンを押します。

➡ 確認用の暗証番号入力欄が表示されます。

5. 確認のため、手順 2 で入力した番号をもう一度入力します。

6. [暗証番号変更] を選択し、[決定] ボタンを押します。

➡ 暗証番号が変更され、[視聴設定] 画面が表示されます。

◆ 暗証番号をクリアする

暗証番号をクリアします

[暗証番号クリア] を選択し、[決定] ボタンを押します。

※ [暗証番号入力]、[暗証番号入力（確認）] を入力する必要はありません。

➡ 暗証番号がクリアされ、[視聴設定] 画面が表示されます。

[視聴制限年齢設定] の設定

デジタル放送では、視聴することができる年齢を制限している番組があります。この番組の視聴を制限するデジタル放送の機能を「視聴制限」といい、「StationTV」では、視聴できる年齢を設定することができます。

ポイント

お子様が年齢制限のある番組を見られないように設定するときは、お子様の年齢を設定してください。例えば [視聴可能年齢] を 10 才に設定すると、年齢制限が 11 才以上に設定されている番組では視聴が制限されます。

1. 暗証番号を入力します

1. [暗証番号入力] を選択し、[決定] ボタンを押します。
   - ➡ 暗証番号入力欄が表示されます。
2. [0 ~ 9] ボタンで暗証番号を入力します。
3. [決定] ボタンを押します。
4. [確定] を選択し、[決定] ボタンを押します。
   - ➡ 暗証番号が正しければ、[視聴制限年齢設定] 画面が表示されます。

ご注意

暗証番号が未設定、またはクリアされた状態の場合は [暗証番号未設定] 画面が表示されます。
視聴制限年齢設定を行う場合は、先に暗証番号を設定してください。

暗証番号の設定について詳しくは『[暗証番号設定] の設定』(P.153) をご参照ください。

2. 視聴制限年齢を設定します

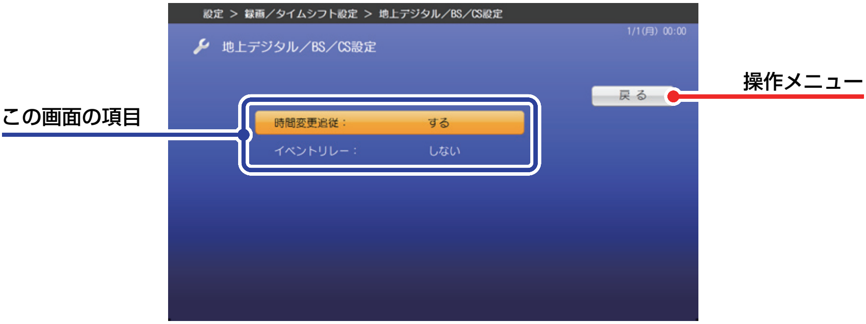
1. [年齢制限設定] を選択し、[決定] ボタンを押します。
   - ➡ 選択プルダウンメニューが表示されます。
2. 視聴を制限する年齢を選択し、[決定] ボタンを押します。

録画／タイムシフト設定

録画／タイムシフト設定では地上デジタル放送、BS デジタル放送、CS デジタル放送の録画時の設定を行うことができます。

[地上デジタル／ BS ／ CS 設定] の設定

「地上デジタル／ BS ／ CS 設定」の画面は次のように表示されます。

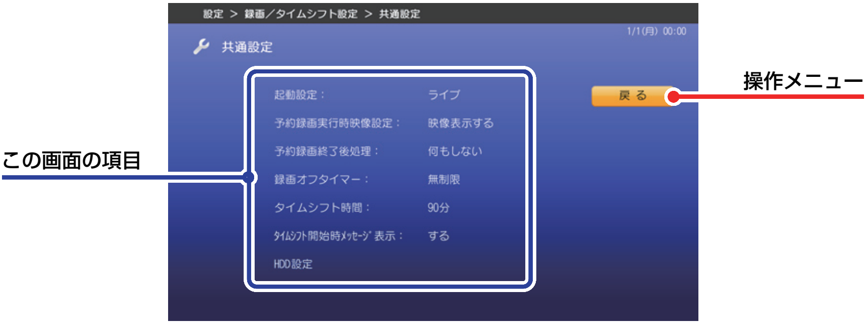


[地上デジタル設定／ BS ／ CS] 画面の設定項目	
時間変更追従	放送時間が変更された場合、録画開始時間を自動的に変更するかどうかを選択します。 ◆ 選択項目 [する] ／ [しない]
イベントリレー	番組がイベントリレーされたときに、録画を継続するかどうかを選択します。 ◆ 選択項目 [する] ／ [しない]

[地上デジタル設定／ BS ／ CS] 画面の操作メニュー	
戻る	[録画／タイムシフト設定] 画面に戻ります。

[共通設定] の設定

「共通設定」の画面は次のように表示されます。



[共通設定] 画面の設定項目	
起動設定	「StationTV」起動時の視聴状態（ライブ状態／タイムシフト状態）を設定します。 視聴状態について詳しくは『「ライブ」状態と「タイムシフト」状態を切り換える』（P.75）をご参照ください。 ◆ 選択項目 [ライブ] ／ [タイムシフト]
予約録画実行時映像設定	予約録画のとき、映像 (ビューア) を表示するかどうかを設定します。 ※ 機種によっては設定できない場合があります。 ◆ 選択項目 [映像表示する] ／ [映像表示しない]
予約録画終了後処理	予約録画が終了した後の「StationTV」の処理を設定します。 ※ 機種によっては設定できない場合があります。 ◆ 選択項目 [何もしない] ／ [待機モード]
録画オフタイマー	一度に録画（通常の録画・タイムシフト録画）できる時間の上限を設定します。 ◆ 選択項目 [無制限] ／ [15 分] ／ [30 分] ／ [45 分] ／ [1 時間] ／ [1 時間 30 分] ／ [2 時間] ／ [3 時間] ／ [6 時間] **[無制限] 設定について** [録画オフタイマー] を [無制限] に設定した場合、保存先 HDD の残り容量が 5GB になるか、録画開始から 24 時間まで録画できます。
タイムシフト時間	タイムシフトが有効のとき（[起動設定] が [タイムシフト]）に、さかのぼれる最大時間を設定します。 ◆ 選択項目 [5 分] ／ [10 分] ／ [30 分] ／ [60 分] ／ [90 分] **ご注意** タイムシフト時間を長く設定するほど、大きな空き容量が必要となります。
タイムシフト開始時メッセージ表示	タイムシフトを開始する際のダイアログメッセージを表示するかどうかを選択します。 ◆ 選択項目 [する] ／ [しない]

次ページへ

[共通設定] 画面の設定項目	
HDD 設定	録画番組の保存先として使う、パソコンのハードディスクの割り振りや優先順位を設定します。 この内容、手順について詳しくは『HDD 設定』（このページ）をご参照ください。

[共通設定] 画面の操作メニュー	
戻る	[録画／タイムシフト設定] 画面に戻ります。

HDD 設定

録画番組を保存するハードディスクを設定できます。また、複数のハードディスクドライブが内蔵、または接続されている場合は、使用する優先順位を設定することができます。録画中に設定したハードディスクドライブ空き容量がなくなれば、設定した優先順位で保存先ハードディスクが切り換わります

[HDD 設定] 画面の設定項目	
お任せ HDD 設定	内蔵されているハードディスクドライブの中で、設定時に一番空き容量が大きいものから順番に使用します。
各ドライブ （C ドライブなど）	認識された各ハードディスクに、使用する優先順位を付けることができます。 ※内蔵されているハードディスクドライブが、空き容量順に画面に表示されます。 ◆ 選択項目 [優先＊で使用] ／ [使用しない] ※＊は認識されたハードディスクの数に合わせて表示されます。

[HDD 設定] 画面の操作メニュー	
戻る	[共通設定] 画面に戻ります。

HDD 設定についてのご注意

- 外付けハードディスクドライブは使用できません。
- パーティションで分けられたハードディスクドライブは、各パーティションを別ハードディスクドライブとして認識します。

再生設定

録画番組を再生する際の設定を行うことができます。

[再生設定] の設定

[再生設定] の画面は次のように表示されます。

[再生設定] 画面の設定項目	
再生スキップ設定	録画番組の再生中や、タイムシフト中にスキップボタンを押したときのスキップ秒数を設定します。 ◆ 選択項目 [5秒]／[10秒]／[15秒]／[30秒]／[45秒]／[60秒]／[90秒]／[120秒]

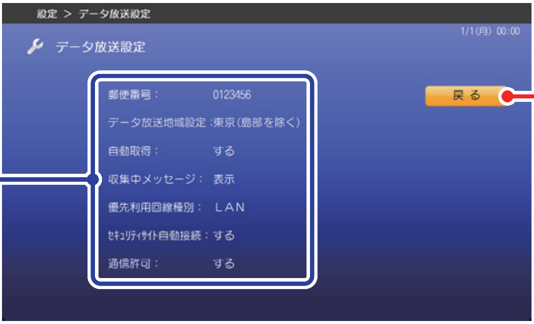
[再生設定] 画面の操作メニュー	
戻る	[設定] 画面に戻ります。

データ放送設定

データ放送を利用するための設定を行います。都道府県域を設定すると、データ放送で提供されている天気予報などで地域別のデータを表示することができます。

[データ放送設定] の設定

[データ放送設定] の画面は次のように表示されます。



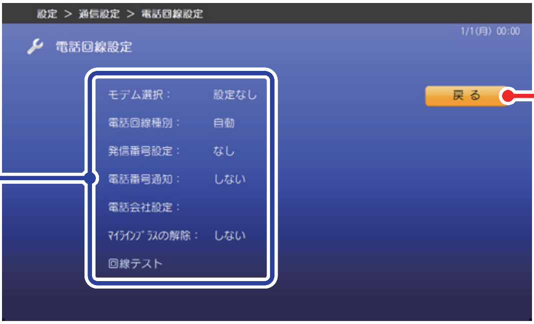
[データ放送設定] 画面の設定項目	
郵便番号	独立型データ放送を利用するには、ご利用になっている地域の郵便番号を設定する必要があります。 ※事業所の個別郵便番号は使用できません。 独立型データ放送について詳しくは『データ放送を見る』(P.83)をご参照ください。
データ放送地域設定	独立型データ放送を利用するには、ご利用になっている地域を設定する必要があります。 独立型データ放送について詳しくは『データ放送を見る』(P.83)をご参照ください。
自動取得	テレビ放送視聴時にデータ放送情報を自動で取得するかどうかを設定します。 自動取得を [しない] に設定した場合でも、[連動データ d] を押すとデータ放送のダウンロードが始まり、もう一度押すとデータ放送が表示されます。この操作は番組によって異なる場合があります。 ◆ 選択項目 [する] ／ [しない]
収集中メッセージ	データ放送をダウンロードする際にビューア上に表示するかどうかを設定します。 ◆ 選択項目 [表示] ／ [非表示]
優先利用回線種別	ご利用のパソコンのインターネットへの接続種別を設定します。 ◆ 選択項目 [LAN] ／ [電話回線]
セキュリティサイト自動接続	セキュリティサイトに自動で接続するかどうかを設定します。 ◆ 選択項目 [する] ／ [しない]
通信許可	双方向通信に通信を許可するかどうかを設定します。 ◆ 選択項目 [する] ／ [しない]

[データ放送設定] 画面の操作メニュー	
戻る	[設定] 画面に戻ります。

通信設定

[電話回線設定] の設定

「StationTV」は双方向サービスなどを利用するために、電話回線を使用します。これらのサービスを利用する場合、以下の設定が必要です。
現在使用されている電話回線の契約状況をご確認いただき、契約状況にあわせて設定してください。
[電話回線設定] の画面は次のように表示されます。



[電話回線設定] 画面の設定項目	
モデム選択	使用するモデムを選択します。 独立型データ放送について詳しくは『データ放送を見る』（P.83）をご参照ください。
電話回線種別	電話回線の種類を選択します。 ◆ 選択項目 [自動] ／ [トーン] ／ [10pps] ／ [20pps] **回線種別** ● [自動] 「StationTV」が自動的に回線種別を識別して設定を行います。 ※ お使いの電話回線状況によってはうまく動作しない場合がありますので、下記の設定をお試しください。 ● [トーン] お使いの電話回線がプッシュホン回線の場合はこの設定を選択してください。 ● [10pps] ／ [20pps] お使いの電話回線がダイヤル回線の場合はこの設定を選択してください。
発信番号設定	接続に使用する電話で外線電話をかけるときの設定を選択します。 ◆ 選択項目 [なし] ／ [0 発信] ／ [9 発信] **発信番号設定** ● [なし] 外線電話をかけるときに、特に設定がない場合この設定を選択してください。 ● [0 発信] ／ [9 発信] 外線電話をかけるときに、「0」または「9」から発信する設定がある場合、この設定を選択してください。

次ページへ

[電話回線設定] 画面の設定項目	
電話番号通知	接続先に電話番号を通知するかどうかを選択します。 ◆ 選択項目 [する] ／ [しない] **電話番号通知** • [する] 番号を通知して発信します (186 発信) • [しない] 番号を非通知にして発信します (184 発信)
電話会社設定	接続に使用する通信事業者を選択する場合に識別番号を入力します。特定の通信事業者を選択しない場合は設定不要です。
マイラインプラスの解除	接続するときにマイラインプラスを解除するかどうかを設定します。 マイラインプラスを契約していない場合は設定不要です。 ◆ 選択項目 [する] ／ [しない]
回線テスト	モデムが正常に動作しているかチェックします。

[電話回線設定] 画面の操作メニュー	
戻る	[通信設定] 画面に戻ります。

回線テスト

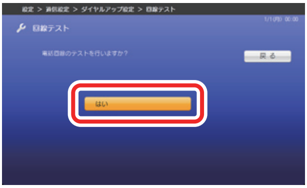
モデムが正常に動作しているかチェックします。

ご注意

このテストは、モデムが正常に動作しているかをチェックするもので、電話回線の通信状態をチェックするものではありません。テスト結果が「電話回線のテストが成功しました」であっても、データ通信が行えない場合があります。この場合、[電話回線設定] のすべての項目が正しく設定されているかご確認ください。

※ なお、ISDN 接続されている場合、「電話回線テスト」は失敗します。

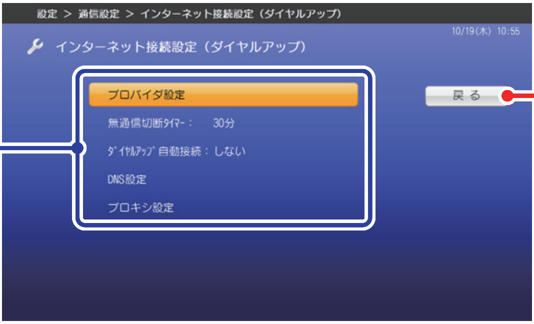
電話回線のテストを実行します



1. [はい] を選択し、[決定] ボタンを押します。
   ➡ 回線テストが開始され、結果がダイアログメッセージで表示されます。
2. [決定] ボタンを押します。
   ➡ 回線テストが終了し、元の画面に戻ります。

[インターネット接続設定（ダイヤルアップ）] の設定

「StationTV」はセキュリティサイトへの接続にインターネットを使用します。
ご利用のパソコンがインターネットへダイヤルアップで接続している場合、以下の設定が必要です。
「インターネット接続設定（ダイヤルアップ）」の画面は次のように表示されます。



この画面の項目

操作メニュー

[インターネット接続設定（ダイヤルアップ）] 画面の設定項目	
プロバイダ設定	ご利用のプロバイダのインターネット接続設定を入力します。 ※設定に必要な情報がわからない場合は、プロバイダへお問い合わせください。 **プロバイダ設定** [プロバイダ設定] 画面で以下の項目を設定してください。 • アクセスポイント • ユーザ ID • パスワード
無通信切断タイマー	接続中にアクセスがない状態がつづいた場合、自動で接続を切断する時間を設定します。 ◆ 選択項目 [なし] ／ [1 分] ／ [5 分] ／ [10 分] ／ [30 分]
ダイヤルアップ自動接続	インターネット接続が必要になったとき、確認メッセージを表示せずに、自動で接続するかどうかを設定します。 [しない] に設定した場合は、インターネット接続が必要になった際に確認メッセージを表示します。 ◆ 選択項目 [する] ／ [しない]
DNS 設定	ご利用のプロバイダの接続設定情報を入力します。 ※設定に必要な情報がわからない場合は、プロバイダへお問い合わせください。 **DNS 設定** [DNS 設定] 画面で以下の項目を設定してください。 • DNS　IP アドレス（プライマリ） • DNS　IP アドレス（セカンダリ）

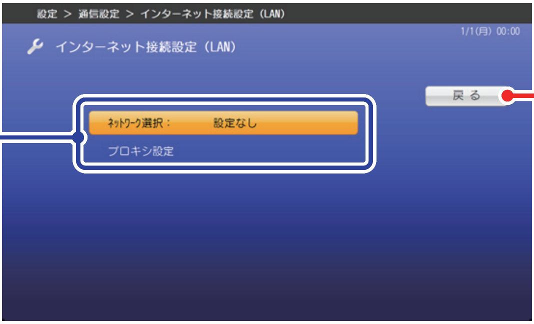
次ページへ

[インターネット接続設定（ダイヤルアップ）] 画面の設定項目	
プロキシ設定	プロキシサーバ経由でインターネットに接続する場合は、プロキシサーバのホスト名とポート番号を [0 ~ 9] ボタン、またはキーボードのテンキーで入力します。プロキシサーバを経由しない場合は、空欄でかまいません。 ※ 設定に必要な情報がわからない場合は、プロバイダへお問い合わせください。 **プロキシ設定** [プロキシ設定] 画面で以下の項目を設定してください。 ● プロキシサーバーホスト名 ● プロキシサーバーポート番号

[インターネット接続設定（ダイヤルアップ）] 画面の操作メニュー	
戻る	[通信設定] 画面に戻ります。

[インターネット接続設定（LAN）] の設定

「StationTV」はセキュリティサイトへの接続にインターネットを使用します。
ご利用のパソコンがインターネットへ LAN で接続している場合、以下の設定が必要です。
「インターネット接続設定（LAN)」の画面は次のように表示されます。



この画面の項目

操作メニュー

[インターネット接続設定（LAN）] 画面の設定項目	
ネットワーク選択	ご使用中のパソコンで、利用できるネットワークが表示されます。表示されたネットワーク名の中から「StationTV」で使用するネットワークを選択します。 ◆ 選択項目 [設定なし] ／ [※その他利用できるネットワークが表示されます。]
プロキシ設定	プロキシサーバ経由でインターネットに接続する場合は、プロキシサーバのホスト名とポート番号を [0 ~ 9] ボタン、またはキーボードのテンキーで入力します。 プロキシサーバを経由しない場合は、空欄でかまいません。 ※設定に必要な情報がわからない場合は、プロバイダへお問い合わせください。 **プロキシ設定** [プロキシ設定] 画面で以下の項目を設定してください。 • プロキシサーバーホスト名 • プロキシサーバーポート番号

[インターネット接続設定（LAN）] 画面の操作メニュー	
戻る	[通信設定] 画面に戻ります。

お知らせ

デジタル放送では放送信号とともに、放送局のお知らせや、新しいチャンネルの開局のお知らせなどが送られてきます。

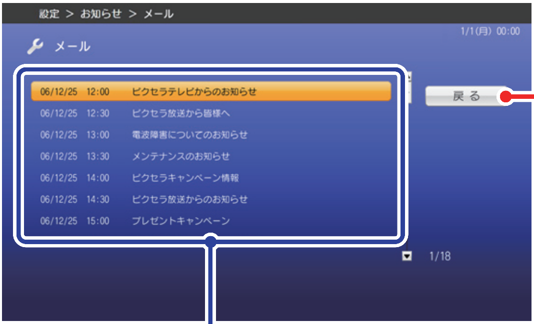
放送メールを見る

地上デジタル放送局や BS デジタル放送局などから送信されるメール形式のお知らせです。メールがいっぱいになると、古いものから削除されます。

※ 保存できるメールの最大件数は BS・CS1・CS2 合わせて２４件、地上デジタルは７件の合計３１件です。

[放送メール一覧] の画面

「放送メール一覧」の画面は次のように表示されます。



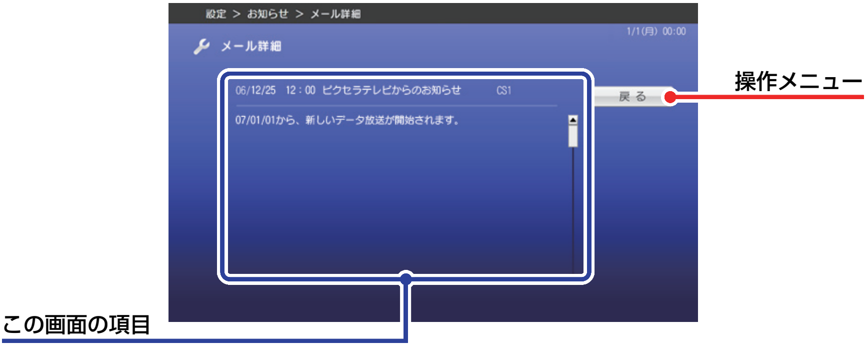
[放送メール一覧] 画面の項目	
受信日時	放送メールを受信した日時です。
タイトル	放送メールのタイトルです。 お知らせを選択して、[決定] ボタンを押すと、[放送メール詳細] 画面が表示され、内容を読むことができます。

[放送メール一覧] 画面の操作メニュー	
戻る	[お知らせ] 画面に戻ります。

次ページへ

[放送メール詳細] の画面

「放送メール詳細」の画面は次のように表示されます。



[放送メール詳細] 画面の項目	
受信日時	放送メールを受信した日時です。
タイトル	放送メールのタイトルです。
放送波	どこの放送波に関する放送メールか表示します。
本文	メール本文です。スクロールバーでスクロールできます。

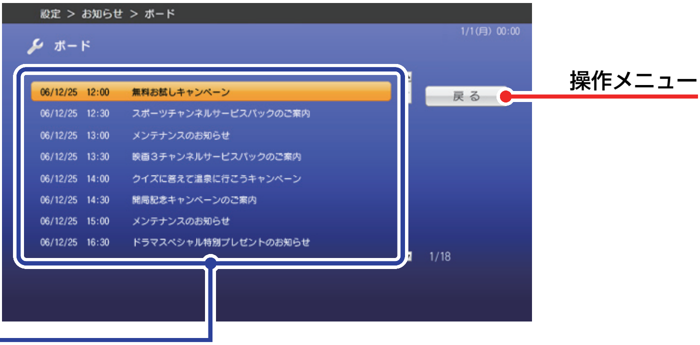
[放送メール詳細] 画面の操作メニュー	
戻る	[放送メール一覧] 画面に戻ります。
スクロールバー	スクロールバーは、方向ボタン [ ] で移動し、スクロールバーが選択された状態で [決定] ボタンを押し、青色に変わると [ ] でスクロールできます。また、再度 [決定] ボタンを押すことで、スクロール操作を解除できます。

ボードを見る

１１０度 CS デジタル放送局が、視聴者の方へお知らせを掲載している電子掲示板です。掲載、削除は放送局が行います。

[ボード一覧] の画面

「ボード一覧」の画面は次のように表示されます。



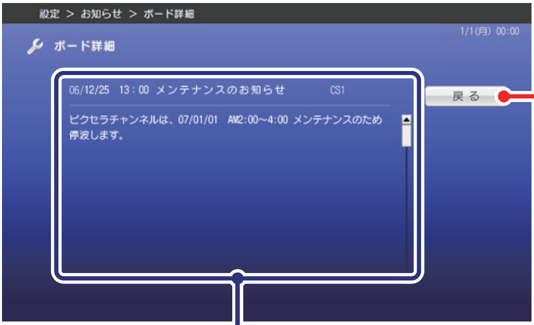
[ボード一覧] 画面の項目	
受信日時	お知らせがボードに掲載された日時です。
タイトル	ボードに掲載されているお知らせのタイトルが一覧表示されます。 タイトルを選択すると、内容を読むことができます。お知らせを選択して、[決定] ボタンを押すと、[ボード詳細] 画面が表示され、内容を読むことができます。

[ボード一覧] 画面の操作メニュー	
戻る	[お知らせ] 画面に戻ります。

次ページへ

[ボード詳細] の画面

「ボード詳細」の画面は次のように表示されます。



[ボード詳細] 画面の項目	
受信日時	お知らせがボードに掲載された日時です。
タイトル	お知らせのタイトルです。
放送波	どこの放送波に関するお知らせか表示します。
本文	お知らせの本文です。スクロールバーでスクロールできます。

[ボード詳細] 画面の操作メニュー	
戻る	[ボード一覧] 画面に戻ります。
スクロールバー	スクロールバーは、方向ボタン [ ] で移動し、スクロールバーが選択された状態で [決定] ボタンを押し、青色に変わると [ ] でスクロールできます。また、再度 [決定] ボタンを押すことで、スクロール操作を解除できます。

通信の記録を確認する

双方向サービスなどで、インターネットや電話回線を使用したときの、通信の記録が確認できます。
通信記録が 50 件を超えると、古いものから削除されます。

[通信記録一覧] の画面

「通信記録一覧」の画面は次のように表示されます。

操作メニュー

この画面の項目

[通信記録一覧] 画面の項目	
通信時刻	通信を開始した時刻です。
電話番号	通信相手の電話番号です。
エラーコード	通信にエラーが発生した場合、エラーコードが表示されます。

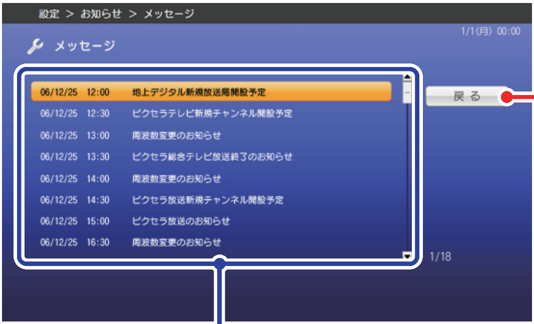
[通信記録一覧] 画面の操作メニュー	
戻る	[お知らせ] 画面に戻ります。
スクロールバー	スクロールバーは、方向ボタン [ ] で移動し、スクロールバーが選択された状態で [決定] ボタンを押し、青色に変わると [ ] でスクロールできます。また、再度 [決定] ボタンを押すことで、スクロール操作を解除できます。

メッセージを見る

新しいチャンネルの開局などの情報を、受信機がお知らせするメッセージです。メッセージが 50 件を超えると古いものから削除されます。

[メッセージ一覧] の画面

「メッセージ一覧」の画面は次のように表示されます。



操作メニュー

この画面の項目

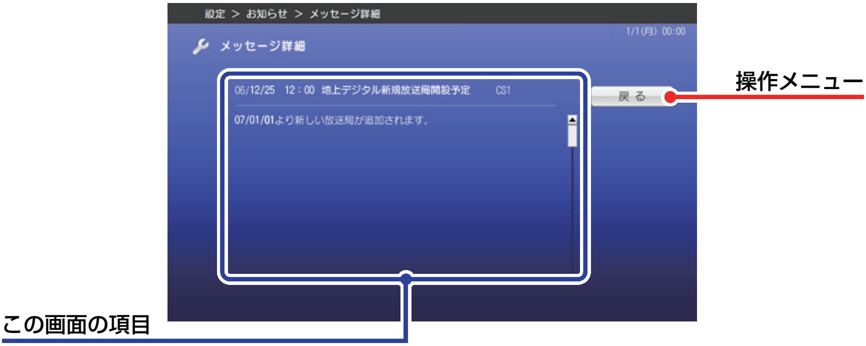
[メッセージ一覧] 画面の項目	
受信日時	メッセージを受信した日時です。
タイトル	メッセージのタイトルです。 タイトルを選択すると、内容を読むことができます。お知らせを選択して、[決定] ボタンを押すと、[メッセージ詳細] 画面が表示され、内容を読むことができます。

[メッセージ一覧] 画面の操作メニュー	
戻る	[お知らせ] 画面に戻ります。

次ページへ

[メッセージ詳細] の画面

「メッセージ詳細」の画面は次のように表示されます。



[メッセージ詳細] 画面の項目	
受信日時	メッセージを受信した日時です。
タイトル	メッセージのタイトルです。
放送波	どこの放送波に関するメッセージか表示します。
本文	メッセージの本文です。スクロールバーでスクロールできます。

[メッセージ詳細] 画面の操作メニュー	
戻る	[メッセージ一覧] 画面に戻ります。
スクロールバー	スクロールバーは、方向ボタン [ ] で移動し、スクロールバーが選択された状態で [決定] ボタンを押し、青色に変わると [ ] でスクロールできます。また、再度 [決定] ボタンを押すことで、スクロール操作を解除できます。

かんたん設定

「StationTV」の初回起動時に行った「初回設定」を最初からやり直すことができます。

「かんたん設定」で設定を修正する

「かんたん設定」の画面は次のように表示されます。

[かんたん設定] 画面の項目	
各種設定	「StationTV」をお使いいただくため各種設定を順番に行います。 内容については『簡単設定の内容』（下記）をご参照ください。

[かんたん設定] 画面の操作メニュー	
戻る	[トップメニュー] 画面に戻ります。 ※ 1～1 1の各設定に入ると、一つ前の画面に戻ります。

かんたん設定の内容

かんたん設定では次の設定を行います。

- ■ 設定 1：かんたん設定を開始します
- ■ 設定 2：郵便番号を設定します
- ■ 設定 3：都道府県域を設定します
- ■ 設定 4：地上デジタル放送局の設定をします
- ■ 設定 5：チャンネルをスキャンします（地上デジタル放送用）
- ■ 設定 6：アンテナへの電源供給を設定します
- ■ 設定 7：モデムを設定します
- ■ 設定 8：電話回線種別を設定します
- ■ 設定 9：発信番号（外線設定）を設定します
- ■ 設定 10：かんたん設定を終了します

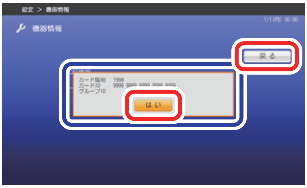
「かんたん設定」の詳しい操作方法、設定方法については『初回設定（初回起動時）』（P.27）をご参照ください。

機器情報

B-CAS カード情報

ご使用中のパソコンに挿入されている、B-CAS カードの情報と、B-CAS カードのテストができます。

B-CAS カード情報の画面



[B-CAS カード情報] 画面は左のように表示されます。

[B-CAS カード情報] 画面の項目	
カード識別	挿入されている B-CAS カードの種類です。
カード ID	挿入されている B-CAS カードの ID です。
グループ ID	特定のグループに属している B-CAS カードの場合に表示される ID です。

[B-CAS カード情報] 画面の操作メニュー	
戻る	[設定] 画面に戻ります。

B-CAS カードとは

デジタル放送は不正コピーを防ぐために、放送信号が暗号化されています。B-CAS カードはその暗号を解除するために必要な IC カードです。
B-CAS カードは、デジタル放送受信機に 1 枚添付され、紛失時のカード再発行には、手数料が必要です。

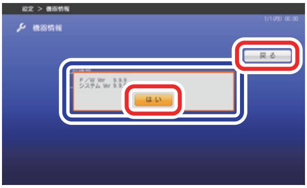
バージョン情報

ご利用中の「StationTV」のバージョンを表示します。

バージョン情報とは

バージョンとはアプリケーションの版番号です。数字が大きいほど新しいものということを表します。

バージョン情報の画面



[バージョン情報] 画面は左のように表示されます。

[バージョン情報] 画面の項目	
F／W　Ver.	パソコンに内蔵されている、テレビキャプチャーボードのファームウェアバージョンです。
システム　Ver.	「StationTV」のバージョンです。アップデータなどをご利用の際に確認してください。

[バージョン情報] 画面の操作メニュー	
戻る	[設定] 画面に戻ります。

設定初期化

全設定を出荷時の状態に戻す

「StationTV」の設定をすべて初期化して、出荷時の状態に戻します。初期化すると「StationTV」は自動的に終了し、次回起動時に「初回設定」が開始されます。

※ 設定を初期化しても録画番組は削除されません。

設定初期化の画面

[設定初期化] 画面は左のように表示されます。

全設定を初期化します

1. [設定の初期化] を選択し、[決定] ボタンを押します。

➡ 確認ダイヤログが表示されます。

2. [はい] を選択し、[決定] ボタンを押します。

➡ 設定が初期化され、自動的に「StationTV」が終了します。

※ 次回起動時は「初回設定」から起動します。再び設定を行ってください。

「初回設定」について詳しくは『初回設定（初回起動時）』（P.27）をご参照ください。

MEMO

CHAPTER-10
用語集

用語集

「StationTV」アプリケーション内に使われている用語と、本書に使われている用語を解説します。

ひらがな、カタカナ

あ行	
アクセスポイント	ダイヤルアップ接続などでインターネット接続する場合、電話をかける（ダイヤルアップする）先のことです。契約している ISP（インターネットサービスプロバイダ）が各地域に用意しています。
アスペクト比	画面や画像の縦と横の長さの比率のことです。地上波放送の通常アスペクト比は 4：3 ですが、ハイビジョン放送などは 16：9 と横に長い画面で放送されています。
イベントリレー	予約した番組の放送時間が延長されるとき、放送局が臨時サービスチャンネル、または別のチャンネルに切り換えて、番組の放送を継続することがあります。このイベントリレーに対応して、録画や視聴を継続する機能です。
インターレース（方式）	ディスプレイの走査線への、情報伝送方法のことで、映像データの伝送情報量を節約するため、一コマ分の映像の走査線を偶数列と奇数列に分割し、2 回に分けて伝送する方式です。 現在のテレビ放送やビデオ映像は、ほとんどがインターレース方式をとっています。動画を表示するには一般的にこの方式の方が滑らかに表示されますが、ご使用のディスプレイによって効果は異なります。

か行	
休止状態 (Windows)	現在使用しているアプリケーションなどの状態を HDD に保存し、パソコンの電源をオフにします。次に起動するとき、HDD に保存した前回の状態を復元します。
クイックメニュー	リモコンの [クイックメニュー] ボタンを押したときに表示されるメニューです。 映像・音声・字幕の切り換えや、各種情報の表示・非表示などが選択できます。
コンテンツ	「内容」「中身」という意味で、ひとまとまりの情報を指します。本書では、録画した番組のひとつひとつや、配信される番組、情報のひとつひとつを指します。
コントロールパネル	マウスクリックで、「StationTV」を操作するためのパネルです。
コンパクト	「StationTV」のビューア画面の表示方法のひとつで、任意の大きさにビューアサイズを調節することができます。
コンポーネント	ひとつの大きなものを構成する、特定の機能を持った一つの要素をさします。 番組によって配信される映像や音声が複数ある（マルチ映像、マルチ音声の）場合、そのひとつひとつの映像や音声を指して、コンポーネントといいます。

さ行	
時間追従	スポーツ中継の延長などで、予約した番組の開始時間や終了時間が変更されたときに、自動的に番組の録画時間を調整する機能で、変更にあわせて予約を実行します。
スリープ状態 (Windows)	WindowsXP など、従来までの Windows の「スタンバイ」と「休止状態」の各特性を合わせた、新しいモードです。現在使用しているアプリケーションなどの状態を残したまま、Windows を一時終了します。状態を維持するのに若干電力を消費します。ノートパソコンでバッテリー不足になった時など、自動的に休止状態に移行します。
双方向サービス	デジタルテレビ放送波を使って送られるデータ放送に対し、視聴者からデータを送信できるサービスのことです。たとえばクイズへの参加、プレゼントへの応募などができます。 視聴者からデータを送信するには、インターネットに接続できる環境が必要です。

次ページへ

た行	
待機モード	「StationTV」が、パソコンのタスクトレイに最小化され、バックグラウンドで番組予約の実行や、番組表の取得など行うモードのことです。
タイムシフト	タイムシフトは、番組を一時的に録画しておくことで、見ている番組をさかのぼって再生する機能です。 タイムシフトできる長さは、[設定] ▶ [録画／タイムシフト設定] ▶ [共通設定] の [タイムシフト時間] 項目から設定できます。
ダイヤルアップ接続	電話回線を利用して、インターネットサービスプロバイダ（ISP）のアクセスポイントと呼ばれる場所まで電話をかけることにより、インターネットへ接続することをいいます。 最近では、ダイヤルアップ接続にかわり、ADSL や CATV、光通信などの高速回線の利用が増えています。
ダイヤル種別	「電話回線種別」(このページ) を参照してください。
ダウンコンバート	高画質なハイビジョン映像を、従来の標準画質に変換することです。
ダウンミックス	5.1 チャンネル音声などのマルチ音声を、2 チャンネル音声に混合することです。
タスクトレイ	Windows の画面右下に表示される部分のことで、時刻や音量コントロールなど、現在バックグラウンドで起動しているアプリケーションの状態やアイコンなどが表示されます。アイコンは使用頻度に応じて一部非表示になる場合があります。
地上アナログ放送	従来の地上波テレビ放送サービスです。2003 年 12 月から地上デジタル放送が導入されたことで、地上アナログ放送は 2011 年に終了予定です。 日本やアメリカなどのアナログ放送では NTSC というビデオ方式が採用されています。
地上デジタル放送	2003 年 12 月から開始された新しいテレビ放送サービスです。BS/110 度 CS の衛星デジタル放送や、BS デジタル放送と並ぶデジタル放送のひとつで、地上波のＵＨＦ帯を使用して放送されています。 地上デジタル放送では、高画質な映像と 5.1 チャンネルの高音質を提供するほか、番組表、文字放送など情報配信およびクイズ番組への参加など双方向サービスも可能にします。
データ放送	番組の映像や音声と一緒に配信される様々な情報のことで、ニュースや天気予報など、放送中の番組とは関係なく情報が掲載される「独立型」のデータ放送と、番組の進行に連動した内容が表示され、クイズ番組への参加やショッピング番組での商品購入ができる「連動型」のデータ放送があります。
デジタルハイビジョン	2000 年に開始されたデジタル放送で行われているハイビジョン放送のことです。
デジタル放送	デジタル放送には、BS/110 度 CS の衛星デジタル放送と、地上デジタル放送があります。 デジタル放送は、デジタルの高画質でテレビ番組を見ることができるテレビ放送です。 デジタル放送では、テレビ番組を見るだけではなく、テレビを見ながらクイズ番組に参加するなど、視聴者から放送局へ情報を送信することや、放送局からのお知らせをメールで受け取るなど、様々なサービスが提供されています。
電話回線種別	電話回線を使用して、双方向サービスを購入する場合必要な設定項目です。 [設定] ▶ [通信設定] ▶ [電話回線設定] から設定を行います。 この設定を [自動] に設定してうまく通信できない場合は以下に従ってください。 プッシュ回線をご利用の場合は [トーン] に、ダイヤル回線をご利用の場合は [10pps] または [20pps] に設定します。
トーン	電話回線でプッシュ回線を利用されているときの、ダイヤル種別です。

次ページへ

は行

ハードディスクドライブ	HDD（Hard Disk Drive) とは、パソコンにおける大容量記憶装置のことです。さまざまなファイルやデータを保存する場所で、Windows のシステム自体もこの HDD に記録されています。自由にハードディスクをパソコン内部、外部に増設することもでき、データ保存・管理に利用します。
パススルー (周波数変換 パススルー)	周波数変換パススルーとはケーブルテレビで使用される電波送信方式の一つです。 ケーブルテレビ (CATV) での受信において、「StationTV」はトランスモジュレーション方式には対応しておりません。また、ご利用のパソコンの機種によっては、周波数変換パススルー方式に対応していない場合もあります。 ご利用のパソコンの環境についてはパソコンの取扱説明書をご参照ください。また、ケーブルテレビのデジタル放送送信サービスについては、ご利用のケーブルテレビ局にお問い合わせください。
発信番号（外線設定）	お使いの電話回線が、外線をかける際に「0」や「9」などの外線発信番号が必要な場合に設定します。 [設定] ▶ [通信設定] ▶ [電話回線設定] から、[発信番号設定] の選択項目から、必要な発信番号を設定します。
ビューア	「StationTV」で、デジタル放送の視聴や再生のときに映像を表示する画面です。
ファームウェア	ハードウェアの基本的な制御を行うために機器に組み込まれたソフトウェア。ハードウェアとソフトウェアの中間的な存在としてファームウェアと呼ばれています。
フルスクリーン	「StationTV」のビューア画面の表示方法のひとつで、モニター画面いっぱいに表示させることをいいます。
プロキシ	インターネットに間接的に接続する為に必要なシステムのことです。通常企業内などで用いる方式で、プロキシサーバーでインターネットに接続する設定を行い、個々のパソコンはそのプロキシサーバーに繋いで経由することでインターネットに接続できます。
プログレッシブ方式	ディスプレイの走査線への、情報伝送方法のことで、一コマの映像データを分割せずに一度にディスプレイに伝送します。これにより画像のチラつきを軽減でき、高画質映像を実現できます。 静止画を表示するには一般的にこの方式の方が、はっきり表示されますが、ご使用のディスプレイによって効果は異なります。
プロバイダ	ISP（インターネットサービスプロバイダ）を指します。インターネット接続サービスを提供する業者をいいます。

ま行

マルチ映像	ひとつの番組で複数の映像が用意されていることをいいます。映像のアングルを切り換えて見るなど、視聴者が自由に選択することができます。
マルチ音声	ひとつの番組で複数の音声が用意されていることをいいます。主音声・副音声、数ヶ国語での放送、ステレオサラウンド放送など、番組により様々な音声を同時放送し、視聴者が切り換えられるようになっています。

ら行

リリーフ録画	録画中に、録画番組の保存場所に設定したハードディスクドライブの空き容量がなくなると、自動的に次に空き容量の大きいハードディスクドライブに移行し、録画を続けます。 使用する優先順位を設定している場合は、その順番でハードディスクを使用していきます。
ログイン	あらかじめコンピューターに登録されているユーザー情報をもとに、そのユーザーの持つ権限でコンピュータを起動することをいいます。

英数字

A ～ Z	
AAC	デジタル放送で送出されている音声圧縮方式です。 光デジタルオーディオ出力端子に AAC 形式で出力され、AAC 対応 AV アンプで 5.1 チャンネルサラウンド放送をサラウンド視聴することができます.
B-CAS カード	デジタル放送は不正コピーを防ぐために、放送信号が暗号化されています。B-CAS カードはその暗号を解除するために必要な IC カードです。 B-CAS カードは、デジタル放送受信機に 1 枚添付され、紛失時のカード再発行には、手数料が必要です。
CATV	CATV（ケーブルテレビ）とは、テレビの有線放送サービスのことです。
CPU	パソコンの主要部品で、CPU の機能が高いほどパソコンで高度な作業ができます。
DNS 設定	インターネット接続に関する設定のひとつです。契約のプロバイダからの接続設定情報にある DNS アドレスを設定します。
EPG	EPG(Electronic Program Guide) とは、地上デジタル放送波を通じて配信される電子番組表のことです。「StationTV」では、この EPG を「番組表」と呼び、番組名や出演者名で番組検索できるほか、番組表からの録画予約にも対応しています。
HDD	「ハードディスクドライブ」（P.182）を参照してください。
IP アドレス	インターネットに接続した、パソコンなどのネットワーク機器を識別するための番号です。サーバーなど連続的にサービスを供給するシステムの IP アドレスは、プライマリ、セカンダリと2つ設定されることが多く、プライマリ IP アドレスで接続できない場合に、セカンダリ IP アドレスを使用します。
LAN 接続	LAN（LocalAreaNetwork) とは、同一敷地（同一建物）の規模で用いられるネットワーク環境のことをいいます。本書では ADSL やケーブル、光通信など、パソコンの LAN ポートを使ってインターネット接続する場合を指します。
NTSC	米国や日本などで採用されているビデオ方式のことです。
PAL	ヨーロッパや中国などで採用されているビデオ方式のことです。
PCM	音楽 CD などが使用している一般的なデジタル音声方式です。

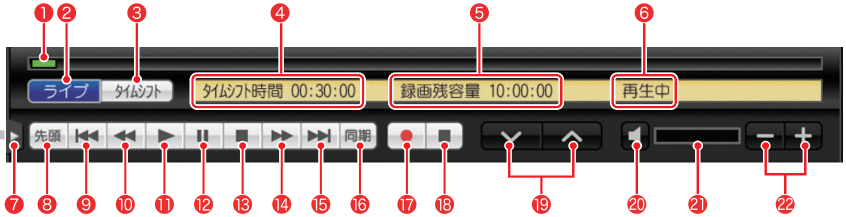
MEMO

CHAPTER-11
操作一覧

コントロールパネル機能

コントロールパネル操作一覧

フルスクリーン表示時



⑦ を押すと拡張項目が表示されます。

コンパクト表示時

※機能は通常と同じです。ただし、情報欄に表示される項目が異なります。

※ ボタンがすべて操作可能状態で表示されていますが、この画面は合成です。状況に応じて操作できるボタンは限られます。非操作状態のボタンは表示が暗くなります。

コントロールパネルの説明

❶	シークバー	録画番組再生中、タイムシフト視聴中 / 録画中に現在の位置を表します。 マウスでドラッグすると、現在再生位置を移動できます。
❷	ライブ	「ライブ」状態に切り換えます。
❸	タイムシフト	「タイムシフト」状態に切り換えます。 「タイムシフト」について詳しくは『タイムシフト』（P.75）をご参照ください。
❹	録画時間 経過時間 タイムシフト時間	◆ 視聴中 : 何も表示されません。 ◆ 録画中 : [録画時間] 録画中には録画開始からの時間を表示します。 ◆ タイムシフト中 : [タイムシフト時間] 現在ビューアで視聴している時点が、実際の放送中の時点と、どれくらい時間差があるかを表示します。 ◆ 再生中 : [経過時間] 録画番組の現在の再生経過時間を表示します。
❺	録画残容量 再生時間	◆ 視聴中／録画中／タイムシフト中 : [録画残容量] 「録画」または「タイムシフト」状態を続けることができる残り時間を表示します。 ◆ 再生中 : [再生時間] 録画番組の時間を表示します。
❻	現在の状態	「再生中」「一時停止」「早送り」「早戻し」「処理中」など、現在の状態を表示します。
❼	拡張項目表示	「チャンネル切換」「入力切換」「放送波切換」「レコーダー切換」を表示します。 ※「入力切換」は本製品では使用できません。
❽	[先頭] または [前へ]	単一の録画番組の再生時には [先頭] と表示され、クリックすると、その録画番組の先頭に戻って再生します。 連続ファイル再生時（複数の録画番組を選択して再生）には [前へ] と表示され、クリックすると、一つ前の録画番組の先頭に戻って再生します。一つ前に録画番組がない場合はその録画番組の先頭に戻って再生します。 タイムシフト状態ではタイムシフト開始時点の映像にスキップして先頭から再生します。

次ページへ

コントロールパネルの説明

⑨	逆スキップ	再生中／タイムシフト再生中の映像を一定の時間、前へスキップします。初期設定では 30 秒です。 ☞ スキップする時間は [設定] で設定できます。詳しくは『[再生設定] の設定』（P.160）をご参照ください。
⑩	巻戻し	再生中／タイムシフト再生中の映像を巻戻しします。巻戻しの速度は押すたびに次のとおり切り換わります。 ◆ 【巻戻し速度】 2 倍⇒ 4 倍⇒ 20 倍⇒ 100 倍⇒2倍…
⑪ ⑫	再生／一時停止	巻戻し中／早送り中／一時停止中にクリックすると、再生を再開します。 番組のライブ視聴中にクリックすると、タイムシフトに切り換えて一時停止します。 録画番組の再生中にクリックすると、再生を一時停止します。
⑬	停止	再生を停止して、現在放送中の映像に切り換わります。
⑭	早送り	再生中／タイムシフト再生中の映像を早送りします。早送りの速度は押すたびに次のとおり切り換わります。 ◆ 【早送り速度】 2 倍⇒ 4 倍⇒ 20 倍⇒ 100 倍⇒2倍…
⑮	順スキップ	再生中／タイムシフト再生中の映像を一定の時間、次へスキップします。初期設定では 30 秒です。 ☞ スキップする時間は [設定] で設定できます。詳しくは『[再生設定] の設定』（P.160）をご参照ください。
⑯	[終端]、[次へ] または [同期]	単一の録画番組の再生時には [終端] と表示され、クリックするとその録画番組の終端に進んで停止します。 連続ファイル再生時（複数の録画番組を選択して再生）には [次へ] と表示され、クリックすると一つ後の録画番組の先頭に進んで再生します。一つ後に録画番組がない場合はその録画番組の終端に進んで停止します。 タイムシフト状態では [同期] と表示され、クリックすると現在放送中の時点と同期して再生します。
⑰ ⑱	録画／録画停止	視聴中の番組の録画を開始します。 録画中にクリックすると録画を停止します。
⑲	チャンネルダウン ／アップ	アップダウン選局設定にしたがって、視聴中のチャンネルリストを 1 つずつ順番に切り換えます。 [∨] をクリックすると、 1 つずつチャンネル番号を繰り下げます。 [∧] をクリックすると、 1 つずつチャンネル番号を繰り上げます。
⑳	消音	消音します。消音中にクリックすると、消音を解除します。 消音中は音量バーが濃いグレーに変わります。
㉑	音量バー	現在の音量を表示します。音量の調節は、音量調節 [ー] ／ [＋] で行います。
㉒	音量調節 [ー] ／ [＋]	音量を調節します。 [ー] をクリックすると、音量が小さくなります。 [＋] をクリックすると、音量が大きくなります。
㉓	チャンネル切換	ワンタッチ選局でチャンネルを切り換えます。
㉔	入力切換	外部入力に切り換えます。 ※「入力切換」は本製品では使用できません。
㉕	放送波切換	視聴中の放送波を切り換えます。 クリックするたびに、[地上デジタル放送] ／ [BS デジタル放送] ／ [CS デジタル放送] の順に切り換わります。
㉖	レコーダー切換	レコーダーを切り換えます。 クリックするたびに、[レコーダー 1] ／ [レコーダー 2] の順に切り換わります。

ショートカット機能

「StationTV」アプリケーション内で使用できるショートカットキーは、以下のとおりです。

ショートカット一覧表

チャンネル	
次のチャンネルへ	[+]
前のチャンネルへ	[−]
ダイレクト選局	[1] ～ [9] + [Enter] ※キーボードのテンキーで番号を入力します。
チャンネル番号選局	[¥] + [0] ～ [9] + [Enter] ※キーボードのテンキーで番号を入力します。

音量	
音量を上げる	[>]
音量を下げる	[<]
消音／消音解除	[M]

再生・録画	
再生	[P]
一時停止	[J]
停止	[S]
録画	[R]
巻戻し	[Z]
早送り	[X]
逆スキップ	[?]
順スキップ	[＼]
先頭、前へ ※再生中は「先頭」、複数ファイル再生中は「次へ」となります。	[H]
終端、次へ ※再生中は「終端」、複数ファイル再生中は「次へ」となります。	[Y]

テレビ視聴の各種切換	
レコーダー切換 （レコーダー 1 ／レコーダー 2）	[C]
放送波切換 （地上デジタル／ BS ／ CS）	[F]
入力切換 ※「入力切換」は本製品では使用しません。	[I]
サービス切換	[T]
音声切換	[A]
映像切換	[V]
字幕切換	[K]

次ページへ

表示モード切換	
ノーマル／ワイド／ズーム	[G]
フルスクリーンモード／コンパクトモード	[F10]

画面表示	
［トップメニュー］画面表示（ON ／ OFF）	[F12]
クイックメニュー表示（ON ／ OFF）	[F11]
［録画番組］画面表示（ON ／ OFF）	[F4]
［予約］画面表示（ON ／ OFF）	[F3]
「番組表」画面表示（ON ／ OFF）	[F2]
［番組詳細］画面表示（ON ／ OFF）	[F1]
［ステータス情報］表示	[B]

メニュー内操作	
上へ	[↑]
下へ	[↓]
右へ	[→]
左へ	[←]
決定	[Enter]
戻る	[BackSpace]

データ放送	
データ放送画面の表示（ON ／ OFF）	[D]
青	[F5]
赤	[F6]
緑	[F7]
黄	[F8]

アプリケーション操作	
待機モードへ	[Q]

MEMO

CHAPTER-12
索引

索引

かな

あ

アクセスポイント・・・・・・・・・・・・・ 180
アスペクト比・・・・・・・・・・・・・・・ 180
アッテネーター機能・・・・・・・・・・・ 151
アンテナ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24

い

イベントリレー・・・・・・・・・・・・ 20, 98
イベントリレー (設定) ・・・・・・・・・ 157
インターネット接続設定（LAN）・・・・・ 166
インターレース・・・・・・・・・・・・・ 180

え

映像補正設定・・・・・・・・・・・・・・ 148

お

お任せ HDD 設定・・・・・・・・・・・・・ 159

か

回線テスト・・・・・・・・・・・・・・・ 163
かんたん設定・・・・・・・・・・・・・・ 174

き

起動設定・・・・・・・・・・・・・・・・ 158
起動方法・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49
基本操作・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
休止状態・・・・・・・・・・・・・・・・ 180
共通設定・・・・・・・・・・・・・・・・ 158

く

クイックメニュー・・・・・・・・・・・・ 180

こ

個人情報・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
コピー制限・・・・・・・・・・・・ 131, 133
コンテンツ・・・・・・・・・・・・・・・ 180
コントロールパネル・・・・ 42, 81, 180, 186
コンパクト・・・・・・・・・・・・・・・ 180
コンパクトモード・・・・・・・・・・・・・ 61
コンポーネント・・・・・・・・・・・・・ 180

さ

再生設定・・・・・・・・・・・・・・・・ 160

し

時間追従・・・・・・・・・・・・・・・・ 180
時間変更追従・・・・・・・・・ 20, 99, 157
自動時刻修正・・・・・・・・・・・・・・ 150
自動取得・・・・・・・・・・・・・・・・ 161
字幕言語・・・・・・・・・・・・・・・・ 152
字幕／文字スーパー・・・・・・・ 18, 59, 152
ジャンル検索・・・・・・・・・・・・・・ 120
ジャンル検索結果・・・・・・・・・・ 70, 122
周波数変換パススルー・・・・・・・・・・ 182
周波数変更の自動追従・・・・・・・・・・ 150
重複予約・・・・・・・・・・・・・・・・ 110
受信レベル・・・・・・・・・・・・ 140, 142
小ジャンル・・・・・・・・・・・・・・・・ 66
収集中メッセージ・・・・・・・・・・・・ 161

す

スリープ状態・・・・・・・・・・・・・・ 180

せ

セキュリティサイト自動接続・・・・・・・ 161
設定初期化・・・・・・・・・・・・・・・ 177

そ

操作一覧 (再生中) ・・・・・・・・・・・ 119
操作一覧 (タイムシフト) ・・・・・・・・・ 82
操作一覧 (データ放送) ・・・・・・・・・・ 85
双方向サービス・・・・・・・・・・・ 86, 180

た

待機モード・・・・・・・・・・・・・ 51, 181
大ジャンル・・・・・・・・・・・・・・・・ 66
タイマー予約・・・・・・・・・・・・ 98, 100
タイムシフト・・・・・・・・・・・・ 75, 181
タイムシフト時間・・・・・・・・ 76, 81, 158
タイムシフト録画・・・・・・・・・・・・・ 94

次ページへ

ダイヤルアップ・・・・・・・・・・・・・・ 87
ダイヤルアップ接続・・・・・・・・・・・・ 181
ダイヤルアップ自動接続・・・・・・・・・ 164
ダイヤル種別・・・・・・・・・・・・・・ 181
ダウンコンバート・・・・・・・・・・・ 132, 181
ダウンミックス・・・・・・・・・・・・・ 181
タスクトレイ・・・・・・・・・・・・・・ 181
タスクトレイ待機時の番組お知らせ案内・・ 150

ち

地上アナログ放送・・・・・・・・・・・・ 181
地上デジタル放送・・・・・・・・・・・・ 181
チャンネルスキャン (地上デジタル) ・・・ 141

つ

通信許可・・・・・・・・・・・・・・・・ 161
通信記録一覧・・・・・・・・・・・・・・ 171

て

ディスク作成・・・・・・・・・・・・ 17, 130
データ放送・・・・・・・・・ 83, 161, 181
デジタル映像設定・・・・・・・・・・・・ 148
デジタル音声設定・・・・・・・・・・・・ 149
デジタルハイビジョン・・・・・・・・・・ 181
デジタル放送・・・・・・・・・・・・・・ 181
電話会社設定・・・・・・・・・・・・・・ 163
電話回線・・・・・・・・・・・・・・ 86, 162
電話回線種別・・・・・・・・・ 32, 162, 181
電話番号通知・・・・・・・・・・・・・・ 163

と

トーン・・・・・・・・・・・・・・・・・ 181
トップメニュー・・・・・・・・・・・・・・ 43

ね

ネットワーク選択・・・・・・・・・・・・ 166

は

バージョン・・・・・・・・・・・・・・・ 176
ハードディスクドライブ・・・・・・・・・ 182
発信番号・・・・・・・・・・・・・・・・ 182
発信番号設定・・・・・・・・・・・・ 33, 162
番組お知らせ機能・・・・・・・・・・ 21, 74
番組お知らせ機能履歴の初期化・・・・・・ 150
番組詳細・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66
番組情報・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59
番組表・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 63
番組表自動取得・・・・・・・・・・・・・ 150
番組表予約・・・・・・・・・・・・ 98, 103

ひ

ビューア・・・・・・・・・・・・・・・・ 182
表示モード・・・・・・・・・・・・・・・・ 60

ふ

ファームウェア・・・・・・・・・・・・・ 182
フォーマット・・・・・・・・・・・・・・ 136
フリーワード検索・・・・・・・・・・・・ 123
フリーワード検索結果・・・・・・・・・・ 124
フルスクリーン・・・・・・・・・・・・・ 182
プロキシ・・・・・・・・・・・・・・・・ 182
プロキシ設定・・・・・・・・・・・ 165, 166
プログレッシブ方式・・・・・・・・・・・ 182
プロバイダ・・・・・・・・・・・・・・・ 182
プロバイダ設定・・・・・・・・・・・・・ 164

ほ

放送波・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 55
放送メール・・・・・・・・・・・・・・・ 167
放送メール詳細・・・・・・・・・・・・・ 168

ま

マイラインプラスの解除・・・・・・・・・ 163
マルチ映像・・・・・・・・・・・・・・・ 182
マルチ音声・・・・・・・・・・・・・ 16, 182

む

ムーブ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 130
無通信切断タイマー・・・・・・・・・・・ 164

め

メッセージ・・・・・・・・・・ 42, 172, 173

次ページへ

も

文字スーパー・・・・・・・・・・・・・・ 152
文字スーパー言語・・・・・・・・・・・・ 152

ゆ

優先利用回線種別・・・・・・・・・・・・ 161
郵便番号・・・・・・・・・・・ 27, 161, 174

よ

予約画面・・・・・・・・・・・・・・・・ 106
予約削除・・・・・・・・・・・・・・・・ 109
予約変更・・・・・・・・・・・・・・・・ 108
予約録画実行時映像設定・・・・・・・・・ 158
予約録画終了後処理・・・・・・・・・・・ 158

り

リモコンボタン割り当て (地上デジタル) ・ 143
リリーフ録画・・・・・・・・・・・・・・ 182

れ

レコーダー・・・・・・・・・・・・・・・・ 53
レコーダーの切り換え・・・・・・・・・・・ 55
レコーダー表示・・・・・・・・・・・・・・ 55

ろ

ログイン・・・・・・・・・・・・・・・・ 182
録画オフタイマー・・・・・・・・・・・・ 158
録画番組検索・・・・・・・・・・・・ 120, 123
録画番組詳細・・・・・・・・・・・・・・ 116
録画番組ファイル・・・・・・・・・・・・・ 95

アルファベット

A

AAC・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 183

B

B-CAS カード・・・・・・・・ 24, 175, 183

C

CATV・・・・・・・・・・・・・・・・・ 183
CPU・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 183

D

DNS 設定・・・・・・・・・・・・・ 164, 183

E

EPG・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 183

H

HDD・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 183
HDD 設定・・・・・・・・・・・・・・・ 159

I

IP アドレス・・・・・・・・・・・・・・ 183

L

LAN・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 87
LAN ケーブル・・・・・・・・・・・・・・ 25
LAN 接続・・・・・・・・・・・・・・・ 183

N

NTSC・・・・・・・・・・・・・・・・・ 183

P

PAL・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 183
PCM・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 183

S

SD 画質変換・・・・・・・・・・・・・・ 128